

# ライダーズ

MAGAZINE FOR REAL MOTORCYCLISTS

臨時増刊

特集：1983年版

MFJ国内競技規則

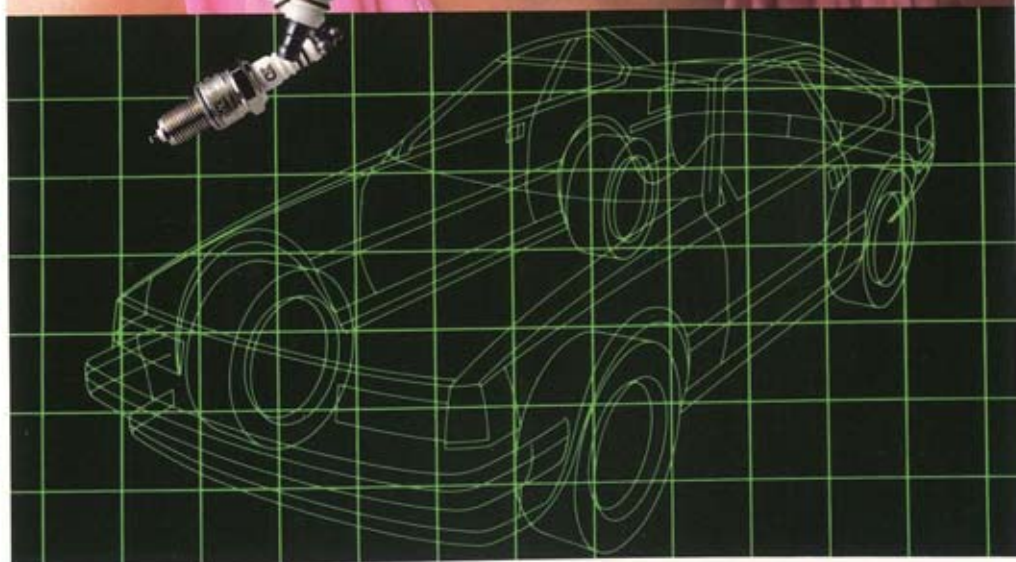


日本モーターサイクル協会





エレクトロニツク・スパーク



プラグ・新時代。

クルマを知りつくしたデンソーの技術がつくったUプラグ  
エレクトロニクス化が進むクルマのパワーのキメ手です。

- 優れた始動力、加速向上、燃費低減に実力発揮
- フルプロジェクト化で汚損性低減 ●5山コルゲーションで絶縁性アップ

燃費の節約はプラグの点検から

デンソープラグワイドU



 日本電装株式会社

# NARVA



NARVA ビケット MEG  
 ¥29,000(STD)・¥29,500(OX)  
 カラー：赤・黄・白  
 サイズ：S・M・L・LL



NARVA Z5000 ¥13,800  
 カラー：白・黒 サイズ：M・L  
 S・SGマーク付、MFJ公認

NARVA NJ-1 ¥13,000  
 カラー：白・黒・赤 サイズ：M・L  
 S・SGマーク付、MFJ公認

NARVA MX-GP ¥42,000  
 カラー：黒・赤  
 サイズ：25-28cm



NARVA メッシュジャージ  
 ¥6,500 サイズ：フリー 材質：  
 ナイロン(外面)・コットン(内面)



NARVA 仔牛MXグローブ  
 ¥6,800 カラー：白・黒・黄・赤  
 サイズ：S・M・L





カワサキは、ベルトドライブで2次駆動伝達の新たな



# SILENT & MILD

大地を悠然と走る姿をイメージさせるピュア・アメリカン。独特のライディングフィールを満喫しながら、より遠くへ旅と心の半径を広げる………ベルトドライブを搭載したサイレント&マイルドな走りは、グランドツアラーの思想を大きく前進させ、いまアメリカンテイストをきわだたせています。



ダイナミックツアーを生む定評ある  
4ストロークOHVツインエンジンのゆとり。  
ベルトドライブシステムのスムーズネス。

**Z400LTD** belt drive

●4ストローク2気筒・OHVエンジン ●最高出力36ps/8,500rpm ●最大トルク3.2kg-m/7,000rpm ●カラー  
…エボニー-Xファイアクランカーレッド(ツートンカラー) ●標準現金価格¥375,000



ライトアメリカンの資質を究めた  
軽量・コンパクトなパワーユニット、CDI点火方式  
そして先進のベルトドライブシステム。

**Z250LTD** belt drive twin

●4ストローク2気筒・OHVエンジン ●最高出力27ps/10,000rpm ●最大トルク2.1kg-m/8,000rpm ●カラー  
…エボニー-Xグレーストーン・エボニー-Xファイアクランカーレッド(ツートンカラー) ●標準現金価格¥348,000

●ヘルメットをかぶりましょう。●点検整備を忘れずにしましょう。●車は正しい仕様で乗りましょう。



# 時代を提唱する。

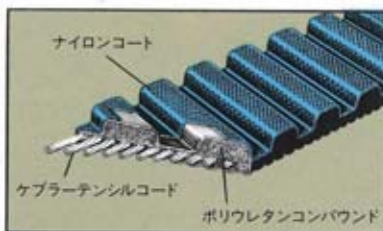


静粛で滑らかな走行感、優れた耐久性……

モーターサイクル必然のサイレント&マイルドを徹底追求した  
2次駆動伝達「ベルトドライブシステム」

サイレント&マイルドの追求はエネルギーロスの低減、耐久性・軽量化というモーターサイクル必然のファクターをより理想の方向に導く大きな力となります。また、快適なライディングフィールでライダーの心と体のストレスをセーブし安全でスポーティな走行を約束します。カワサキは、いま革新のベルトドライブシステムで2次駆動のスムーズネスに比類ないサイレント&マイルドを達成。よりヒューマンなモーターサイクルを目指し本格アメリカンツアラーZ400LTD belt drive・Z250LTD twin belt driveをここに誕生させました。

カワサキが開発したベルトは、モーターサイクルの高負荷に対応するため引張り強度に優れた芯材の「ケブラーテンシルコード」を、強靱かつ柔軟なポリウレタンで包み、さらに表面にはナイロンコーティングを施しています。芯材のケブラーとポリウレタンは分子構造が似ており高負荷にも剥離現象が生じない、さらにナイロンコーティングが自己潤滑作用を発揮し摩擦を最小限に抑えるといった材質・構造で耐久性を飛躍的に向上。従来のベルトが果たせなかったマイナス要素を一掃し、ベルト本来のメリットを確立しています。ベルトは硬質の金属チェーンに比べ、軟質素材のため静粛かつスターティングやシフトチェンジのショックを大幅に低減。比類ないスムーズネスを確保しています。カワサキでは、このベルトドライブシステムをすでに'80モデルから一部輸出車に導入、50,000台を越える生産実績を持ちさらにその間、数々の技術改良を重ねてきました。一方、ロードレースや耐久レースなどにベルトドライブシステムを搭載したレーサーを送り出し耐久性・強度を極限状況でテスト。その結果驚異的な優秀性をあいつぐ上位入賞で実証。まさに、チェーン・シャフトを超える理想の2次駆動伝達機構としてモーターサイクルの大きな流れを提唱しています。



## belt drive <ベルトドライブの性能テスト結果>

- 引張り強度テストでは、金属チェーンの設計基準を上回る数値を達成しています。●飽和食塩水・オイル・希硫酸などにベルトを長時間浸した後のテストでも、一切腐食は認められず優れた耐腐食性を実証。●摂氏マイナス45度～プラス120度の過酷な温度下での耐久テスト、厳しい急加速テストでも破損は皆無。●チェーンの一般的な走行限界(1万3000km)を超える2万km走行テストでわずかに0.2%の伸びを示したに過ぎず、しかもその間の引張り調整は2回。

# Super Performance Above All



# SUZUKI KEEPS NO.

スズキは常に勝者だ。

THE WINNER  
1982  
Road Racing  
World Champion  
500



WORLD ROAD RACING GP 500

スズキRG<sup>ガンマ</sup>最終戦1-2-3フィニッシュで  
7年連続メーカーチャンピオン達成。



# 1



- ロードレース世界GP500、メーカー(7年連続)ライダーチャンピオン
- モトクロス世界GP500、メーカーライダー(1回)チャンピオン
- モトクロス世界GP125、8年連続メーカーライダーチャンピオン
- ススキGS1000R '82ル・マン24時間耐久レース優勝
- 全米ナショナルモトクロス125、USチャンピオン(M・ハーネット)

## 常勝スズキ/このテクノロジーとスピリッツがすべてのSUZUKIに。 '83モーターサイクルはスズキ。

1982年、スズキはロードレース、モトクロスの両分野で、世界的なビッグタイトルを数多く獲得した。なぜ、スズキは常に勝者なのか。"世界で最も高性能で、高い操安性と快適さを持つモーターサイクル"をめざすスズキ。グランプリ・ライダーは「他よりもひとつも利点の多いマシンに乗ること」が「ワールドチャンピオンへの基本条件であるこ



とを知りつくしている。スズキに乗るライダーは、この勝てるマシンをスズキに要求する。グランプリ・ライダーをもひとりのユーザーとしてとらえるスズキは、ライダーの要求に懸命に応える。結果としての勝利。結果としてのワールドチャンピオン。スズキにとって、ワールドチャンピオンとは「限りなくシビアなスズキのユーザー」なのだ。スズキは、フランコ・ウンチーニ、エリック・ゲボスらの要求に応え、夢をかなえた。そしていま、サーキットでの偉大な成果を、さらに多くのSUZUKIにフィードバックする。



- ★ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- ★点検整備を忘れずに。
- ★安全のため改造はやめましょう。

信頼に応える技術のスズキ  
**SUZUKI**



栄光のヨシキリ選手とYZM250

**YAMAHA**  
**THE**

**WIN**



## 大地を制した。世界を制した。

1982年世界選手権モトクロスシリーズ250ccクラスで、ヤマハはライダー、メーカーの両タイトルを独占。

全12戦を終え、1982年の幕を閉じた世界選手権モトクロスシリーズ250ccクラス。チャンピオンの栄冠を手にしたのは、ヤマハYZM250を駆る25歳の新鋭ダニー・ラポルテでした。そして、ヤマハは同時にメーカー・タイトルも獲得。またしても、ヤマハのマシづくりの優秀性を世界に示すことになりました。●常にレースとともにあったヤマハの歴史。そこに、またひとつ新たな栄光が刻みこまれました。しかし、ヤマハがレースから得るものは、単なる栄誉だけではありません。苛酷な闘いの中で得た多くの新しいノウハウこそ私たちの財産。レースで鍛えられ、磨かれたテクノロジーが、やがてあなたのヤマハを作り上げるからです。

Y780



YZ125



YZ250



数多くのレースで培われたファクトリーマシンYZMの技術を惜しみなく注いで、市販モトクロスサーYZシリーズの'83年モデル登場。ニューリンク機構を採用したモノクロスサスペンションをはじめ、操縦性、走行安定性を大幅に向上。同時に徹底した軽量化を計りました。その心臓部はY.E.I.S.(YZ80)、Y.P.V.S.(YZ125・YZ250)を装着した定評の水冷2ストロークエンジン。圧倒的なパワーと大トルク、鋭いピックアップを実現しました。さらに戦闘力をアップしたニューYZシリーズにご期待ください。

YZ80 ●水冷・2ストローク・単気筒・79.1cc ●Y.E.I.S. ●最高出力20.4ps/12,250r.p.m. ●最大トルク1.19kg-m/12,000r.p.m. ●乾燥重量62kg

YZ125 ●水冷・2ストローク・単気筒・123cc ●Y.P.V.S. ●最高出力32.0ps/11,250r.p.m. ●最大トルク2.09kg-m/10,500r.p.m. ●乾燥重量86.5kg

YZ250 ●水冷・2ストローク・単気筒・246cc ●Y.P.V.S. ●最高出力43.5ps/8,250r.p.m. ●最大トルク3.93kg-m/7,500r.p.m. ●乾燥重量96.5kg

**YAMAHA**

●カタログご希望の方は機種名を明記のうえ、郵便切手150円を添えて宣伝課まで ●ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.05383(2)1111

# VER!



# 閃光のレッド！勝利のワークス・レプリカ。

パワフル、強靱、ライト&コンパクト！

待望のワークス・レプリカ、'83CRシリーズ登場。



PHOTO:東福寺保雄+CR250R

*Hello! Good Rider*

身につけよう。  
安全走行のためのルールとマナー。



# CR

# HONDA®

勝つためのパワーだ。

## 新・強力水冷2サイクルエンジン。

シリーズ全機種に搭載。小型かつ軽量、そしてパワフルな出力特性を誇る新設計・強力水冷2サイクルエンジン。新ラジエター・システムが熱ダレを防ぎ、出力ダウンを抑えて、ダイナミックなパワーをゴールまで持続させる。ギアレシオも新しい出力特性に合わせて変更。さらに激しいレースでの“半クラッチ”の多用に応える、摩擦係数の低下が少ないクラッチディスク材を採用。まさにレースを知りつきた、実戦向きの設計を徹底させている。

走りは、さらにシャープ!

## ホンダ独創のプロリンク・リアサスペンション。

定評のリアサス、プロリンク。'83CRシリーズは、そのリンクレシオを変更し、マシンをよりコントロールしやすくしている。路面追従性、走破性はきわめて高く、しかもスムーズかつ鋭い加速を引き出す。さらにCR250R/125Rは、リンク部分にアルミ材を採用し、強度はそのままに一段と軽量化。強靱・軽量の角型断面スイングアーム、押し側/引き側減衰力調整機構を新採用したリザパー付リアダンパー、減衰力調整機構付のフロント・エアアシスト・サスペンションともあいまって高い戦闘力を発揮する。CR80Rも本格派のアルミ一体リザパー付リアダンパーとフロント・エアアシスト・サスペンションを装備。

## ワークスのノウハウが活きる装備と仕様。

●軽くて強靱なセミダブルクレードル・フレーム。しかも4ヶ所のボルト脱着により、サイドカバー、シート、リアフェンダー、サイレンサーが一体ではずせる、メンテナンス性の高い設計(CR250R/125R)。●重心を下げ、操縦性の向上に寄与するセンタードフューエルタンク。●前後ブレーキシューにマグネシウム材を採用。ブレーキ効力を大幅にアップ(CR250R/125R)。●ホンダだけの本格軽量設計、サイレンサー、ステアリングシステムにアルミ材を採用(CR250R/125R)。●タイヤとホイールのすべり止めと、くいつき効果を向上させる、新機構くジョーズローレットリム)。●シート高を一段と低め、ライディングポジションを向上。表面に縫い目のない耐久性の高いシート。



## NEW CR250R



¥420,000 主要諸元 ●最高出力43PS/8,000rpm ●最大トルク4.0kg・m/7,000rpm ●5段リターン ●サスペンション・ストローク: 前305mm、後305mm ●乾燥重量96.5kg

## NEW CR125R



¥340,000 主要諸元 ●最高出力31.5PS/11,000rpm ●最大トルク2.07kg・m/10,500rpm ●6段リターン ●サスペンション・ストローク: 前290mm、後300mm ●乾燥重量86.5kg

## NEW CR80R



¥183,000 主要諸元 ●最高出力21.5PS/12,000rpm ●最大トルク1.29kg・m/11,500rpm ●6段リターン ●サスペンション・ストローク: 前225mm、後210mm ●乾燥重量62kg

※価格はすべて標準現金価格(北海道、沖縄および一部離島を除く)です。※本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。※本機はレース仕様のため、一般交通の用に供する場所では一切走行できません。※登録してナンバープレートを取得することはできません。※ピットやパドック内ではヘルムを降り、無用な空ぶかしやフォームアップ走行はやめましょう。

- ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- 点検整備を忘れずに。
- 安全のため改造はやめましょう。

- 安全速度で走りましょう。
- カーブではスピードをひかえめに。
- 追越しは余裕をもって。
- 自分を目立たせるため、早朝・夕方「ヘッドライト早め点灯」を。



モーターサイクルによる新たな体験は、つねに新鮮な感動を  
ライダーの心に刻みこんでいる。



ライダーの心へいざ近づかん。  
クシタニ。



モータースポーツクシタニ 本社：浜松市電報寺町596-1 ☎0534(56)8611 ●東京営業所：東京都世田谷区程新町2-27-2 ☎03(427)8841 ●大阪営業所：大阪府池田市鉢塚1-10-3 ☎0727(62)3260 ●仙台店 ☎0222(47)8822 ●名古屋店 ☎0238(6)2711 ●郡山店 ☎0249(22)5184 ●大宮店 ☎0486(51)7433 ●豊田店 ☎03(632)1223 ●札幌店 ☎03(931)7776 ●世田谷店 ☎03(425)5719 ●横浜店 ☎045(312)3022 ●浜松店 ☎0534(54)5252 ●成子店 ☎0534(56)9418 ●名古屋店 ☎052(522)0749 ●京都店 ☎075(573)1301 ●京都西店 ☎075(811)5737 ●笑楽店 ☎0727(22)4105 ●堺店 ☎0722(22)3316 ●西宮店 ☎0798(73)6641 ●神戸店 ☎078(231)5760 ●岡山店 ☎0862(25)8330 ●広島店 ☎082(293)9090 ●高松店 ☎0878(66)3115 ●福岡店 ☎092(751)8600 ●北九州店 ☎093(921)3014 ●大分店 ☎0975(52)2754 ●熊本店 ☎0963(82)8718 ●鹿児島店 ☎0992(25)3579



# PIRELLI



## 82年、ピレリーは\$8000の賞金首——カストロル6時間耐久戦より。

82年度オーストラリア・カストロル6時間耐久戦で、またまたピレリーが上位を独占したというレポートです。装着チームの数でも他社を圧倒してきた例年と全く違うのは、82年は、自社のタイヤをはいて優勝した場合には\$8000の賞金を出そうと喧伝し、同時に多くの技術スタッフを派遣してきたタイヤメーカーがあったせい。そのタイヤの装着率が過半数を占め、ピレリー装着チームは10数チームに激減していたということです。そうして結果は、1位2位3位をピレリーが独占、さらに1位~10位までのうちなんと7チームまでがピレリー装着チームであったということです！豪雨に見舞われた前年度に比べ恵れていたとはいえ、それでも相変わらずドライとウェットのからみあった決して容易とはいえないコース条件下で、No1チームはピレリー装着で従来の記録を1秒以上も縮めるコースレコードまで達成したという事実、他タイヤメーカーがフルスポンサーした某チームがタイヤにはファントムを選んだという事実…カストロルは82年も楽しい話題満載で終了です。



Mio Amico PIRELLI ミオ・アミコ  
 MT-28

株式会社 阿部商会

東京 ☎03(233)2222/札幌 ☎011(84)1371/仙台 ☎0222(95)4266/横浜 ☎045(312)2611  
名古屋 ☎052(931)5361/大阪 ☎06(458)7751/広島 ☎0822(92)0553/福岡 ☎092(472)2411



# Signal flags

# 信号旗

## 合図旗および合図

レース中、大会役員が次の合図用旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。



スタート  
国旗またはシグナルの緑



赤旗

全ライダーはただちに停まれ!!



青旗

追越車あり進路をゆずれ!!



緑旗

先に示した合図解除



黄色縦縞の赤旗

コース上にオイルあり注意



黄旗

危険あり注意。振られた場合は大いに危険!! スピードダウン徐行せよ!!



黒旗

指示されたライダーは走行停止せよ!!



白旗または赤十字旗

コース上に救急車あり!!



チェッカー旗

レース終了!!キミはゴールした

## (ロードレース)



プロダクション



ノービス



国際B級



国際A級

## (モトクロス)



Bライセンス



ノービス



ジュニア



国際B級



国際A級  
(125cc)



国際A級  
(250cc)

## (トライアル)



ノービス



ジュニア



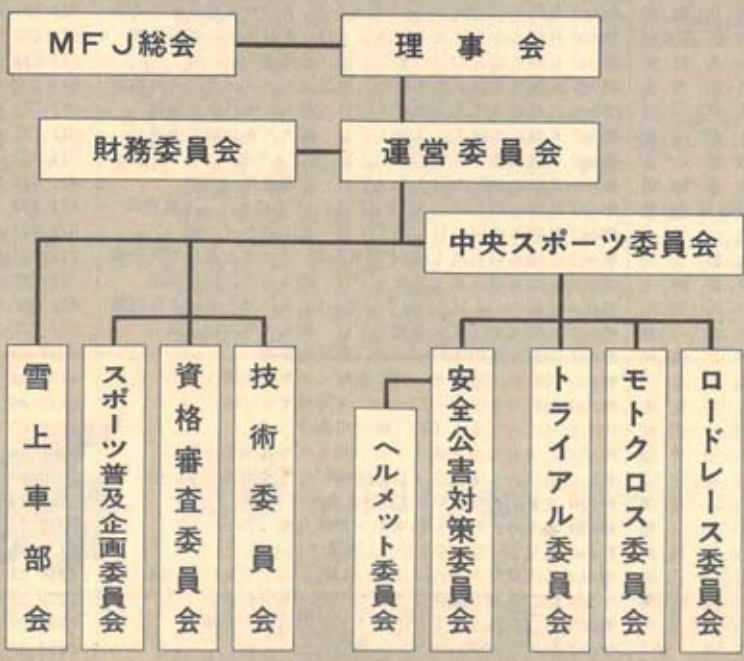
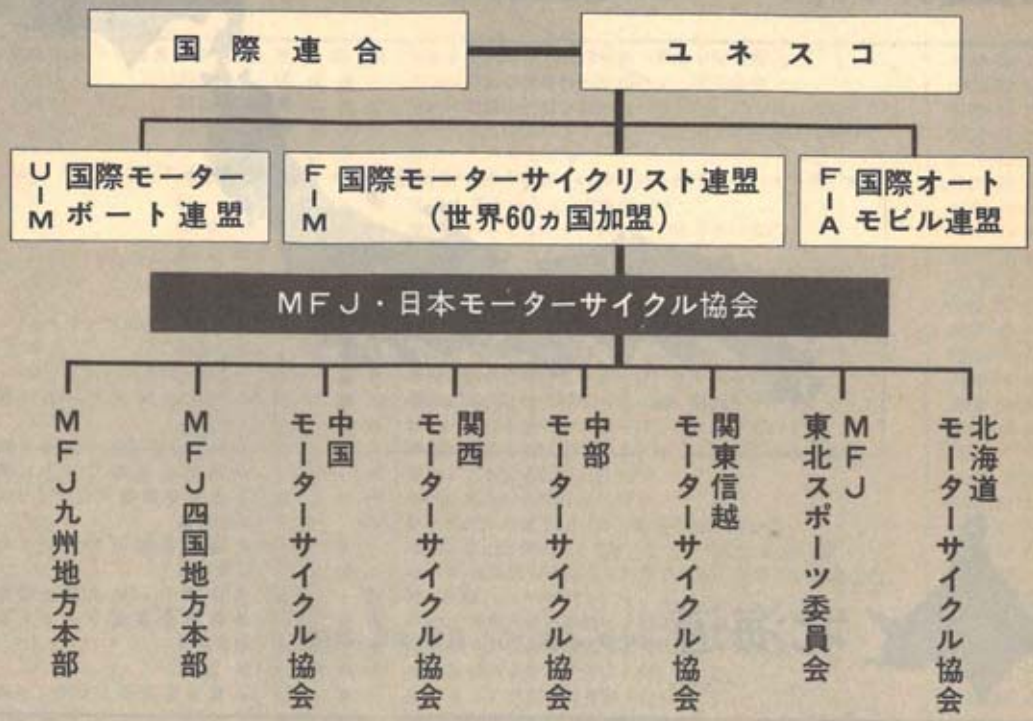
国際B級



国際A級



# 躍進!! '83 MFJ



日本モーターサイクル協会  
MFJ(エム・エフ・ジェイ)  
会長・石塚秀男



# MFJ 全国スポーツ組織



## 北海道 (札幌・函館・旭川・北見・帯広・釧路)

北海道モーターサイクル協会会長	阿部 捷兵	☎065 札幌市東区北30条東1丁目 株式会社スズキ自販北海道	011-721-8311
副会長	西川 寿光	☎003 札幌市白石区本通4丁目北6-22 カワサキ東日本販売㈱	011-861-9341
常任理事	和田 庄太郎	☎060 札幌市中央区南3条西1丁目 北日本ホンダ販売㈱	011-281-6431
常任理事	本多 行夫	☎063 札幌市西区24軒1条7丁目 北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
理事・事務局長	本川 山力吉	☎065 札幌市東区東雁来町52 北海道モーターサイクル協会	011-782-1492
スポーツ委員長	木村 一磨	☎065 札幌市東区北30条東1丁目 株式会社スズキ自販北海道	011-721-8311
モトクロス委員長	木村 一磨	☎065 札幌市東区北30条東1丁目 株式会社スズキ自販北海道	011-721-8311
トライアル委員長	木村 一磨	☎062 札幌市豊平区豊平2条5丁目 ㈲アマモーターサイクル	011-823-1980
スノースクランブル委員長	大富 崇司	☎063 札幌市西区24軒1条7丁目 北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
スポーツ委員	長谷川 勝美	☎003 札幌市白石区菊水7条4丁目4-11北日本ホンダ販売㈱	011-833-1741
スポーツ委員	井上 栄一	☎063 札幌市西区24軒1条7丁目 北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
スポーツ委員	大野 公男	☎003 札幌市白石区本通4丁目北6-22 カワサキ東日本販売㈱	011-861-9341
札幌室蘭支部 支部長	阿部 捷兵	☎065 札幌市東区北30条東1丁目 株式会社スズキ自販北海道	011-721-8311
副支部長	西川 寿光	☎003 札幌市白石区本通4丁目北6-22 カワサキ東日本販売㈱	011-861-9341
スポーツ委員長	木村 一磨	☎065 札幌市東区北30条東1丁目 株式会社スズキ自販北海道	011-721-8311
函館支部 支部長	藤尾 尚司	☎041 函館市亀田本町67-32 藤尾輪業㈱	0138-43-5510
副支部長	藤原 正則	☎040 函館市高盛町9-18 函館スズキ販売㈱	0138-53-0555
スポーツ委員長	岩崎 定雄	☎040 函館市美原3-38-34 北海道ヤマハ㈱	0138-46-1466
旭川支部 支部長	細川 悦郎	☎070 旭川市1条5丁目 株式会社細川商會	0166-22-7301
副支部長	山崎 秀雄	☎079-01 旭川市永山2条1丁目 株式会社スズキ自販北海道	0166-48-1186
スポーツ委員長	松谷 紀昭	☎070 旭川市4条西7丁目 蛸岬ビル 北海道ヤマハ㈱	0166-23-9151
北見支部 支部長	奥山 富男	☎090 北見市西富町112の1 北見スズキ㈱	0157-24-1866
副支部長	小野 勉	☎090 北見市大町42 道東ホンダ販売㈱	0157-23-7551
スポーツ委員長	相楽 利雄	☎090 北見市三輪469の2 北海道ヤマハ㈱	0157-36-6311
帯広支部 支部長	石原 正光	☎080 帯広市東1条西4丁目10 帯広ホンダモーター㈱	0155-23-8151
副支部長	川瀬 征美	☎080 帯広市西2条南1丁目20 ㈲川瀬自転車店	0155-24-5064
スポーツ委員長	白浜 哲也	☎080 帯広市西5条北1丁目4 北海道ヤマハ㈱	0155-24-4495
釧路支部 支部長	小池 蛟	☎085 釧路市南浜町2-30 北海道ヤマハ㈱	0154-23-3345
副支部長	浅野 正義	☎084 釧路市星ヶ浦1の3-51 本田技研工業㈱	0154-51-1475
スポーツ委員長	青木 英夫	☎085 釧路市北大通り10-1 株式会社青木商會	0154-23-1601





# 東北 (青森・秋田・山形・岩手・宮城・福島)

MFJ東北スポーツ委員会委員長	塚本 龍 昌	☎963 郡山市堤下町10-8 株式会社輪業商会	0249-22-1784
// 副委員長	猪股 謙 一	☎980 仙台市荒巻神明町26の1 猪股商会	0222-73-5611
// 副委員長	高橋 道 雄	☎030 青森市浪館字前田21-15	0177-81-2481
// 副委員長	大友 克 人	☎982 仙台市長町3丁目3-9 ホンダ宮城販売株内	0222-47-0123
// コミッショナー	大角 金 孝二	☎031 八戸市売市70	0178-43-5497
// 特別顧問	斉藤 三千雄	☎980 仙台市北根1の19の41 株式会社イーピーモータース内	0222-73-0475
// 顧問	辺 永 治	☎007 青森市金浜字伊吹69-4	0177-39-2125
// 監査役	佐々木 俊 雄	☎980 仙台市通町2-17-17 佐々木輪業内	0222-34-4832
// 監査役	小松 久 雄	☎995 尾花沢市大字横内94-1	02372-2-4223
// 監査役	池原 勝 二	☎997 福島県安達郡本宮町字馬場83 池原ホンダ内	02433-3-2455
// 事務局長	長 沢 義 勝	☎980 仙台市北根1の19の41 株式会社イーピーモータース内	0222-73-0475
// トライアル委員会委員長	大友 克 人	☎982 仙台市長町3丁目3-9 ホンダ宮城販売株内	0222-47-0123
// 副委員長	池原 勝 二	☎997 福島県安達郡本宮町字馬場83 池原ホンダ内	02433-3-2455
// ロードレース委員会委員長	佐々木 俊 雄	☎980 仙台市通町2-17-17 佐々木輪業内	0222-34-4832
宮城県スポーツ委員会委員長	服部 謙 治	☎983 仙台市福田町1-6-46 服部カワサキショップ内	0222-58-1724
// 事務局長	佐々木 俊 雄	☎980 仙台市通町2-17-17 佐々木輪業内	0222-34-4832
宮城県トライアル部会事務局長	大友 克 人	☎982 仙台市長町3丁目3-9 ホンダ宮城販売株内	0222-47-0123
福島県スポーツ委員会委員長	佐々木 威 雄	☎964 二本松市松岡216-2	02432-2-3541
福島県モトクロス委員会委員長	増子 行 雄	☎963 郡山市若松町16-19	0249-32-1546
// 事務局長	菅野 明	☎963 郡山市堤下10-8 株式会社輪業商会内	0246-22-1784
福島県トライアル部会部会長	柳町 幸 一	☎963 郡山市開成6-232 ヤマハ東北株式会社(営)	0249-33-6771
// 事務局長	池原 勝 二	☎997 福島県安達郡本宮町字馬場83 池原ホンダ販売内	02433-3-2455
福島県雪上車スポーツ部会会長	藤本 勝 二	☎960 福島市天神町12-24	0245-34-3330
秋田県スポーツ委員会委員長	鈴木 祐 孝	☎010 5 男鹿市船川港船川字船川15-2	0185-24-2725
// 事務局長	三浦 勉	☎010 0 秋田県南秋田郡天王町天王字上北野139の2	0188-73-3271
// 事務局	大倉 鐘 子	☎010 5 秋田市豊岩豊巻字上野174-1	0188-28-2986
秋田県モトクロス委員会委員長	大倉 喜 七	☎010 5 秋田市豊岩豊巻字上野174-1	0188-28-2986
秋田県トライアル部会会長	佐藤 康 一	☎010 秋田市広面字谷内佐渡38	0188-34-0695
山形県スポーツ委員会委員長	小松 久 雄	☎995 尾花沢市大字横内94-1	02372-2-4223
// 副委員長	小林 啓 雄	☎997 山形県最上郡最上町大字向町614	02334-3-2912
// 副委員長	万年 松 雄	☎998 酒田市浜田1-7-6	02365-3-8828
山形県内陸モトクロス委員会委員長	村形 川 保	☎993 天童市荒谷	02365-3-8828
山形県庄内モトクロス委員会委員長	村形 川 保	☎998 酒田市本町1-2-27	02334-3-2912
山形県スポーツ委員会事務局長	押切 昇	☎997 山形県最上郡最上町大字向町196 最上ホンダ店内	0236-33-0361
山形県トライアル部会事務局長	阿部 利 行	☎090 山形市錦町1-15 三島モータース内	01952-7-3028
岩手県スポーツ委員会委員長	阿部 博 美	☎025 2 戸市金田一駅前	01982-4-7356
// 副委員長	岩井 清	☎025 花巻市桜町	01952-7-3508
// 事務局長	関根 節 男	☎025 2 戸市金田一字下山井9-2	0196-22-7448
岩手県トライアル部会部会長	田中 清 也	☎020 盛岡市長田町4-14 田中ホンダ内	01737-2-4910
青森県スポーツ委員会委員長	瀬川 高 峰	☎027 青森県西津軽郡鯉ヶ沢字小夜230の7	0177-39-2125
// 副委員長	田 辺 永 治	☎007 青森市金浜字伊吹69-4	0177-22-5511
// 副委員長	高田 喜代美	☎030 青森市小柳字唐橋124市営10の17	0177-43-6282
// 事務局長	山 本 金 義	☎030 青森市松森字福田79-15 山本モータース内	



# 関東・甲信越 (栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・新潟・長野・山梨・神奈川)

関東信越モーターサイクル協会会長	石塚 秀 男	☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03-472-6241
// 相談役	鈴木 四 郎	☎164 東京都中野区本町2-46-32 全国二輪車安全普及協会内	03-372-5156
// 相談役	相場 瑞 吉	☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03-472-6241
// 事務局長	大宮 久 夫	☎	☎
関東スポーツ委員会委員長	高山 光 一	☎123 東京都足立区江北6-9-9	03-890-8172



//	副委員長	大久保力	☎184 東京都小金井市本町5-38-3	0423-81-7272
//	顧問	大妻川一	☎176 東京都練馬区平和台3-5-2	03-933-5282
//	顧問	大新外山良	☎108 東京都港区芝5-33-8 三菱自販機 コルトスポーツコーナー内	03-456-1111
//	顧問	大久保力	☎955 新潟県三条市四の町232	02563-2-2612
//	企画委員会委員長	大久保力	☎184 東京都小金井市本町5-38-3	0423-81-7272
//	審査委員会委員長	大久保力	☎	"
//	ロードレース委員会委員長	大久保和夫	☎213 川崎市宮前区菅生2932	044-788-8561
//	ロードレース副委員長	三井光晃	☎144 東京都北区王子4-23-8 館ノガロレーシング	03-914-4763
//	副委員長	高上原保男	☎123 東京都足立区江北6-9-9	03-890-8172
//	モトクロス委員会委員長	成田省造	☎196 昭島市田中町3-5 23-303	0425-45-6379
//	トライアル委員会委員長	大月信和	☎211 川崎市中原区中丸字776-6	044-411-8618
//	副委員長	大岩田定雄	☎132 東京都江戸川区小松川4-40-8	03-656-5415
//	スノーモービル委員会委員長	宮城久夫	☎	"
東京都	支部	支部長	☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03-472-6241
//	事務局長	宮城久夫	☎	"
//	スポーツ委員長	村上正司	☎123 東京都足立区江北6-9-6 藤村上製作所内	03-896-5865
//	スポーツ副委員長	鶴巻秀行	☎123 東京都足立区加賀1-19-130	03-857-1446
//	副委員長	香川州民	☎114 東京都北区滝野川7-10-2 香川モータース	03-915-8209
//	トライアル委員長	馬場忠稔	☎354 富士見市勝瀬940-10	0492-64-8461
神奈川県	支部	支部長	☎226 横浜市緑区池辺町中里前3575 神奈川県軽自動車協会内	045-931-4290
//	事務局長	鈴木克典	☎	"
//	スポーツ委員長	加山清丸	☎	"
埼玉県	支部	支部長	☎330 大宮市中釘2082 埼玉県軽自動車協会内	0486-24-1221
//	事務局長	山崎好文	☎	"
//	副委員長	熊井戸紀一	☎	"
群馬県	支部	支部長	☎379-21 前橋市野中町578 群馬県軽自動車協会内	0272-61-0505
//	事務局長	滝沢又	☎	"
//	スポーツ委員長	宮森啓之	☎370 高崎市八千代町3-8-17 宮森ビル	0273-22-2659
千葉県	支部	支部長	☎280 千葉市新港223 千葉県軽自動車協会内	0472-42-1564
//	事務局長	金子竹治	☎	"
//	スポーツ委員長	山下慶治	☎276 八千代市吉橋1825-10	0474-50-9628
//	スポーツ副委員長	狩野達司	☎299-43 千葉県長生郡一宮町新地1985	0475-42-4967
//	モトクロス部会長	鬼田泰司	☎288 鎌子市春日野町2150 市営住宅D31	0479-24-3833
茨城県	支部	支部長	☎310 水戸市住吉町307 茨城県軽自動車協会内	0292-47-5832
//	事務局長	佐野臣一	☎	"
//	スポーツ委員長	小室文男	☎310 水戸市住吉123 小室モータース内	0292-47-5215
栃木県	支部	支部長	☎320 宇都宮市西川田町字東原1664-3 栃木県軽自動車協会内	0286-45-0958
//	事務局長	伊藤喜代美	☎	"
//	スポーツ委員長	松本栄太郎	☎	"
//	モトクロス委員長	入江美雄	☎321-21 宇都宮市石井町2731	0286-61-3560
//	モトクロス副委員長	五江潤皓	☎324 大田原市戸野内417	02872-3-0812
山梨県	支部	支部長	☎406 山梨県八代郡石和町唐柏791-1 山梨県軽自動車協会内	05526-2-7548
//	事務局長	萩原茂賀	☎	"
//	スポーツ委員長	西谷裕司	☎499-14 山梨県東八代郡一宮町橋立95 スポーツショップ西谷内	05534-7-1476
新潟県	支部	支部長	☎950 新潟県大形町1173 新潟県軽自動車協会大形事務所内	0252-75-5704
//	副支部長	中村義郎	☎	"
//	事務局長	加田芳男	☎	"
//	副委員長	池藤俊明	☎	"
//	スポーツ委員長	中村義郎	☎	"
//	モトクロス委員長	斉藤正利	☎60-01 新潟県中蒲原郡亀田町袋津6-2-39	0253-81-2917
//	モトクロス副委員長	長谷川敏郎	☎951 新潟市牡丹山3-2-5 (アカミチバイクセンター内)	0252-75-5092
//	副委員長	小林繁晴	☎99-16 五泉市本町1-1-23	02504-2-2724
//	副委員長	原田正雄	☎950 新潟市下新409-3	02502-3-0320
//	トライアル委員長	高橋和雄	☎951 新潟市関屋大川前1 (市川サイクル内)	0252-66-7324
//	スノーモービル委員長	山田幸人	☎949-63 新潟県南魚沼郡塩沢町南田中423 (高喜屋内)	02578-3-2403
長野県	支部	支部長	☎380 長野市大字西和田字東和田境438-3 長野県軽自動車協会内	0262-43-1967
//	事務局長	小西清人	☎	"
//	スポーツ委員長	西牧徳光	☎390 松本市出川町1643 モトショップヒロ内	0263-25-6539



## 中部 (静岡・愛知・富山・石川・福井・岐阜・三重)

中部モーターサイクル協会会長	磯田守	☎514 津市港町19-12 三重県軽自動車協会内	0592-24-1111	
//	事務局長	佐野純二	"	
//	スポーツ委員長	藤井璋美	☎513 鈴鹿市住吉町6786 ホンダワールド内	0593-78-1455
//	トライアル委員長	鈴木唯一	☎60-01 愛知県愛知郡東郷町諸輪字東脇59-99	05613-8-0736
富山県支部	支部長	斉藤正義	☎930 富山市藤ノ木521-1 富山県軽自動車協会内	0764-24-6420



//	事務局長	太田 三郎	"	"	"
//	スポーツ委員長	(齊藤 正義)	☎930 富山市藤ノ木台3-16	"	0764-25-6824
石川 県 支 部	支 部 長	加藤 和男	☎920 金沢市入江3-134	石川県軽自動車協会内	0762-91-7111
石川 県 支 部	事務局長	三松 幸男	☎920 金沢市入江3-134	石川県軽自動車協会内	0762-91-7111
//	スポーツ委員長	川村 幸一	☎921 金沢市二口町ロの80	"	0762-65-6601
福井 県 支 部	支 部 長	(井上 善一)	☎907 37 福井市浅水町138字植木11-2	福井県軽自動車協会内	0776-38-0558
//	事務局長	漆崎 信弘	"	"	"
//	スポーツ委員長	井上 善一	"	"	"
岐阜 県 支 部	支 部 長	仲神 桂二	☎501-02 岐阜県本巣郡穂積町大字別府花塚三ノ町2226-5	"	05832-6-5982
//	事務局長	山村 貞夫	"	岐阜県軽自動車協会内	"
//	スポーツ委員長	福井 保	☎463 名古屋守山区守山字間黒71-1	"	052-793-7671
//				カワサキ中日本販売㈱名古屋支店	
静岡 県 支 部	支 部 長	戸田 芳司	☎422 静岡市国吉田32-7	静岡県軽自動車協会内	0542-61-4455
//	事務局長	長田 幹雄	"	"	"
//	スポーツ委員長	伊藤 光夫	"	"	"
愛知 県 支 部	支 部 長	仲尾 大男	☎468 名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110の6	愛知県軽自動車協会内	052-833-9276
//	事務局長	尾之 夫	"	"	"
//	スポーツ委員長	島田 逸彦	☎455 名古屋市中村区稲葉地町3-8	"	052-412-5154
三重 県 支 部	支 部 長	野寄 恂	☎514 津市港町19-12	三重県軽自動車協会内	0592-24-1111
//	事務局長	伊藤 寅信	"	"	"
//	スポーツ委員長	荒木 幸保	☎514 津市東丸の内14-32	カワサキ中日本販売㈱三重営業所	0592-26-2713



## 関 西 (滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)

関西モーターサイクル協会会長	西海 義治	☎653 神戸市長田区房王寺町1-20	078-642-1785
//	事務局長	中西 徳弘	☎673 神戸市西区玉津町居住67-1
//	スポーツ委員長	西海 義治	☎653 神戸市長田区房王寺町1-20
//	トライアル委員長	山本 隆	☎675 加古川市野口町良野261-3
滋賀 県 支 部	支 部 長	磯部 清	☎520-0 大津市唐崎3-17-1
京 都 府 支 部	支 部 長	桜井 伊蔵	☎612 京都市伏見区竹田向代町51-5
大 阪 府 支 部	支 部 長	野田 道男	☎550 大阪府西成区立売堀1丁目7-14
兵 庫 県 支 部	支 部 長	西海 義治	☎653 神戸市長田区房王寺町1-20
奈 良 県 支 部	支 部 長	小島 末太郎	☎630 奈良市南宮終町2-321-1
和 歌 山 県 支 部	支 部 長	黒川 栄	☎641 和歌山市西浜字中川向ヒノ坪1660-389
			和歌山県二輪車安全普及協会内



## 中 国 (鳥取・島根・岡山・広島・山口)

中国モーターサイクル協会会長	吉井 幸三	☎730 広島市大手町3-1-29	0822-41-4274
西日本スポーツ委員会委員長	大野 弘雄	☎730 広島市南区松川町3-19	0822-61-8386
//	事務局長	原田 茂樹	"
山陰スポーツ委員会委員長	立脇 才三	☎683 米子市天神町2-49	08592-2-4583
//	副委員長	原 和雄	☎691 平田市西郷町551
鳥取 県 支 部	支 部 長	梶浦 兵造	☎680 鳥取市丸山町248
島根 県 支 部	支 部 長	原 弘	☎690 松江市八幡町725
//	事務局長	三沢 栄一郎	"
岡 山 県 支 部	支 部 長	村 猪吉郎	☎710 倉敷市沖8番地1
//	スポーツ委員長	福岡 康男	"
//	スポーツ副委員長	岡崎 信機	☎710 倉敷市沖64-1
//	トライアル委員長	石川 増美	☎700 岡山市南中央町12-3
広 島 県 支 部	支 部 長	吉川 定義	"
広島県モトクロス委員会委員長	石川 徳彦	☎733 広島市舟入中町3-9	0822-93-4721
//	トライアル委員長	松田 義彦	☎733 広島市西区横川町1-7-19
山 口 県 支 部	支 部 長	佐々木 吉雄	☎755 宇部市南浜町2-7-21
//	スポーツ委員長	若木 恭一	☎740 岩国市平田町4-21-30
//	トライアル委員長	山口 本恵	☎743 山口県光市蛇ヶ浜2-7-26
//	ロードレース委員	山本 明	☎751 下関市秋根南町2-1-15





# 四 国

(徳島・香川・愛媛・高知)

M F J 四 国 地 方 本 部 本 部 長	前 田 秀 雄	〒760 高松市三条町113 輪スズキオート香川	0878-66-8411
四 国 ス ポ ー ツ 委 員 会 委 員 長	岡 村 秀 樹	〒760 高松市西宝町3-11-7	0878-34-1634
// 副 委 員 長	義 明	〒763 丸亀市西本町1-1-1	08772-2-2921
// モ ト ク ロ ス 委 員 長	富 川 雅 夫	〒763 丸亀市今津町886	08772-2-9512
// ト ラ イ ア ル 委 員 長	富 浪 拓 夫	〒770 徳島市西新町4丁目7 富浪商店内	0886-22-5545
// 事 務 局 長	富 川 雅 夫	〒763 丸亀市今津町886	08772-2-9512
// 顧 問	前 田 秀 雄	〒760 高松市三条町113 輪スズキオート香川	0878-66-8411
// 顧 問	武 智 和 夫	〒673-01 明石市二見町福里506-18	07894-2-8297
// 顧 問	藤 沢 優 一	〒105 東京都港区新橋1-1 日比谷ビル8階カワサキオートバイ販売部	03-503-2581
徳 島 県 支 部 支 部 長	宮 本 恒 栄	〒770 徳島市南矢三町2-1-58 徳島県二輪自動車協会内	0886-53-8513
// 事 務 局 長	菅 田 満 起	"	"
// ス ポ ー ツ 委 員 長	半 田 良 和	〒770 徳島市大松町榎原外77の3 MC 半田	0886-69-3688
// 事 務 局 長	( // )	"	"
// モ ト ク ロ ス 委 員 長	林 正 明	〒774 阿南市西路見町元村30-3	0884-22-0710
// ト ラ イ ア ル 委 員 長	正 裕	〒770 徳島市徳島本町3丁目8	0886-54-2233
香 川 県 支 部 支 部 長	前 田 秀 雄	〒760 高松市三条町113 輪スズキオート香川	0878-66-8411
// 副 支 部 長	富 川 雅 夫	〒763 丸亀市今津町886	08772-2-9512
// ス ポ ー ツ 委 員 長	岡 義 明	〒763 丸亀市西本町1-1-1	08772-2-2921
// 事 務 局 長	兼 近 敷 予	〒762 坂出市旭町3丁目1-11	08774-6-3385
// モ ト ク ロ ス 委 員 長	湯 浅 逸	〒760 高松市木太町2343-6	0878-33-9625
// ト ラ イ ア ル 委 員 長	田 内 康 博	〒760 高松市牟礼町牟礼678-82	0878-45-9570
愛 媛 県 支 部 支 部 長	曾 我 光 四 郎	〒792-11 松山市南高井町1812-3 愛媛県軽自動車協会内	0899-75-7310
// 事 務 局 長	居 靖 雄	"	"
// ス ポ ー ツ 委 員 長	土 三 原 森 雄	〒790 松山市三番町7丁目13-11 松山カワサキみはら内	0899-32-6151
// 事 務 局 長	( // )	"	"
// モ ト ク ロ ス 委 員 長	金 高 章	〒792-41 松山市高岡町61	0899-73-0467
// ト ラ イ ア ル 委 員 長	井 原 修 修	〒790 松山市下伊台町274-42 バイクショップ井原	0899-77-6505
高 知 県 支 部 支 部 長	猪 之 助	〒882-02 高知市横浜1657 高知県軽自動車協会内	0888-32-0178
// 事 務 局 長	笠 井 福 次	"	"
// ス ポ ー ツ 委 員 長	門 田 洋 一	〒780 高知市南御座22	0888-83-7272
// 事 務 局 長	香 西 健 二	〒882-02 高知市瀬戸町2-285	0888-42-2987
// モ ト ク ロ ス 委 員 長	横 田 修 作	〒783 南国市大涌甲1615	0888-4-3348
// 事 務 局 長	池 田 範 子	〒780 高知市稲荷町3-22 ウテナ美容室内	0888-83-2539
// ト ラ イ ア ル 委 員 長	川 竹 健 二	〒780 高知市潮新町2-38-10 ライダーハウス	0888-83-7736
// 事 務 局 長	裏 正 一	〒780 高知市浅橋通り1-5-16	0888-31-4260



# 九 州

(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

M F J 九 州 地 方 本 部 本 部 長	内 野 庄 八	〒812 福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16 福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
// ス ポ ー ツ 委 員 長	鴨 川 清 志	〒810 福岡市中央区港2-5-32 サポートハイツ101	092-771-5508
// モ ト ク ロ ス 委 員 長	池 田 享 正	〒812 福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16 福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
// ト ラ イ ア ル 委 員 長	吉 田 龍 吉	〒812-02 福岡市東区下和白7-3	092-607-4656
// 事 務 局 長	庄 司 正 美	〒812 福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16 福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
福 岡 県 支 部 支 部 長	野 村 正 美	"	"
// 事 務 局 長	(左 司 正 美)	"	"
佐 賀 県 支 部 支 部 長	松 上 保 次	〒860-01 佐賀市高木瀬町大字高木五木杉1240-10	0952-30-8442
// 事 務 局 長	上 野 繁 次	" 佐賀県軽自動車協会内	"
長 崎 県 支 部 支 部 長	福 田 和 翁	〒850 長崎市平間町400-3 第2総合事務所内	0958-38-3245
// 事 務 局 長	関 武 男	"	"
熊 本 県 支 部 支 部 長	小 竹 義 秀	〒862 熊本市東町4-26 熊本県軽自動車協会内	0963-69-7920
// 事 務 局 長	西 村 嘉 徳	"	"
大 分 県 支 部 支 部 長	渡 瀬 昇 治	〒870-01 大分市三ッ上1-4-35 大分県軽自動車協会内	0975-58-4861
// 事 務 局 長	広 瀬 進	"	"
宮 崎 県 支 部 支 部 長	小 浜 秀 実	〒880 宮崎市田代町7-1 宮崎県軽自動車協会内	0985-27-1471
鹿 児 島 県 支 部 支 部 長	下 野 啓 二	〒890-01 鹿児島市谷山港2-4-3 鹿児島県軽自動車協会内	0992-61-4011
// 事 務 局 長	湯 田 啓 二	"	"



# MFJ 国内競技規則

## 1983年版

<b>総則</b> .....	20
ミニバイク競技会指導要綱.....	74

<b>付則1ロードレース</b> .....	28
フォーミュラーロードレース.....	36
プロダクションロードレース.....	37
'83全日本選手権大会特別規則.....	38



<b>付則2モトクロス</b> .....	55
'83全日本選手権大会特別規則.....	69

<b>付則3トライアル</b> .....	65
'83全日本選手権大会特別規則.....	70

**付録**

MFJ公認車輛・公認部品・承認部品・公認ヘルメット・歴代チャンピオン・全日本選手権ランキング基準・ライセンス昇降格規定・MFJ選手共済制度など.....	76
--	----



昭和58年1月1日発行

**日本モーターサイクル協会** MFJ (エム・エフ・ジェイ)  
The Motorcycling Federation of Japan

〒104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル Tel 03-561-8566



## 国内競技規則(総則)

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟 (Fédération Internationale Motorcycliste—略称 FIM) の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則にもとづいて作成され、日本国内のモーターサイクルスポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と付則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は付則に示される。



## — 総 則 の 内 容 —

- |                             |                               |
|-----------------------------|-------------------------------|
| [1] MFJ国内競技規則について……………21    | [13] 車 輛 検 査……………25           |
| [2] 公示, 特別規則および公式通知……………21  | [14] ライダーおよび車輛の変更……………25      |
| [3] ライセンス……………21            | [15] 走行中の遵守事項……………25          |
| [4] 参加者およびライダー……………22       | [16] レ ー ス……………26             |
| [5] 出場申込み……………23            | [17] 優勝者, 入賞者および完走者……………26    |
| [6] 出場料, 保険料および選手共済費……………23 | [18] 入賞車の検査……………26            |
| [7] 配布物品……………23             | [19] レース結果および記録の公表……………26     |
| [8] 賞および得点……………23           | [20] レースの延期, 中止および打ち切り……………26 |
| [9] 出 場 車 輛……………24          | [21] 抗 議……………27               |
| [10] 公道での走行禁止……………24        | [22] 損害の補償……………27             |
| [11] 器具および装備品……………24        | [23] 競技規則の違反行為に対する罰則……………27   |
| [12] 燃料およびオイル……………25        |                               |



## 〔1〕 MFJ 国内競技規則について

MFJ 国内競技規則は、日本国内のモーターサイクルスポーツのための規則であり、国際モーターサイクリスト連盟 (Fédération Internationale Motocycliste — 略称 FIM) の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則にもとづいたものである。

日本モーターサイクル協会 (略称 MFJ) は FIM の日本における代表機関として、モーターサイクルスポーツの国内管理、一般的モータリゼーションの普及、振興等の目的のために本国内競技規則を制定、施行する。

## 1. 適用の範囲

本国内競技規則は日本国内のすべてのモーターサイクルスポーツ国内競技会に適用され、各種目の共通事項は総則に、競技種目によって、内容に差異のある事項はそれぞれの付則に記載する。

## 2. 競技規則の解釈

競技会開催期間中の判定および競技規則全般の解釈は、本国内競技規則にもとづいて、競技会審査委員会 (以下大会審査委員会という) だけがおこない、大会審査委員会の判定および解釈を最終的なものとする。

## 〔2〕 公示、特別規則および公式通知

## 1. 競技会

競技会は、この国内競技規則にもとづいておこなわれ、競技会の運営上、競技の細部の規則並びに指示は公示、特別規則、および公式通知によって示される。

## 2. 公示、特別規則、および公式通知

公示、特別規則、および公式通知は、競技会主催者 (以下主催者という) が発行する。

## 3. 特別規則

特別規則には次の各項が示される。

- 1) 競技会の名称
- 2) 主催者の名称、所在地および連絡先
- 3) 開催日時

## ■ ライセンスの資格区分

ライセンス 名称	種 目			ライセンス カラー	適 用
	ロードレース	モトクロス	トライアル		
国際 A 級	○	○	○	赤	スポーツ専用車を含む 競技を対象として種目 別に発行される競技者 認定証
国際 B 級	○	○	○	緑	
ジュニア	—	○	○	うす茶	
ノービス	○	○	○	紫	
B	対象種目=プロダクション・ロードレース、 ミニモトクロス、ミニエンデューロ、スノー スクランブル			水色	一般市販車を含む競技 を対象として発行され る競技者認定証

- 4) 開催場所 (コース)
- 5) 競技の内容と参加者、ライダーの資格
- 6) 出場申込み受付場所
- 7) 出場申込み期間
- 8) 出場料と保険料金
- 9) クラス区分
- 10) 出走者の定員
- 11) 賞およびその詳細
- 12) 運営組織
- 13) その他、国内競技規則に定められた事項

## 4. 競技会の運営

競技会運営の細部にわたる規則、指示等については公示、または特別規則に記載し得なかつた事項は、公式通知によって示される。

## 〔3〕 ライセンス

ライセンスとは国際モーターサイクリスト連盟の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則に準拠して、MFJ が会員に対して発行する競技者認定証であり、国内のモーターサイクル競技会に参加するに必要な証書である。

## 1. ライセンス区分

ライセンスには下表のライセンス資格区分がある。

## 2. ライセンス新規取得者の資格

新たにライセンス取得申請をおこなう者は下記の条件をみたしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有する者。  
注: 日本国内に3ヵ月以上継続的に居住した外国人がその期間を証明できる書類を提出すれば、スポーツ国籍は日本にあるものとみなされる。ただし、本人が所属する国の代表機関の書面による承諾を必要とする。
- 2) 運転免許証所持者。
- 3) 職業選手でないこと。また過去に職業選手として登録し、または登録されたことのある者は、登録取消し後1年以上経過した者でなければならない。  
注: 職業選手とは、日本小型自動車振興会所管のレースのために登録された者、およびスクーター、サーカス等に所属している者をいう。



- 4) ロードレース・ノービスライセンス取得申請の場合は、サーキットの3時間走行証明またはMFJ公認ロードレーシングスクール修了証を得ている者。
- 5) ロードレースBライセンス取得申請の場合は、サーキットのライセンス講習会受講証明を得ている者。

### 3. ライセンスの停止

下記の場合、ライセンスは停止される。

- 1) 日本にスポーツ国籍がなくなった場合。
- 2) 運転免許証取消処分または停止処分を受けた場合。  
(停止の場合はその期間満了の日まで)
- 3) 職業選手として登録された場合。
- 4) MFJの認めない競技会に出場した場合。
- 5) MFJ資格審査委員会の裁定により停止処分を受けた場合。(資格審査委員会の定める期間)

### 4. ライセンス資格の昇格および降格

#### 1) 自動昇格

- (1) ジュニア部門以上のライセンス有資格者の昇格はMFJ資格審査委員会の定める規定にもとづいて審査され、昇格される。
- (2) ノービス部門以下のライセンス有資格者の昇格はMFJ地方スポーツ委員会の審査によって昇格される。

#### 2) 特別昇格および降格

- (1) ライセンス資格の昇格を希望し、MFJが定める期間内ライセンス昇格規定(86頁参照)に、規定にもとづき、地方スポーツ委員会の推薦によって申請した者で、MFJ資格審査委員会の審査によって昇格が認められた者が上級ライセンス有資格者となる。
- (2) ライセンス資格の降格を希望し、MFJが定めた期間内ライセンス降格規定(87頁参照)に規定にもとづき、地方スポーツ委員会の推薦によって申請した者で、MFJ資格審査委員会の審査によって降格が認められた者は、特別にライセンス資格を降格することができる。

ただし、降格後MFJ資格審査委員会によって、そのスポーツ技術、能力が降格したライセンス資格にふさわしくないと判断された者は元のライセンス資格へ戻されるものとする。(86頁のライセンス昇・降格規定を参照のこと)。

## [4] 参加者およびライダー

### 1. 参加者(エントラント)

- 1) MFJに所属していて、「参加の申請」をおこなった個人およびクラブ。
- 2) MFJに登録されている車輛メーカー、その部品関連産業メーカーおよびディーラーで、「参加者の申請」

をおこなった者。

### 2. ライダー

ライダーとはMFJ会員で、当該競技会に「出場申込み」をおこなった者。

### 3. ライダーの資格

- 1) 当該競技会出場申込みのときに、日本にスポーツ籍を有する者で、運転免許証およびMFJの競技者ライセンスを所有する者に限る。ただし、満20歳未満の者は親権者の承諾書を必要とする。
- 2) 主催者は競技会当日、運転免許証(または、自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可)とMFJ競技者ライセンスおよび健康保険証の提示を求め、当日の資格を判定する。
- 3) ライダーは過去6ヵ月以内に重大な刑法上または道路交通法違反によって処罰された者であってはならない。
- 4) ライダーは、医師によってレース出場可能な健康体であると診断された場合、レース出場資格者、もしくはレース継続資格者としてみとめられる。  
主催者は、どのライダーに対しても、指定した医師による健康診断を要求することができる。またこの診断をもって最終とする。
- 5) 開催期間中、転倒事故等により負傷したライダーは指定医師の承認を得なければ再び出走することはできない。

### 4. メカニック(ピットクルー)

メカニックとは、16歳以上のMFJ会員でMFJピットクルーライセンスを所有し当該競技会に「参加の申請」をおこなった者とする。

### 5. ピットサインマンおよびヘルパー(ピットクルー)

ピットサインマンおよびヘルパーとは、16歳以上のMFJ会員でMFJピットクルーライセンスを所有しライダーまたはメカニックを援助する当該競技会に「参加の申請」をおこなった者。

### 6. 参加者、ライダー、メカニック、ピットサインマンおよびヘルパーの遵守事項

参加者(ライダー、ピットクルーを含む)は次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会中は、MFJ国内競技規則にしたがって行動し、参加者はすべての行動に対して責任を持たなければならない。
- 2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員への指示にしたがい、かつレース場以外では交通法規を守らなければならない。
- 3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、野卑な言動



は厳に慎まなければならない。

- 4) 競技に関する業務についているときは、飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 5) 競技会中は参加の身分証を必ず携帯していなければならない。(ライセンス、運転免許証等)

## 〔5〕 出場申込み

### 1. 申込み方法

- 1) 申込み期間、申込み場所、その他の詳細については当該特別規則に示される。
- 2) 主催者より支給された用紙の記載事項のすべてに指示どおり記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない。
- 3) 主催者は、参加者、ライダー およびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申込みを拒否、または無効とする権限を有する。

### 2. 定員

- 1) レース出走者数または出場申込み者数の定員は特別規則に示される。
- 2) 出場申込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスのレースを中止することがある。

### 3. 出場車輛の登録

出場申込み者は、「出場申込み書」により競技会に使用する出場車輛(以下車輛という)を主催者に登録しなければならない。

## 〔6〕 出場料、保険料および選手共済費

### 1. 出場料

参加者またはライダーは、出場申込みのときに出場料を(金額は特別規則に明示)払込まなければならない。

### 2. MFJ選手共済費および保険料

各ライダーは、出場申込みのときにMFJ選手共済費および指定保険料の実費を主催者に払込まなければならない。選手共済費、保険料の内容の詳細は特別規則に示される。

### 3. 出場料等の払戻し

いったん、主催者に受理された出場料等は払戻しされない。

## 〔7〕 配布物品

参加賞および配布物品は主催者(大会事務局)から交付される。時期および詳細は特別規則に示される。

## 〔8〕 賞および得点

### 1. 賞

賞およびその詳細は特別規則に示される。

### 2.

競技会において与えられる得点は次の通りである。

1位=15点、2位=12点、3位=10点、4位=8点、5位=6点、6位=5点、7位=4点、8位=3点、9位=2点、10位=1点。

### 3. 出走台数

出走台数が20台に満たない場合、次の通り賞および得点を制限する。ただし賞は原則として6位迄とする。

出走台数	得点	出走台数	得点
18~19台	9位迄	10~11台	5位迄
16~17台	8位迄	8~9台	4位迄
14~15台	7位迄	6~7台	3位迄
12~13台	6位迄	5台	2位迄

注：出走台数とは、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数をいう。ただし予選がある場合は、その総台数をいう。



おめでとう。チャンピオンシャワーは喜びのファンファーレでもある。



## 〔9〕 出場車輛

## 1. クラスの区分

車輛は排気量によって原則として次のようにわけられ、付則に示される。

## 1) ロードレース

クラス	最小排気量	最大排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc～	80cc
125cc	81cc～	125cc
250cc	126cc～	250cc
350cc	251cc～	350cc
500cc	351cc～	500cc
750cc	501cc～	750cc

## 2) フォーミュラー・ロードレース

クラス	最小排気量		最大排気量	
	2サイクル	4サイクル	2サイクル	4サイクル
フォーミュラー1	351cc	601cc	500cc	1000cc
フォーミュラー2	251cc	401cc	350cc	600cc
フォーミュラー3	126cc	251cc	250cc	400cc
フォーミュラー4	51cc	51cc	125cc	250cc

## 3) プロダクション・ロードレース

クラス	最小排気量	最大排気量
125cc クラス	81cc～	125cc
250cc クラス	126cc～	250cc

## 4) モトクロス

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc～	80cc
125cc	100cc～	125cc
250cc	175cc～	250cc
500cc	350cc～	500cc

## 5) トライアル

排気量によるクラス区分は設けない。

## 2. 総排気量の算出基準

総排気量は下記の計算式により算出する。ただしシリンダー内径・ピストン行程(m/m)は小数点以下1位まで四捨五入し、小数点以下を切り捨てて表示する。この際内径はクランク軸方向とその直角方向を測定し平均する。

$$\text{総排気量(cc)} = 0.7854 \times \text{内径}^2 \times \text{行程} \times 10^{-3} \times \text{気筒数}$$

## 3. 仕様

車輛は付則に示す「改造の限度」と「仕様」に合致し、かつ特別規則の条件をみたし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

## 4. 危険な車

車検長または大会審査委員会より危険であると判断された車輛は、理由のいかんを問わずレースに使用することはできない。

## 〔10〕 公道での走行禁止

## 1. 公道の走行禁止

主催者に登録された、またはそれに近い構造の車によって一般公道を走行することはいっさい禁止する。

## 2. 走行禁止の例外

主催者に登録された車輛であっても、車輛保安基準に適合した安全な車はその限りではない。

## 3. レース用車輛

車輛保安基準に適合した安全な車でも、レース・ナンバープレートを装着して一般公道を走行することはいっさい禁止する。

## 〔11〕 器具および装備品

## 1. レースナンバープレート

## 1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートの大きさは、付則に示される。

## 2) 取り付け方法

(1) 付則に示される枚数のナンバープレートはライダー等によりかくれることなく、明瞭に見えるように取り付けなければならない。

(2) 取り付けは安全な方法により確実に装着されなければならない。ハリガネなど安易な方法にたよってはならない。

## 2. ヘルメット

1) ライダーは予選、レース中を問わず、走行中は必ずヘルメットを着用しなければならない。

2) ヘルメットは付則に定められた性能を有するもので主催者の検査に合格したものでなければならない。

注：MFJの公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。

## 3. ライダーの服装

1) ライダーの服装は競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。

2) ライダーは指示されたゼッケンは必ず着用しなければならない。ただし、ナンバー固定器でライダーズーツの上着にゼッケンを縫い込んだものは認可される。



- 3) その他、付則による。

## [12] 燃料およびオイル

### 1. 燃 料

レースに使用する燃料は、一般市販ガソリンでなければならない。また主催者が指定しレース場内に供給する場合、ガソリンの銘柄およびその他の詳細は特別規則に示される。

### 2. オイル

オイルの銘柄は指定しない。

### 3. その他の規定

- 1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃料効率を高めるような添加剤あるいは起爆剤を加えてはならない。
- 2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。また主催者より作業場所の指定がある場合は必ずその指示にしたがわなければならない。

## [13] 車輛検査

### 1. 車輛検査

- 1) 車輛は、競技規則にもとづいた車輛検査を受けなければならない。車輛検査の時刻、および場所は特別規則に示される。
- 2) 車輛は、レース直前に車輛検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない。チェックの時刻およびチェック場所は大会公示に示される。

### 2. 使用部品の登録（車輛改造申告書）

ライダーは、車輛検査時に大会事務局より支給された車輛改造申告書をもって、使用する車輛、部品等の銘柄、型式の登録をしなければならない。

## [14] ライダーおよび車輛の変更

### 1. ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。  
ただし、耐久レースの場合はこの限りではない。

### 2. 車輛の変更

出場登録した車輛の変更は許されない。

- 1) ただし、破損など止むを得ず出場登録済の車輛を変更する必要がある場合は、規定の書式にしたがって車輛の変更申請をおこない、競技総監督がこれを認めた場合に限り車輛の変更が認められる。
- 2) 紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
- 3) その他、特別規則に示される。

### 3. ライダーと車輛

ライダーと車輛の双方を変更することはできない。

## [15] 走行中の遵守事項

- 1) 走行中、必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離したり、外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
- 2) 走行中、故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
- 3) 走行中、車輛はそれ自身が持つ動力、およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
- 4) 走行中、他の人の援助を一切受けてはならない。他の人による援助とは、そのレースに参加しているライダー、きめられた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の役員以外の人が車輛に触れることをいう。
- 5) 走行中、車輛にいかなる他人も同乗させてはならない。
- 6) ライダーはレース中、酒気をおびたり、または医薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくらせてはならない。



競技の公平と安全を確保するのが車輛検査だ



## 〔16〕 レース

### 1. 予選

出場者数が多い場合等は、予選またはタイムトライアルによって決勝レース出場者を決定することがある。その詳細については付則および特別規則に示される。

### 2. スタート

付則、および特別規則に示される。

### 3. 合図旗および合図 (12頁ページ参照)

1) レース中、大会役員が次の合図用旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。

- (1) シグナル緑または国旗…スタート
- (2) 赤旗……全ライダーの走行停止
- (3) 黄旗

① 静止……危険予告

② 振る……コース上に重大な危険あり、徐行、安全確認、追越し禁止

注：重大な危険とは、コース上に事故車輛またはライダーの存在および役員等による事故等の処理作業中のため、コースの全面または部分的閉鎖を意味する。

- (4) 緑旗……先に示された合図の解除
- (5) 3本の黄色縦縞のある赤旗…コース上オイルあり
- (6) 青旗……追越し車あり、進路ゆずれ
- (7) 白旗または赤十字旗…コース上に救急車またはサービス車あり、またはコース上にて救急作業がおこなわれている。
- (8) ライダーのナンバーを付した黒旗…当該ライダー走行停止
- (9) 白と黒のイチマツ模様 (チェッカー・フラッグ) ……レース終了 (ゴールイン)

この合図用旗の使用は、役員にのみ許され、他のいかなる合図旗またはそれとまぎらわしいもの使用はいっさい認められない。

### 4. 停止

1) レース中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車輛をコースの脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないよう十分に注意しなければならない。

2) レース中、車輛をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、大会役員の指示、監督のある場合はこの限りではない。

3) 事故、または車輛故障などの理由によってリタイア (中途退場) する場合は、その地点からもっとも近い大会役員 (コース審判) に報告し、用意してある用紙によってリタイア届けを提出しなければならない。

4) ライダーは、リタイア届けを提出した大会役員に車輛をあずけて退場しなければならない。

5) ライダーは停止車輛をそのレースが終了するまで大会役員の管理下におかななければならない。

ただし、そのレースに支障のない地点まで車輛を移動させることをコース審判 (大会役員) から指示された場合にはこれに従わなければならない。

### 5. レースの終了

レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップ走者がゴールしたのち付則および特別規則に示す時間を経過した時点である。

## 〔17〕 優勝者、入賞者および完走者

付則に示す。

## 〔18〕 入賞車の検査

レース終了後、各クラスの1位から6位までの車輛は暫



すべてのレース参加者が緊張する一瞬。それがスタートだ



定結果発表後30分以上保管され、必要に応じて検査される。

### 〔19〕 レース結果および記録の公表

- 1) 大会審査委員会はレース終了直後、暫定結果の公表をおこなう。
- 2) レース正式結果は、レース終了後3時間以内に、大会審査委員会から公表される。
- 3) 参加者、ライダーは公表されたレース正式結果に対して抗議することはできない。

### 〔20〕 レースの延期、中止および打ち切り

- 1) レースは特別な理由のない限り、打ち切ったり、中止したりされない。
- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースのいずれかを延期、または放棄しなければならないと判断したときに限り、レースを延期または中止することができる。
- 3) すべての関係者は大会審査委員会の決定にしたがわなければならない。
- 4) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースにきめられた周回数、または時間の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者が決められた周回数または時間の3分の2以上を完走した場合でレースを打ち切った時は、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返還されるが、他のいっさいの損害賠償を主催者に請求することはできない。
- 7) 大会審査委員会が下した裁定に対してはいっさい抗議することはできない。

### 〔21〕 抗議

- 1) 参加者、ライダーおよびメカニックのみが抗議申し立てができる。
- 2) 抗議しようとするときは、定められた手続によって大会事務局に申し入れをしなければならない。  
抗議手続は、大会事務局に備え付けの抗議申し立て書に記載し、1項目につき、抗議保証金5,000円をそえて大会事務局に提出しなければならない。
- 3) 暫定結果に対する抗議は発表後30分以内に限り受付られる。
- 4) 正式の手続きをふんで提出された抗議申し立て書だけが受付られ、大会審査委員会において審議される。
- 5) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人

をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定をくだすものとする。

- 6) 大会審査委員会が下した裁定に対してはいっさい抗議することはできない。
- 7) 抗議保証金 抗議が成立した場合のみ返還される。

### 〔22〕 損害の補償

#### 1. 車輛の破損

- 1) 車輛およびその附属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車輛が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間をのぞく。
- 2) 車検長または大会審査委員会は、車輛を保管している期間中に、これらの車輛がなんらかの理由によって破損した場合には、一台当たり10万円を最高限度額としてその所有者に補償する。

#### 2. 損傷の責任

競技会開催期間中、またはその前後に起された損傷は自らが責任を負うものとする。

#### 3. 大会役員の責任

ライダーおよびメカニック等の参加者は、大会役員がいっさいの損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち大会役員はその職務に最善を尽すが、仮りに大会役員の行為によって起きた参加者、ライダー、メカニックおよび車輛等の損傷に対しても、大会役員はいっさいの責任のないことをいう。

### 〔23〕 競技規則の違反行為に対する罰則

大会中（競技会）における違反行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技総監督の権限で下記の罰則を課することができる。

- 1) 注意処分（口頭による注意または注意処分通告書）
- 2) 嚴重戒告（戒告通知を受けたものは始末書提出）
- 3) 罰金（1万円以上5万円以下）
- 4) 競技結果に対する1分以内の加算
- 5) 競技結果に対する1分以上の加算または1周以上の減算
- 6) 失格

違反の判定は、競技総監督の判断を優先するが、罰則の裁量や適用は、大会審査委員会の決定を優先するものとする。

罰則は、大会審査委員会の報告にもとづき、MFJ資格審査委員会によってさらに事後の出場停止、資格停止にまでおよびかどうか、審査、裁定され、30日以内に通告される。



# Road Race

## 付則1 ロードレース規則



〔1〕 適用の範囲	28
〔2〕 ロードレースおよび耐久レース	28
〔3〕 レース出場車輛とライダーの資格	28
〔4〕 ライダーの装備	33
〔5〕 公式予選	33
〔6〕 レース	34
〔7〕 優勝者、入賞者、完走者および得点	35

### 〔1〕 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべてのロードレース競技会に適用される。

### 〔2〕 ロードレースおよび耐久レース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットでおこなわれるレースであり、総則およびこの付則により管理される。

ただし耐久レースについては、本規則に定められたものの変更、または追加が特別規則によって示される。

### 〔3〕 レース出場車輛とライダーの資格

出場車輛（以下車輛という）は、下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することができない。

#### 1. 車輛の排気量区分

車輛のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc～	80cc
125cc	81cc～	125cc
250cc	126cc～	250cc
500cc	351cc～	500cc

#### 2. 改造の限度

競技の公平および安全性に関連して次のような改造制限を定める。

##### 1) 国際A級部門の車輛改造限度

83年度より国際A級部門の車輛の銘柄、形式は制限されない。

##### 2) 国際B級部門の車輛の改造限度

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJ公認車輛またはFIMフォーミュラー・レース用公認車輛でなければならない。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。



マン・マシン完全に整備されての迫力である



- (1) 下記の諸点について車輛は公認仕様と異なっていない。

ただし、公認車輛の部品および公認部品の組合わせはこの限りではない。

① エンジン型式

気筒数、ピストンストローク

- ② シリンダーのボアアップは公認された車輛の排気量区分をオーバーしてはならない。

- ③ 4ストロークの場合のシリンダーパレルの鋳造および材質

- ④ 2ストロークの場合のシリンダーパレルの鋳造および材質とポート数

- ⑤ シリンダーヘッドの鋳造および材質

- ⑥ クランクケースの鋳造および材質

- ⑦ ギアボックスの鋳造および材質

- ⑧ プライマリードライブ方式

- ⑨ トランスミッションの変速段数

- ⑩ 吸気および排気方式

- ⑪ 気化器方式

- (2) 燃料タンク容量は最少限6ℓ、最大限32ℓとする。

- (3) 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。

半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輛重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

クラス	最低重量
125cc (単気筒)	70kg
125cc (2気筒)	75kg
250cc	90kg
350cc	95kg
500cc	100kg
750cc	110kg

なお、上記の最低重量をみたすために、ダミーウェイトを装着してはならない。

- (4) 車輛が発生する騒音については下記の条件をみたすものとする。

- ① 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

- ② 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストローク車の場合=110+5db(A)、2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。

FIM方式とは排気管後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転しているときの騒音を測定

する方法をいう。

- (5) 下記の部品および構造にチタニウムを使用してはならない。

フレーム、フロントフォーク、フロントフォーク・ブラケット、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、ハンドルバー、ホイールスピンドル、ステアリング、シャフト

3) ノービス部門の車輛の改造限度

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。その銘柄、型式の詳細は公示される。

機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量化もしくは形状の変更をおこなう場合は、下記各項に限定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) 機械的伸長、他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理（焼き入れ等）および材質の変更をしてはならない。

- (2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

なお、補強等はおこなってもよい。

- (3) 異なった機種種のエンジンとフレームの組合せをしてはならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

- (4) クランクケース本体やクランクシャフト・アクセスリーは公認型式のものでなければならない。

- ① クランクウェブのバランス穴の充填は認められる  
② ユニット・コンストラクション（単体構造エンジン）の場合のクランクケース本体とは変速機部分も含まれる。

- (5) 変速機のギア段数は6段を限度とする。

ただし、変速ギヤはクランクケースおよびミッションケース外に増設してはならない。

- (6) 冷却方式の変更は公認されたものでなければならない。

- (7) 弁形式を変更してはならない。

- (8) 燃料吸入方式を変更（フェューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。

- (9) 気化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。

（ダブルベンチュリーの場合は2個とみなす）

- (10) 半乾燥重量は下記最低重量をみたしていなければならない。

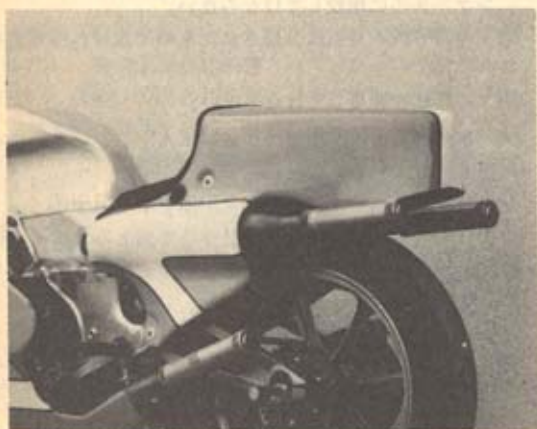
- ① 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輛重量をいう。ただし、分離給油方式の場合のエンジン潤滑オイルは燃料とみなす。

- ② 車輛最低重量は次の通りである。



クラス	最低重量
80cc (単気筒)	65kg
125cc (単気筒)	70kg
125cc (2気筒以上)	75kg
250cc (単気筒)	90kg
250cc (2気筒以上)	105kg
350cc (単気筒)	95kg
350cc (2気筒以上)	110kg

- ③ 車輻が最低重量より軽い場合には、ダミーウエイトを取付けなければならない。ただし、ダミーウエイトは5kgを越えてはならない。
- ④ ダミーウエイトは、ボルトまたは溶接によりフレームに完全に固着したもので、転倒などの際に危険でないものとし、車輻検査において封印を受けなければならない。
- ① 車輻が発生する騒音については下記の条件をみたすものとする。
- ① 車輻は有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。
- ② 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストローク車の場合=110+5db(A)、2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。
- ③ FIM方式とは排気管後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均のスピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転しているときの騒音を測定する方法をいう。
- ② 構成部品
- ① 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。(MFJ公認部品)



排気音の音量については厳しい規制がある

シリンダー、シリンダーヘッド、変速機

- ② 下記部品はMFJに市販届出申請をおこない、承認されたものでなければならない。(MFJ承認部品) フロント・クッション、リア・クッション
- ③ チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

### 3. 仕様

車輻は、安全のために下記各項のすべてをみたしていなければならない。

- 1) 過給  
過給機を取りついたり、また過給したりしてはならない。
- 2) ブレーキ  
車輻は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。
- 3) リムとタイヤ  
車輻は下記に示す呼称寸法以上のリムおよびタイヤを装着しなければならない。

#### ■前輪

クラス	リム	タイヤ
	最小寸法	最小寸法
	インチ	インチ
50cc		2.00
80cc		
125cc	1.60	2.50
250cc	1.85	2.50
350cc	1.85	2.75
500cc	2.15	3.00
1000cc	2.15	3.25

#### ■後輪

クラス	リム	タイヤ
	最小寸法	最小寸法
	インチ	インチ
50cc		2.00
80cc		
125cc	1.60	2.50
250cc	1.85	2.75
350cc	2.15	3.00
500cc	2.50	3.25
1000cc	2.50	3.50

注：タイヤはすべてワイヤ入りビードでなければならない。



4) ハンドル・バー

(1) ハンドルの端から端までの幅は500mm以上でなければならない。

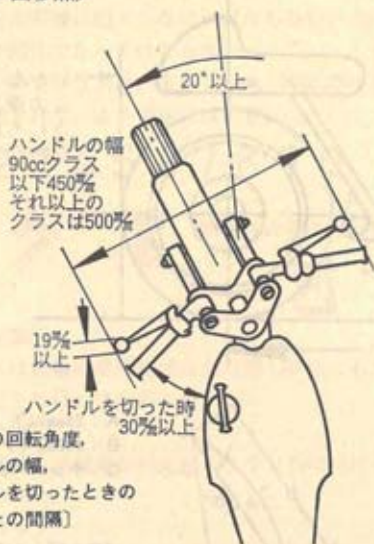
ただし、80ccクラス以下に限り450mm以上であればよい。

(2) 中心線または中央位置の両側に対するハンドルの回転角度は20度以上でなければならない。

5) ハンドル・バーのクリアランス

(1) ハンドル・バーのいかなる位置においても、またいかなるその付属品も含めて、ハンドル・バーの先端部と流線形覆い(カウリング)とのクリアランスは50mm以上でなければならない。

(2) ハンドルの回転角度を左右いっばいに切ったときライダーの指をはさまないように、ハンドル・バーと燃料タンクとの間に最低30mmの間隔を確保するために、止め具か他の装置を必ず取り付けなければならない。〔第1図参照〕



〔第1図 ハンドルの回転角度、ハンドルの幅、ハンドルを切ったときのタンクとの間隔〕

6) クラッチおよびブレーキ・レバー

ハンドルに取りつけられるクラッチ・レバーおよびブレーキ・レバーは、その末端が球状に作られ、その球(レバーエンドボール)は直径19mm以上で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。

7) フートレストおよびペダル

(1) フートレストは、前後車輪の中心を通過する線の50mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取り付けられ、どのコントロール・ペダルも容易に操作できる位置になければならない。

(2) フートレストおよびペダル類の先端の角は安全上丸められていなければならない。

8) 車輻の高さ

シートの後方の部分が150mm以上の高さであってはならない。〔第2図参照〕

9) 排気管

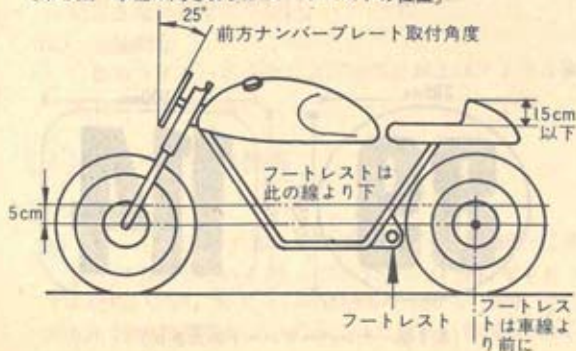
排気はすべて側方に開口のない管により、車輻の後方に排出されなければならない。その排気管は車輻の進行方向になるべく平行でなければならない。また排気管は後輪最後端垂線より突出してはならず、排気がほこりを立てるように排出されたり、後続のライダーに迷惑を与えるように排出されてはならない。

余剰オイルの排出装置は、排気ガス流の中に出たり後続ライダーに迷惑を与えたりしないように作られていなければならない。

10) 車輻の傾斜角

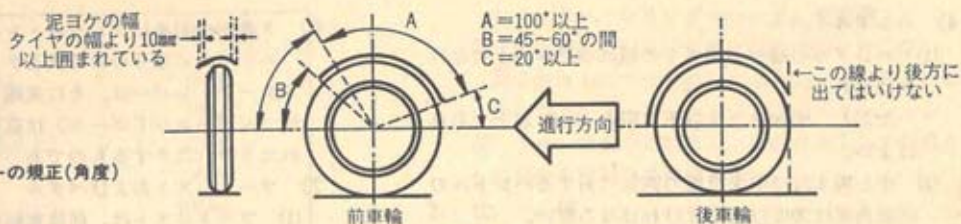
車輻の傾斜角は無負荷で、タイヤを除きどの部分も接地することなく垂線に対して50°傾斜させることが可能でなければならない。〔第3図参照〕

〔第2図 車輻の高さおよびフートレストの位置〕



〔第4図 車輻の傾斜角度〕





〔第4図 フェンダーの規正(角度)〕

11) フェンダー(泥よけ)

フェンダーは、前後とも取りのぞいてもかまわない。ただし取りつける場合は第4図に示すとおり確実に装備しなければならない。

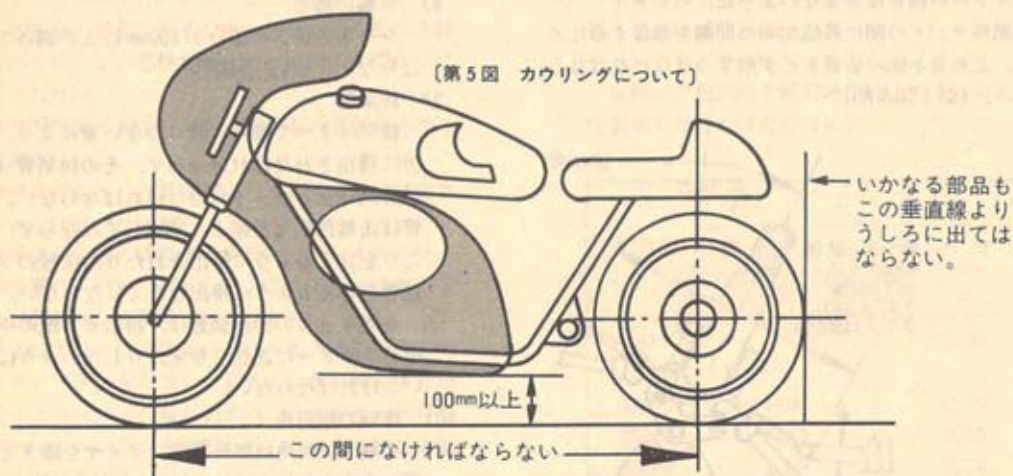
12) 取りはずさなければならないもの

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台、チェ

14) レースナンバープレート

(1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートは、車輛の前面に取りつけるものは左右285mm以上、上下235mm以上の大きさの楕円形のもので、第7図左に示されているものでなけ



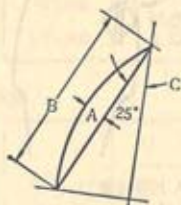
〔第5図 カウリングについて〕

ーンケース、およびキックアームは取りはずさなければならない。

13) カウリング

カウリングを使用する場合は次の条件をそなえたものでなければならない。〔第5図参照〕

- (1) タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなければならない。
- (2) 前後輪の車輪を通る垂線の間になければならない
- (3) カウリングの下端と地面との間隔は100mm以上でなければならない。
- (4) ライダーが普通に乗車した状態でライダーの両前膊部以外は上方、後方、両側面から見えなければならない。
- (5) 上記の適用を避けるために透明な物質を使用することはできない。
- (6) カウリングの前端部の形状は第6図に示す範囲でなければならない。



A : 25mm以下  
B : 230mm (ナンバーの高さ)  
C : ナンバーの取り付け角度

〔第6図 カウリングおよびその前面の丸みと傾斜角度〕



〔第7図 ナンバープレートの大きさ〕



ればならず、車輻の左右に取りつけるのは、第7図右に示されてあるように左右300mm以上、上下250mmの方形のものでなければならない。

#### (2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚は車輻の前面に、前向きに、垂直から25度の角度をつけて取り付け（大きさは第7図の限りではない）、車輻の両側面にも各1枚垂直方向に取りつけなければならない。

#### (3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

プロダクション——白地に黒文字

ノービス部門——白地に黒文字

国際B級部門——緑地に白文字

国際A級部門——赤地に白文字

#### (4) ナンバーの字体および寸法

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

ナンバーの文字寸法は、高さ200mm、幅は25mmとする。誤読されないよう書体には注意。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

わるい書体の例



陰つきの花文字なども不可



#### 15) 後輪の可視範囲

後輪のリムは後輪の垂直線の後部円周180度において明瞭に見えなければならない。

#### 16) 部品の最後端

いかなる部品も後輪最後端垂線よりうしろに突出してはならない。

#### 17) ワイヤロック

エンジンのドレーンボルト類は必ずワイヤロックを施さなければならない。

#### 18) 危険防止

他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

### [4] ライダーの装備

#### 1. ヘルメット

- ヘルメットは日本工業規格 JIS-T 8133-1982-C種及び同 JIS-T 8133-2種 (JIS-T 8133 の1982年8月までの規格) USA, S, I, STANDARD-Z90-1-1970, 米国スネル 1980年規格によって示された検査に合格したか又はそれ以上の性能を有するフルフェイス型のものでMFJが公認したものでなければならない。

はそれ以上の性能を有するフルフェイス型のものでMFJが公認したものでなければならない。

- 米国スネル規格1980のフルフェイス型のものでMFJが公認したものについてはロードレース用ヘルメットとして特別に推薦される。
- MFJの公認したヘルメットには下記の認証マークが貼付される。
- 競技会の車輻検査受付時に、ヘルメットの検査がおこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでも、ライダー本人の安全上使用を禁止する。
- MFJの公認認証マークの貼付されていないヘルメットについては、ペナルティ料金(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。



ヘルメット公認認証マークは不可欠のもの

#### 2. ゴoggles

ゴogglesにはガラスが使用されてはならず、または枠は柔軟なものでなければならない。

#### 3. ライダーの服装

- ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦を妨げるものであってはならない。
- 皮製のレーシングスーツ、皮製の手袋、あみあげ用金具製止め具(外部に突出しているフック等)のないピッタリしたレザーブーツ(あるいは着脱容易な膝までおおわれた革製脚絆)を着用しなければならない。
- ライダーは競技会中、合成繊維(ナイロン、テトロン等)製の肌着を着用してはならない。皮製のレーシングスーツの裏地は、耐熱および耐火処理をほどこした難燃性の布製のものでなければならない。

### [5] 公式予選(オフィシャル・プラクティス)

#### 1. 公式予選の日程

- 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- 公式予選の日程および時間は特別規則に示される。

#### 2. 公式予選の内容

- レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。



ない。

- 2) 公式予選においては、競技役員による車輛の安全上のチェックがなされた後、一台ごとにスタートし、与えられた時間を任意に走行することができる。与えられた時間内であれば走行を中断し、または再スタートすることができる。
- 3) 公式予選では、走行中のライダーは常にラップタイムが測定されている。この測定で、ベスト・ラップタイムがはなはだしくおとるものは、たとえ定員以内であっても出場資格を与えられない場合がある。
- 4) 公式予選において測定された各ライダーの最高ラップタイムにより、特別規則に示されるレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。最高ラップタイムが同じ場合は次のラップタイムの順位による。
- 5) 各クラスの公式予選義務周回数3周以上とする。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- 6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。

## [6] レース

### 1. スタート位置

- 1) 各クラスともレースのスタート位置は、各ライダーに与えられている車番とは関係なく最高ラップタイムによって決定される。
- 2) レースにおけるスタート位置の発表は、公式予選の終了後、審査委員会がおこなう。



スタートまでの行動は時間厳守と協調の精神で……。

### 2. チーム

チーム参加の場合のチーム編成、チーム競技の成立等は特別規則に示す。

### 3. スタートまでの行動

- 1) スタートまでの行動は原則として次の時間割による  
スタート 約60分前 給油およびレース前車輛チェック開始、終了後ただちに待機区域に入る。待機区域コースへ誘導。  
スタート 15分前 ウォーミングアップ開始  
" 5分前 スタート位置整列  
" 3分前 エンジン停止  
" 2分前 表示 メカニック離れる  
" 1分前 表示  
" 30秒前 表示  
" 10秒前 表示  
スタート 青色シグナルまたは国旗にて表示

- 2) 決められた時間以外にエンジンを始動させてはならない。

### 4. スタート

- 1) スタートは、原則として、押しがけによる同時スタートとする。
- 2) スタート位置は、すべて正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- 3) スタートの合図は原則としてシグナル・ランプによっておこなわれる。ただし特別の理由により旗によっておこなわれることがある。

### 5. ビット

ビットとは車輛の修理・調整、部品交換、燃料補給などの作業をおこなう目的のためにライダーに与えられた区域のことである。

### 6. ビットイン

- 1) ビットインする時は、ビット前のコース上に区画された減速地帯、即ちイエローラインとホワイトラインの間を減速走行し、停車については他の車輛が走行できる通行余地を残して停車し、必ずエンジンを停止しなければならない。
- 2) 審判員の指示または危険回避以外の目的でイエローラインをカットして走ってはならない。
- 3) 自分のビットを通り越し、なおビットインする場合はエンジンを停止し、その後、ビット審判員の承認を得た上で戻すことができる。

### 7. ビットアウト

ビットアウトは、必ず審判員の合図を確認し、車輛を自力で押しがけしてスタートさせなければならない。また減



速地帯を走行し、コースに入るが、コース走行はコースの内側を走行しながら次のコーナーを通過しなければならない。

#### 8. ピット作業

- 1) レース中における車輛の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によっておこない、必ずエンジンは停止しておこななければならない。
- 2) ピットに準備してある部品、工具による作業は、正規にピットインした車輛に対してのみおこなうことができる。
- 3) エンジンアッセンブリーおよびフレームアッセンブリーを交換してはならない。また当該アッセンブリーをピットに持ち込んではいない。
- 4) ピット区画内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、ただちにきれいに掃除しておかななければならない。

#### 9. ピット作業人員

- 1) ライダーはその車輛のメカニックを2名まで持つことができる。
- 2) レース中にピットインし、エンジンを停止した車輛に対しての作業は、2名のメカニックと、その車輛のライダーの計3名だけに限られる。
- 3) ライダーに対するピットクルー（メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー）の合図は、大会役員の使用する合図用旗にまぎらわしいものであってはならず、また「ピット区画」のみで合図を送ることができる。
- 4) ピット作業をおこなう者はすべてピットクルーライセンス所持者で、大会に参加の申請がなされた者でなければならない。年齢は、16歳以上であること。
- 5) ピットクルーは開催期間中を通じてどの大会役員の指示にもしたがわなければならない。
- 6) ピットクルーが守らなければならないことに違反した時は、そのピットクルーの担当のライダーが責任を問われ、ペナルティが課せられる。

#### 10. レースの終了

各レースの終了は、チェッカーフラッグによりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時(注)であり、チェッカーフラッグ・マーシャルが指定位置より退場したことにより示される。

注：原則的にコースの1周を1kmにつき1分として定められる。

### [7] 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

#### 1. 優勝者

各レースにおける優勝者は、レースの総距離を最短時間で完走したライダー、または定められた時間内に最も長い

距離を走破したライダーである。

#### 2. 順位の優先順序

- 1) 完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 2) レース終了時までゴールラインに達しない走行中の完走者。
- 3) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイヤした者。
- 4) 上記以外のライダーについては周回数の多い者を優先する。

#### 3. 完走者

- 1) 各クラスのレースとも、優勝者の80%以上の周回数を完了したライダーが完走者である。
- 2) レース途中でリタイヤ届を提出したライダーも完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。

#### 4. 得点

- 1) 得点は総則〔8〕の2および3(23頁参照)によって与えられる。



多くの人の目があなたの動きを見つめている



# Formula

# フォーミュラー ロードレース規定

フォーミュラーモーターサイクルは、現在生産されているモーターサイクルで、大量に生産され、高性能マシンを求めている一般ユーザーが入手し得るものであり、下記の条件をみたしていなければならない。

1. フォーミュラー・ロードレース出場車輛（以下、車輛という）は、通常の販売ルートを通じて一般ユーザーに市販され、毎年3月1日以前に、その型式の車輛について1000台販売されたことをFIM加盟代表機関（日本ではMFJ）によってFIMに申請され、生産台数の証明は文書によっておこない、FIMによって審査、認可されたものでなければならない。

- 1) エンジンは市中のガソリンスタンドで得られる通常のタイプの燃料によって作動しなければならない。
- 2) その車輛の生産国が、協定の署名国でない場合であっても、車輛はすべての点において1949年ジュネーブ協定に適合していなければならない。
- 3) すべての車輛は正常に作動する完全な電気装置を備えていなければならない。追加の電気装置も認められる。
- 4) すべての車輛は、始動装置と正常作動の発電機を備えていなければならない。（最低出力100W）

## 2. 改造の限度

- 1) すべての車輛は、総則および付則1に示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。
- 2) 下記のものについて、認可型式に変更を加えることは禁止される。
  - (1) エンジンの型式
  - (2) シリンダーの数
  - (3) ピストンストローク
  - (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケースおよびギアボックスの材質およびカースティング

## 3) 吸排気装置

- ① 4サイクルエンジンのバルブ数
- ② 2サイクルエンジンのポート数
- ③ キャブレターの数
- ④ キャブレターがエンジンに結合する個所のチョーク面積で測られるキャブレターのサイズ但し、国内競技においてはF3、F4に関しては車輛公認申請時のキャブレターを使用しなければならない。

4) 安全と騒音コントロールのために、排気管とマフラーの改造が認められる。

5) 6速に限定されるギアの数はその範囲内で、ギアボックス・シェルに変更を加えない限り変えることができる。

6) 燃料タンク最大容量は下記に制限される。

- フォーミュラー-1 = 24リッター
- フォーミュラー-2 = 20リッター
- フォーミュラー-3 = 18リッター
- フォーミュラー-4 = 15リッター

7) 下記の制限内で改造をおこなうことができる。

(1) シリンダーのカスティングを変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車輛本来の出場を認められるクラスの排気量の限度を超えないことを条件とする。

(2) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことが認められる。

## 3. 1983年および同84年から実施される規定

1) 1983年度シーズンからノービス部門  
フォーミュラー-3・クラスのレースは上記車輛規定にもとづいて全日本選手権シリーズ対象種目として実施される。

2) 1984年1月1日から、ノービス部門  
フォーミュラー-3・クラスの車輛規定に次の制限がもうけられる。

(1) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならない。ただし補強はおこなっても良い。

3) 国際A・B級部門について  
1984年度シーズンより国際A・B部門のフォーミュラー-3クラス・レースがおこなわれる。



# プロダクションロードレース規定

プロダクション・ロードレースの車輛(以下車輛という)は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルでMFJが公認したものでなければならない。

## 1. 車輛の排気量区分とライセンス区分

クラス	ライセンス区分	排気量区分
125cc	B(ロード)、ノービス	81cc~125cc
250cc	ノービス	126cc~250cc

## 2. 改造の限度

- 1) エンジンおよび補機類
  - (1) キャブレターのジェット、ニードル類の変更、エアクリナーケースの取りはずしは自由とする。
  - (2) スパークプラグの変更は自由とする。
  - (3) エンジンのドレーンボルトに必ずワイヤーロックをほどきさなければならない。
- 2) フレーム
 

フレームコンプリートの改造は認められない。
- 3) フロント、リヤ・サスペンション
 

改造、変更は認められない。
- 4) フロント、リヤ・フォーク
 

ステアリングシステム、トップブリッジを含み改造、変更は認められない。
- 5) ホイールアッセンブリ
 

改造、変更は認められない。
- 6) タイヤ
 

一般に市販されていて、通常ルートで購入出来るもののみが認められる。スリックタイヤの使用は認められない。
- 7) スプロケット・チェーン
 

ドライブ、ドリブンスプロケットの歯数の変更は認められるが、チェーンサイズの変更は認められない。
- 8) チェーンケース
 

取りはずしは自由とするが、ライダーの足がチェーンにまき込まれないようにカバーを取り付けることは認められる。
- 9) ハンドルバー
 

ハンドルバーの変更は認められるがグリップエンドはトップブリッジよりも上とする。
- 10) カウリング
 

カウリングの取り付けは認められない。
- 11) メーター類
 

改造、変更は自由とする。
- 12) シート、シートカウル
 

シートラパースポンジの改造のみ認められる。シートカウルの取りはずしは認められない。
- 13) ガソリタンク

形状の改造、変更は認められない。コックの改造は認められる。

- 13) サイドカバー
 

取りはずしは認められない。また脱落しないようにボルトで固定しなければならない。
  - 15) フェンダー
    - (1) フロント
 

取りはずしてはならない。
    - (2) リヤ
 

取りはずしてもよい。
  - 16) ステップおよびペダル
 

改造・変更は認められない。
  - 17) ブレーキ
 

前後ブレーキシステムの変更は認められない。但しパッド材質、ブレーキホースの変更は認められる。
  - 18) オイルキャッチタンク
 

全ての車輛はその排気量より容量の多いオイルキャッチタンクを取り付けなければならない。但し、2サイクル車は、その排気量の $\frac{1}{2}$ 以上とする。
  - 19) ラジエターカバーおよびライトステー、ウインカーステー、ホーンステー
 

取りはずしは自由とする。
  - 20) サイド、メーンスタンド
 

取りはずさなければならない。ただしステーは自由とする。
- ## 3. その他
- (1) 車輛はMFJ国内競技規則にもとづく安全規定(付則1.ロードレース規則[3]の3)を充たしていなければならない。但し8)、11)、(3)の項目は除く。
  - (2) ゼッケンナンバー及びプレート
    - 1) ナンバープレートの取付方法と大きさ
 

ナンバープレートの地色は白地とし、1枚は車輛前面にフロントフォークと平行に垂直から25度の角度をつけて取付け車輛の両側面にも各1枚ずつ垂直方向に金属製のステーにボルト、ナットで取付けなければならない。大きさは左右300mm以上、上下250mm以上の長方形で、角のアール25mm R以上を取ること。

ナンバープレートの内側にオイルクーラーを取付けた場合、ナンバーが明確に見えるように取付けなければならない。
    - 2) ナンバーの字体はブロック体で守法は高さ200mm幅25mmの黒文字とし、ナンバープレートの枠内に付則1.ロードレース規則[3]3の14)の(1)、(2)、(3)、(4)にもとづいて、明確に記入しなければならない。



# '83 全日本選手権大会特別規則

## ロードレース



全日本選手権ロードレース大会は、日本モーターサイクル協会(MFJ)公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1983年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。

[1]	開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間	39
[2]	運営実行組織	40
[3]	公式通知、タイムスケジュール	40
[4]	開催種目	40
[5]	競技内容	41
[6]	参加定員	41
[7]	参加資格	42
[8]	出場申込み	42
[9]	出場料、保険料および選手共済費	42
[10]	参加受理	42
[11]	賞および得点	42
[12]	レース出場車輛	44
[13]	競技者番号(ナンバー)	44
[14]	ライダーの装備	44
[15]	ガソリンおよびオイル	44
[16]	ピット割当て	44
[17]	出場受付	44
[18]	車輛および装備の検査	45
[19]	ライダーの変更	45
[20]	出場車輛の変更	45
[21]	公式予選	45
[22]	決勝レース出場台数	45
[23]	スタート	45
[24]	スタートにおける反則	45
[25]	レース	46
[26]	レース中の合図	46
[27]	停車指示	46
[28]	棄権(リタイア)と停止	46
[29]	レース終了	46
[30]	優勝者、入賞者、完走者および順位	46
[31]	レース終了後の車輛の保管と再検査	46
[32]	レースおよび大会の延期・中止等	46
[33]	抗議	46
[34]	違反に対する罰則	46
[35]	本規則の解釈	46
[36]	本規則の施行	46



## 〔1〕開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

'83全日本選手権シリーズはグランプリを含め下表の9戦でおこなう。

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開 催 場 所	出場申込み期間
3月12日(土) 13日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 全日本BIG2&4レース (500, F-1)	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ホンダワールド棟内 ☎0593(78)1455	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	1月31日(月) 2月10日(木)
3月26日(土) 27日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 筑波ロードレース大会	財日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎03(591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	2月14日(月) 2月24日(木)
4月23日(土) 24日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 鈴鹿ロードレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ホンダワールド棟内 ☎0593(78)1455	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	3月14日(月) 3月24日(木)
5月7日(土) 8日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 筑波ロードレース大会	MFJ関東信越モーターサイクル協会 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(472)6241	筑波サーキット ☎0296(44)3146	3月28日(月) 4月7日(木)
5月21日(土) 22日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 SUGOロードレース大会	SUGOスポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎989-14 スポーツランドSUGO内 ☎022483-3111	スポーツランド SUGO ☎022483-3111	4月11日(月) 4月21日(木)
6月11日(土) 12日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 鈴鹿200キロレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ホンダワールド棟内 ☎0593(78)1455	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	5月2日(月) 5月12日(木)
6月25日(土) 26日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 筑波ロードレース大会	財日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎03(591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	5月16日(月) 5月26日(木)
8月27日(土) 28日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 SUGOロードレース大会	SUGOスポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎989-14 スポーツランドSUGO内 ☎022483-3111	スポーツランド SUGO ☎022483-3111	7月18日(月) 7月28日(木)
9月10日(土) 11日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 第20回日本グランプリ ロードレース大会	日本モーターサイクル協会 (MFJ) 東京都中央区銀座1-9-12 ☎104 西山興業東銀座ビル ☎03(561)8566	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	7月22日(金) 8月1日(月)



# Road Race

## [2] 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

## [3] 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切後に発送される。

## [4] 開催種目

### 1. 競技部門およびクラス区分

全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記の通りである。

部門 クラス	ノービス (N)	国際B級	国際A級
F-3	○	—	—
125cc	○	○	○
250cc	○	○	○
500cc	—	○	○

1) ただし国際B級に昇格し、500ccに出場を希望する場合、全日本選手権シリーズ大会250ccクラスに2回以上出場し、または講習会に参加したのち、その成績をそえて、MFJ資格審査委員会の認可を受けなければならない。

2) 今年度より350ccクラスのクラス区分はなくなったことで、350ccクラスの車輛は500ccクラスに出場することができる。各ライセンス部門別の参加申込み台数が開催場所の最大決勝出場台数(45頁参照)に満たない場合は、異ったライセンス部門との合同レースとなる場合がある。

注1: 合同レースとなった場合、賞は公式通知に示され、ライセンス部門の区別なく、入賞順にライダーに与えられる。  
注2: 全日本選手権得点は、総則[8]3.(23頁参照)にもとづいて、ライセンス部門別に与えられる。

3) 全日本選手権シリーズ・ロードレース大会に次のレースが併催される。

(1) プロダクション・レース  
第5戦、第8戦

月 日	大会	'83全日本選手権シリーズ対象種目									併催種目 (ノンタイトル)				
		ノービス			国際B級			国際A級			N, Bライ (ロード)	ノービス		I B	I A
		F-3	125	250	125	250	500	125	250	500		P 125	P 250		
3月12~13日	全日本第1戦 Big 2 & 4	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	○	○
3月26~27日	全日本第2戦 筑波	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
4月23~24日	全日本第3戦 鈴鹿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○
5月7~8日	全日本第4戦 筑波	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
5月21~22日	全日本第5戦 SUGO	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
6月11~12日	全日本第6戦 鈴鹿(200km)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	◎	◎
6月25~26日	全日本第7戦 筑波	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
8月27~28日	全日本第8戦 SUGO	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
9月10~11日	全日本第9戦 日本GP	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎

### インターナショナルレース

7月30-31日	世界耐久選手権 鈴鹿8時間	4H	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4H	◎	◎
10月8-9日	SUGO ビッグロードレース	—	—	—	—	—	—	—	◎	—	—	—	—	—

注: ◎は国際格式 I Aは国際A級 I Bは国際B級 Pはプロダクション BはBライセンス(ロードレース)  
4HのF3は全日本ではない。



(2) フォーミュラー・レース

フォーミュラー1 第1戦, 第3戦, 第6戦,  
第9戦

SS400 第3戦, 第6戦

ただし(1), (2)のレースは全日本選手権の対象とならない。

(3) 全日本選手権ロードレース大会および主要ロードレース大会, 耐久レース(世界選手権)の開催種目および併催レース種目は40頁掲載の表の通りである。

[5] 競技内容

1. レース区分は下記の通りである。ただし, 参加台数, 天候などの都合により変更される場合がある。
2. 全日本選手権シリーズ第9戦日本GPロードレース大会の国際A, B級部門は, 国際格式によって開催される。

[6] 参加定員

参加定員は定めない。

<第1戦: 2 & 4 鈴鹿サーキット>

	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
全対象 種目	国際A, B級	500cc	15周	12周
	併催	国際A, B級	F-1	15周

<第2戦, 第4戦, 第7戦筑波サーキット>

	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
全日本対象 種目	ノービス	F-3	18周	15周
	ノービス	125cc	18周	15周
	ノービス	250cc	18周	15周
	国際A, B級	125cc	20周	16周
	国際A, B級	250cc	25周	20周
	国際A, B級	500cc	30周	24周

<第6戦: 200kmレース, 鈴鹿サーキット>

	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
全日本対象 種目	ノービス	125cc	10周	8周
	ノービス	250cc	13周	11周
	国際A, B級	125cc	12周	10周
	国際A, B級	250cc	15周	12周
	国際A, B級	500cc	34周	28周
併催	ノービス	SS400	10周	8周
	国際A, B級	F-1	34周	28周

<第3戦: 鈴鹿サーキット>

	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
全日本対象 種目	ノービス	F-3	10周	8周
	ノービス	125cc	10周	8周
	ノービス	250cc	13周	11周
	国際A, B級	125cc	12周	10周
	国際A, B級	250cc	15周	12周
	国際A, B級	500cc	17周	14周
併催	国際A, B級	F-1	15周	12周



# Road Race

## <第5戦、第8戦：スポーツランド SUGO>

	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
全日本対象種目	ノービス	125cc	16周	13周
	ノービス	250cc	20周	16周
	国際A, B級	125cc	16周	13周
	国際A, B級	250cc	20周	16周
	国際A, B級	500cc	30周	24周
併催	ノービス	P250	16周	13周
	N・Bライセンス(ロード)	P125	未定	未定

## <第9戦：日本GP・鈴鹿サーキット>

	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
全日本対象種目	ノービス	F-3	10周	8周
	ノービス	125cc	10周	8周
	ノービス	250cc	13周	11周
	国際A, B級	125cc	12周	10周
	国際A, B級	250cc	15周	12周
	国際A, B級	500cc	17周	14周
併催	国際A, B級	F-1	15周	12周

### [7] 参加資格

#### 1. 参加者およびライダー

参加者およびライダーは、1983年度版MFJ国内競技規則・総則[4](22頁)に合致していなければならない。

#### 2. プロダクションレース出場者

プロダクション125ccはBライセンス(ロードレース)またはノービス、プロダクション250ccはノービスライセンスを所持しなければならない。

### [8] 出場申込み

- 1) 申込み場所 申込み場所は各主催者の住所とする。
- 2) 出場申し込み

(1) 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入し、出場料および保険料を添えて大会事務局に提出しなければならない。

- (2) 2クラス以上に出場を申込み場合は別々に申込み書を作成しなければならない。
- (3) 郵送の場合は現金書留とし、締切日当日の消印のある者までが有効となる。
- (4) 電話による申込みおよび締切日以後の申込みはいっさい受付けない。

### [9] 出場料および保険料

#### 1. 出場料およびライダー保険料

##### 1) 第1戦～第9戦

出場料 1クラス 6,000円

MFJ選手共済費および

保険料 1人1口 3,500円(保険金額550万円)

ただし2口以上10口までは1口 1,350円

(保険金額1口 50万円)

##### 2) プロダクション・レース

出場料 1クラス 6,000円

MFJ選手共済費および

保険料 1人1口 2,000円(保険金額500万円)

##### 3) ビットクルー(メカニック、ビットサインマン、ヘルパー等はMFJ会員で、ビットクルーライセンスを所持しなければならない。

##### (1) ビットクルーライセンス(保険金額500万円)

ライセンス料、共済会費、雑費、1,000円(年間)

MFJ会費 3,500円

計 4,500円

(注:すでに入会しているもの、他のライセンスを所持しているものは、1,000円のみ)

##### (2) 受付で提示できない場合は理由を問わずペナルティー1,000円と、その場で仮登録の手続をしなければならない。

### [10] 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込み書、必要金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が送られる。
- 2) いったん受理された出場料、保険料はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が中止された場合、参加が拒否された場合(申込み者が必要な手続きを怠った場合はこれにあてはまらない)にのみ出場料、保険料が返還される。

### [11] 賞および得点

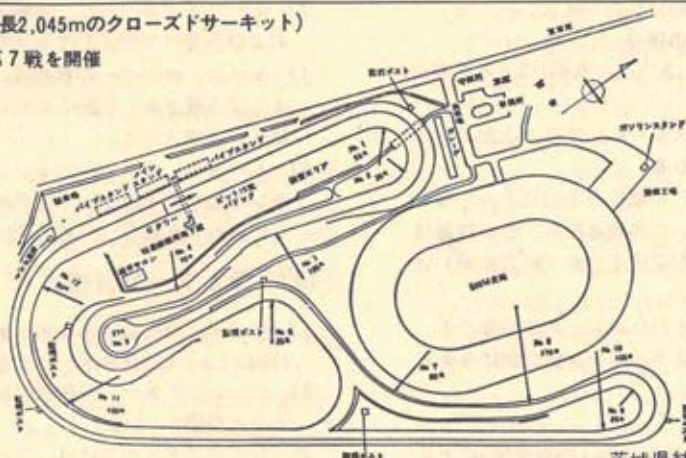
#### 1. 賞

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 国際A級、B級部門の合同レースの場合でも、公式



筑波サーキット (全長2,045mのクローズドサーキット)

第2戦, 第4戦, 第7戦を開催



茨城県結城郡千代川村岡西原

鈴鹿サーキット (全長6,004mのクローズドサーキット)

第1戦, 第3戦, 第6戦, 第9戦(日本GP)を開催

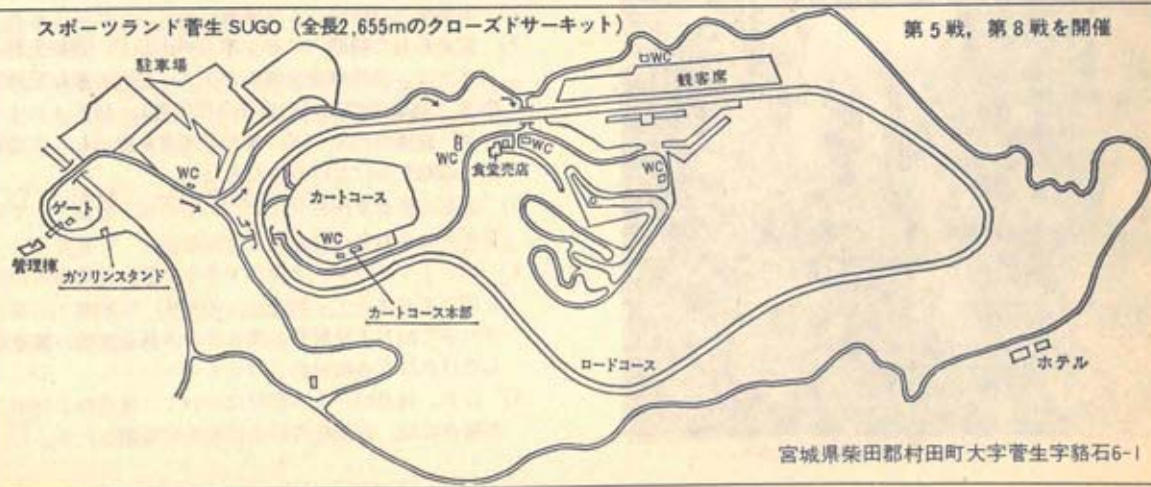
- COURSE (SURFACE PAVED) コース (舗装路)
- SAFETY ZONE (GRASS) 安全地帯 (芝生)
- MAIN OBSERVATION POST (WITH TELEPHONE) 主要監視ポスト (電話付)
- AUXILIARY OBSERVATION POSTS 補助監視ポスト
- TO REACH THE PUBLIC SEATS 自由席への歩道



三重県鈴鹿市稲生町7992

スポーツランド菅生 SUGO (全長2,655mのクローズドサーキット)

第5戦, 第8戦を開催



宮城県柴田郡村田町大字菅生字銘石6-1



通知に示された賞が入賞順に与えられる。

## 2. 全日本選手権ランキングの得点

- 1) 得点は総則〔8〕の2.,3.(23頁参照)によって与えられる。
- 2) 日本GPロードレース大会については、上記の得点に、さらに3点が加算される。
- 3) 全日本選手権ランキングの順位は上記によって与えられた得点の総合計によって決定される。その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。
- 4) 異ったライセンス部門との合同レースの場合でも、全日本選手権ポイントは各ライセンス部門別に与えられる。

## 3. 賞および得点制限

- 1) 賞および得点の制限は、総則〔8〕3.(23頁参照)による

## 〔12〕 レース出場車輛

車輛は、付則1〔3〕(28頁参照)を厳守しなければならない。

## 〔13〕 競技者番号(ナンバー)

- 1) 国際A級部門のライダーには、ライディングNo153に示す通り年間指定ナンバーが割当てられる。
- 2) 他部門のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。



マシン同様にライダーの装備も怠りなく

- 3) レース・ナンバーは、車輛検査までに、規定の書体および色分けで記入しておかなければならない。
- 4) レース・ナンバーの状態は、車輛検査時に検査員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 5) レース中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せずに走行、また間違ったナンバーを装着して走行した場合は、その周回は記録されない。

## 〔14〕 ライダーの装備

- 1) ライダーの服装、ヘルメットおよびゴーグル等は、付則1〔4〕(33頁参照)による。
- 2) レーシングスーツの色は自由であるが3色以上にすることが望ましい。
- 3) レーシングスーツには、ライダー名を一カ所に記入する事。国際A・Bクラスはゼッケンナンバーは記入しなくてもよい。

## 〔15〕 ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは総則〔12〕(25頁参照)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細は公式通知に示される。
- 3) 車輛検査および公式予選中は、パドック内の所定の給油区域内においてガソリンの供給を受けなければならない。

## 〔16〕 ビット割当て

- 1) 各ビットの使用は、公式通知による。

## 〔17〕 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に必ず本人が出頭し、運転免許証(または、自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書)、MFJライセンス、健康管理カード、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) 運転免許証を所持していないものは、原則として出場が認められない。
- 4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(3,000円)を支払い、更にもその場でMFJ登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。
- 5) なお、後日MFJ事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。



## 〔18〕 車輛および装備の検査

- 1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- 2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) ライダーは改造申告書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車輛検査持込み台数はノービスおよび国際B級部門は出場1レースにつき1台に限定、国際A級部門は2台までとする。
- 5) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判断された車輛は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 6) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輛検査をおこなうことがある。

## 〔19〕 ライダーの変更

ライダーの変更は、総則〔14〕（25頁参照）による。

## 〔20〕 出場車輛の変更

- 1) 車輛の変更は総則〔14〕（25頁参照）による。
- 2) ただし、車輛変更の申請は同部門、同クラスの車輛に限定され、手数料5,000円を添付して申請しなければならない。
- 3) 車輛の変更は、公式予選終了後は如何なる理由があっても認められない。

## 〔21〕 公式予選

- 1) 公式予選の内容は付則1〔5〕（33頁参照）による。
- 2) 公式予選の日程および時間は公式通知またはプログラムに示される。

## 〔22〕 決勝レース出場台数

- 1) 決勝レース出場台数は、開催場所により原則として次の台数以下とする。
  - (1) 鈴鹿サーキット=44台
  - (2) 筑波サーキット=30台
  - (3) スポーツランドSUGO=30台

## 〔23〕 スタート

- 1) スタート前のウォーミングアップは、役員の指示にしたがい慎重に安全を確認して所定の区域内を、所定の巡回方向で走行しなければならない。
- 2) パドック内においてはウォーミングアップ走行することは禁じられる。
- 3) スタートまでの行動は、付則1〔6〕3.（34頁参照）による。
- 4) スタート2分前の表示が出されたあと、ただちにメカニック、ヘルパーは、所定のスタート区域からコース外へ退去しなければならない。違反したものは罰則が適用される。
- 5) スタートは、付則1〔6〕4.（34頁参照）による。
- 6) スタートでエンジンが始動しないライダーは、審判員の指示にしたがってピットにレーサーを押し入れ、整備後、再び審判員の指示にしたがって、ピットから再スタートすることができる。

## 〔24〕 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについての車輛およびライダーは、スタート用意からスタート合図がされてスタートが終るまで出発合図の統制下であり、スタート合図がおこなわれる前に所定の位置から前進したり、あるいはピットクルーがスタートの規制にしたがわなかった場合には、スタート審判員によって反則とみなされる。
- 2) スタートにおいて反則行為をした場合、当該ライダーはレース結果に1分を加算するか、1周の減算か、または失格の罰則が適用される。この場合できるだけ速やかに、ライダーのピットに通告されるが、判定に対する抗議は受けつけられない。



スタート時点の反則行為には大きなペナルティがつく



# Road Race

## [25] レース

- 1) 走行中の遵守事項は総則[15] (25頁参照)による。
- 2) コースは右回りの所定の走路とし、如何なる場合でも逆方向、あるいは、規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は失格とする。
- 3) レースまたは予選中、グランドスタンド前直線部分では、前車を追越すために、あるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは許されない。この範囲(区間)はイエローラインが設けられたコース直線部分とする。

## [26] レース中の合図

- 1) レース中の合図は、総則[16]3.(26頁参照)による。
- 2) 赤旗の使用は、コントロールライン上において、競技総監督、または競技総監督の命を受けた代理役員のみに限られる。

## [27] 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車輛について、競技総監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じ、あるいはレースから除外することができる。この決定に対する抗議は受付られない。
- 2) 天災、大事故等不慮の事態が発生した場合は、競技総監督は、赤旗によって全車に対し、その場に停止を指示することができる。

## [28] 棄権(リタイア)と停止

- 1) リタイアと停止は、総則[16]4.(26頁参照)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイア届を提出できないときは、審判員の判定により、リタイアと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイアする場合、ライダーは車輛をレース(または予選)終了までコース審判員の管理下におかななければならない。ただし、審判員から車輛移動を指示された場合は、これに従わなければならない。
- 4) 車輛を押してピットに帰る場合は必ずコース両サイドのいずれか片側のグリーンを歩くこと。
- 5) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。

## [29] レース終了

各レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップのライダーがゴールインしたのち次の時間を経過したときである。

鈴鹿サーキット

4分間

筑波サーキット、スポーツランドSUGO 2分間

## [30] 優勝者、入賞者、完走者および順位

優勝者、入賞者、完走者および順位は付則1[7] (35頁参照)による。

## [31] レース終了後の車輛の保管と再検査

- 1) チェッカー・フラッグを振られた車輛は、所定の位置より役員の誘導にしたがって車輛保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車輛は騒音測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査をおこなうことがある。
- 3) 上位入賞車輛は暫定結果発表後30分以上保管される

## [32] レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が、支払った出場料、保険料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## [33] 抗議

- 1) 抗議は、総則[21] (27頁参照)による。
- 2) 車輛の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定する。

## [34] 違反に対する罰則

競技規則の違反行為に対する罰則は、総則[23] (27頁参照)による。

## [35] 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑申立てができる。なおこの解答は大会審査委員会の解釈、決定を最終的なものとして示される。

## [36] 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込み受け日より有効となる。なお本規則に示されていない事項はMFJ国内競技規則による。

昭和58年1月1日

大会事務局長



# DUNLOP



## タイヤを信じ、とびだすだけだ。

わずか1cmでも前にでることから、レースは始まる。  
 そして、このわずかな瞬間が、まさに鍵を握っているといっても過言ではないのだ。  
 ここ一番の瞬発力。  
 頼れるものは、あなたのファイト、そしてダンロップタイヤ。



とくに硬質路面で  
偉力を発揮。

**K 690A**

4.10 - 14 (4)  
 2.75 - 17 (4)  
 4.00 - 18 (4)  
 5.10 - 18 (4)  
 3.00 - 21 (4)



とくに硬質路面で  
偉力を発揮。

**K 490**

4.10 - 14 (4)  
 2.75 - 17 (4)  
 4.00 - 18 (4)  
 4.10 - 18 (4)  
 5.10 - 18 (4)  
 3.00 - 21 (4)  
 3.00 - 12 (4)  
 2.50 - 14 (4)



とくに軟質路面、  
泥ぬい路面で  
偉力を発揮。

**K 88**

4.00 - 17 (4)  
 5.00 - 17 (4)  
 4.00 - 18 (4)  
 5.00 - 18 (4)

82全日本モトクロス選手権  
で高性能を証明

125ccシリーズチャンピオン 大関 昌典 ダンロップ装着(ダンロップ100%)

250ccシリーズチャンピオン 東福寺 保雄 ダンロップ装着(ダンロップ95%)



## モトクロス

- モトクロスズボン ¥50,000より
- モトクロスグローブ ¥5,000より
- "                    オーダー ¥7,000より
- モトクロスブーツ ¥20,000より
- ストライプ ¥5,000より
- カラーデザイン ¥5,000より

オーダー専門店

# あなたを守るサマーのスーツ



※すべての製品オーダーうけたまわります。

## ロードレース

- 牛革ソフト最高級品 ¥100,000より
- 腹性小牛最高級品 ¥150,000より
- セパレーツ(上下分割可) ¥6,000高
- カラーデザイン ¥5,000より
- ストライプ ¥5,000より
- 膝カップ入り ¥5,000高
- 文字(ゴシック体) ¥400
- (筆記体) ¥600
- (カナ、漢字) ¥700
- 二重文字 ¥600~1,000より
- ゼッケンNo ¥1,000より
- ロード用ブーツ色 ¥18,000より
- "                    カラー ¥20,000より
- ロード用グローブ ¥5,500より
- "                    小牛鉄付 ¥6,500より

## お申し込み 方法

- 住所、氏名、M.F.J登録番号を明記の上サイズ記入表をご請求下さい。尚、M.F.J登録番号を明記の方は分割払いも可能です。
  - サイズ記入表が皆様方のお手元につきましたら希望コース、身体のサイズを記入し金額の半の金額を同封の上サイズ表を当社にお送り下さい。
  - サイズ表が着きしだい2週間で仕上げまして現品をお送り申し上げます。
  - この時現品は代金引替にてお送り致します。代引金額は金額の半です。
  - 品がお手元に着きましたら30日以内で残金金額をお送り下さい。
- ※現金送金は必ず現金書留でお願い致します。

M. F. J. 指定店

株式会社  
佐藤製作所

東京都墨田区東向島1丁目13番2号  
電話 03-611-0039



# 58年度 さらに新商品も加わり

## 充実のバギーオリジナル カタヤマ レプリカ'83



**E-169 プロフェッショナルレプリカグローブ**  
¥11,000

- 牛皮使用(FM使用)
- サイズ/M、L
- カラー/黒、赤、ベージュ
- プロフェッショナルタイプ、ゲージ織い。



**E-171 スタンダードタイプレプリカグローブ**  
¥8,800

- 牛皮使用
- カラー/白、赤、ブルー
- ヤング向きの特なデザイン、ピケ織い。



**B-026 ツーリングレプリカシューズ**  
¥28,000

- 牛皮使用
- サイズ/24.0-27.5cm
- カラー/黒
- 行動派のために、機能性を重視したツーリングシューズ。



**E-170 プロフェッショナルレプリカグローブ**  
¥9,800

- 牛皮使用(FM加工)
- サイズ/M、L
- カラー/黒、白
- プロフェッショナルタイプ、ゲージ織い。



**E-172 レースタイプスーパーレプリカグローブ**  
¥9,800

- 牛皮使用(FM加工)
- サイズ/M、L
- カラー/茶
- 手になじみやすく、ほめやすいゲージ織い。



**B-025 スーパーツーリングレプリカシューズ**  
¥38,000

- カーフ使用
- サイズ/24.0-27.5cm
- カラー/黒
- 徹底したレース経験から生まれた抜群のフィット感。



LEATHER FASHION CREATOR for MOTOR SPORTS

### バギー TAMMALL

〒557 大阪市西成区千本南1-22-11 TEL(06)659-5192(代)  
ITALY OFFICE VIA VOGHERA 27/20144 MILANO  
TELEPHONE 8357063

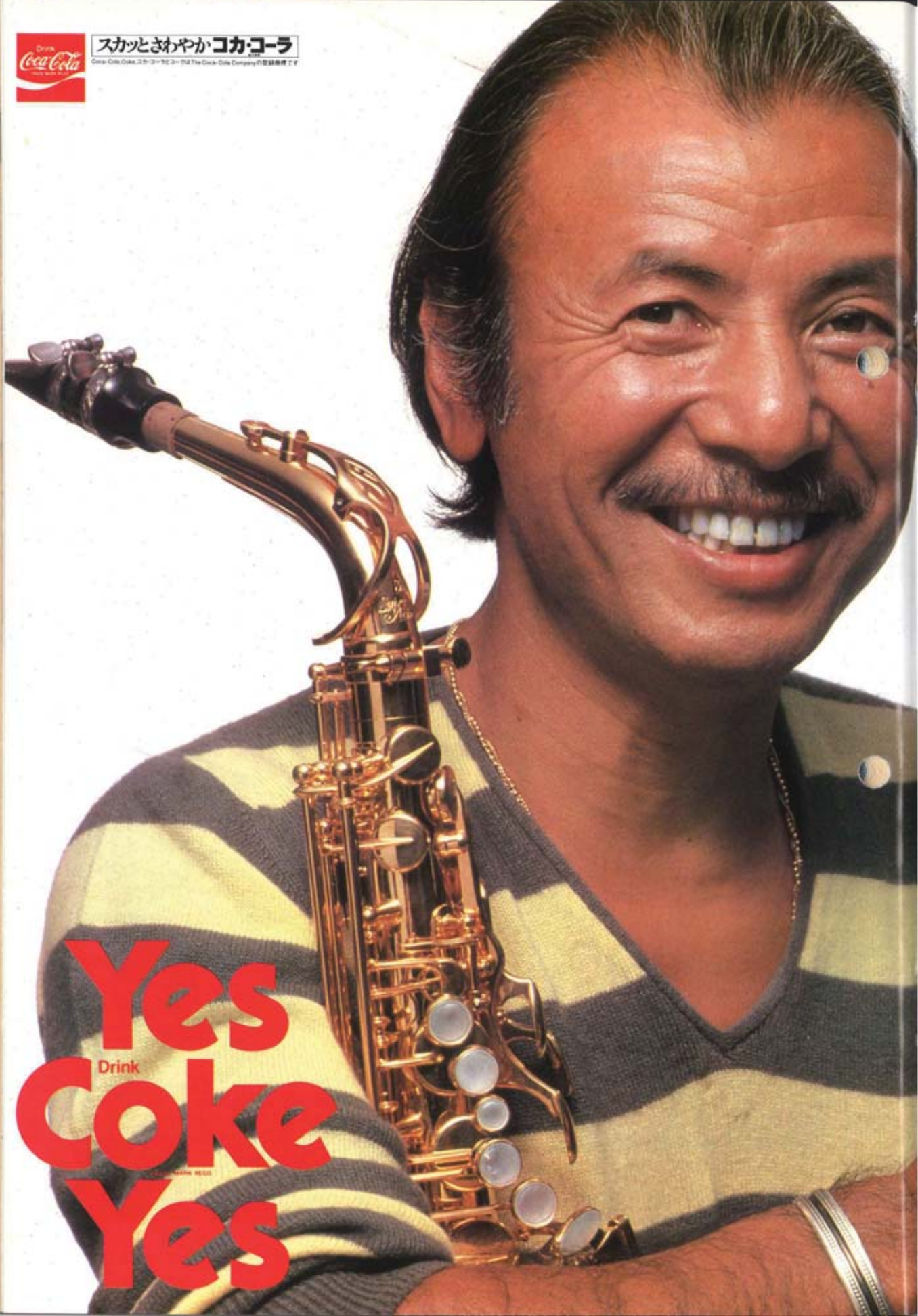
● 安全の運転のためヘルメット・グローブを必ずご使用下さい。





スカッとさわやか・コカ・コーラ

One Cup One Day. コーラは毎日飲む。 © 1993 The Coca-Cola Company. 登録商標です。



**Yes**  
Drink  
**Coke**  
MAKES  
**Yes**



コークは青春だ。渡辺貞夫。







# RIDE ON PERFORMANCE

何よりも速く、誰よりも正確に僕は駆けていた。

●モトクロス用 ●トレールスポーツ用 ●ハイスピード用



 YOKOHAMA



# OFF ROAD MACHINE SHOP



**Yamamoto  
Racing  
Service**



各機種●モトクロスカー、トライアラー、トールマシン  
 TLスペシャルパーツ●140ccピストンKIT、170ccシリンダーKIT  
 ビッグワラマグリングKIT、キックペダル  
 KLスペシャルパーツ●ハンドルプロテクタ、KLXヘッドライト、フロント  
 フェンダ、フォークブーツset、FRPエンデュアロタンク  
 KLXキャブ、ハイカム、280ccピストンKIT  
 KLX-EXパイプKIT、チェーンショナー  
 KLXチールランプ、ロングメーターワイヤ  
 その他●各機種チェーン、各スプロケットギヤ、小型ウインカーランプ  
 ハンドル、グリップ等  
 用品●シニサロ、クシタニ、AXO、ガエルネ、アルパインスター

●通信販売  
 ●ローン販売  
 ●下取り販売  
 のいずれでも販売OK!!  
 ※TL・TYの下取り歓迎します。



# 山本レーシング

代表者 山本 隆

〒675 兵庫県加古川市野口町良野261-3 ☎ 0794 (23) 2335

# NUMBER ONE. -¥45,000

全日本モトクロスチャンピオンシップで上位独占!!

NO. 1



NO. 874



NO. 852



alpinestars

アルパインスター日本総代理店

ライダーズ スポット タイチ

大阪府大東市中垣内 7-700-1 TEL. 0720-74-3268



## '83年ショウエイ賞募集要項

ショウエイカホンダオリジナルヘルメット(ショウエイ製)を着用し、MFJ公認全日本選手権シリーズの下記イベントに出走し、入賞されたライダーに規定の賞金を贈り、その榮譽をたたえます。

## ◇対象レース区分 全日本選手権シリーズ戦

ロードレース	500cc/250cc/125cc/スーパーバイク	国際A級決勝
モトクロス	250cc/125cc	
トライアル	オープン	

## ◇賞金額(単位:万円)

ロードレース	1位	2位	3位	4位	5位	6位
全日本第1戦-全日本グランプリ	20	10	8	6	4	2
500ccクラス決勝レース	20(4)	10(2)	8(1)	6(1)	4(8)	2(4)
T.B.C杯ビッグロードレース	20	10	8	6	4	2
250ccクラス決勝レース	10	6	4			
125ccクラス決勝レース	10	6	4			
スーパーバイク決勝レース	10	6	4			
モトクロスレース	1位	2位	3位	4位	5位	6位
250ccクラス決勝レース	12	6	4	3	2	1
125ccクラス決勝レース	12	6	4	3	2	1
トライアルレース	1位	2位	3位	4位	5位	6位
オープンクラス決勝レース	6	5	4	3	2	1

## ◇グランドチャンピオン賞

グランドチャンピオン賞対象		MFJ全日本ランキングチャンピオン獲得者
ロードレース	500ccクラス	100万円
	250ccクラス	50万円
	125ccクラス	50万円
モトクロス	250ccクラス	100万円
	125ccクラス	100万円
トライアルレース	オープンクラス	100万円

ショウエイ賞申し込み者で、賞金対象レース部門の全日本MFJランキングチャンピオンを獲得された方に対し、海外レース視察費として別項の通り賞金を贈呈します。

## ◇適用期日および条件

- 昭和58年度ロードレース全日本第一戦より最終戦まで。および鈴鹿8時間耐久レース、T.B.C杯ビッグロードレース。
- 昭和58年度モトクロス全日本第一戦より最終戦まで。
- 昭和58年度トライアル全日本第一戦より最終戦まで。

## ◇参加方法および条件

ショウエイ賞の趣旨に賛同し、賞金制度の適用を望まれる国際A級ライダーの方。ショウエイステッカーおよびワッペン等を、ヘルメット・マシン・レーシングスーツに貼付けることが条件となります。特典として、ショウエイヘルメット(プレーンカラー)等を提供します。

## ◇ショウエイ賞に参加ご希望の方は

- ①氏名②住所(〒番号)③年齢④電話番号⑤所属クラブ⑥MFJ会員番号⑦ゼッケンナンバー⑧賞金振込先(銀行・支店・口座番号)⑨希望ヘルメット名およびサイズ⑩参加クラスを明記の上、下記まで、ハガキでお申し込みください。

〒105東京都港区新橋2-9-2鎌田ビル

昭栄化工株式会社

モータースポーツショウエイ賞係

賞金総額 2,300万円

'83年

シヨウエイ賞

めざせグランドチャンピオン。

海外レース視察に行くヒーローは、君だ。

常に一流ライダーたちから信頼され、愛されつづけてきたショウエイのヘルメット。そのショウエイが「日本のモーターサイクルの発展に、少しでもお役に立ちたい」という主旨で設けたショウエイ賞も、今年でいよいよ4年目をむかえることになりました。年々充実するショウエイ賞は、国際A級ライダーたちの注目の的。83年は賞金をさらにアップしてライダーたちの闘志にお応えします。ロードレース、モトクロス、トライアルの全日本選手権シリーズの各イベントに1,800万円を、そして年間を通しての、ショウエイ賞のグランドチャンピオンの方には、海外レース視察費を贈呈するものです。

さあ、今年のグランドチャンピオンは誰か。鍛えぬかれた体と磨きぬいたテクニックで、思いきりチャレンジするヒーローを、ショウエイは今年も期待しています。



# Motocross

## 付則2 モトクロス規則



〔1〕適用の範囲	55	〔2〕モトクロス	55
〔3〕出場車輛	55	〔4〕ライダーの装備	57
〔5〕公式予選	58	〔6〕レース	58
〔7〕優勝者、入賞者順位、定走者および得点	58		

### 〔1〕適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべての国内モトクロス競技会に適用される。

### 〔2〕モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走行方向が急変化する等の地形のところで行なわれるクロスカントリー・レースであり、総則およびこの付則により管理される。

### 〔3〕出場車輛

車輛は下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することはできない。

#### 1. クラス区分

車輛のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc	80cc
125cc	100cc	125cc
250cc	175cc	250cc
500cc	350cc	500cc

#### 2. 改造の限度

競技の公平および安全性に関連して次のような改造の制限を定める。

#### 1) 国際A級部門の車輛改造の限度

車輛の銘柄型式は制限しない。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を厳守しなければならない。

(1) 半乾燥重量は下記の最低重量をみだしてはならない。半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料をぬいた車輛重量をいい、分離給油式の場合のエンジン潤滑オイルは燃料とみなす。

① 車輛最低重量は次の通りである。

125cc=88kg 250cc=98kg 500cc=102kg

② 最低重量をみだすためにダミーウェイトを装着してはならない。

(2) 騒音は下記の条件を満たしていなければならない。

① 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

② 騒音はFIM方式による測定方法で110db(A)以下でなければならない。

FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均速度を4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

(3) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

2) 国際B級、ジュニア、ノービス部門の車輛改造限度  
車輛は、一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量化、もしくは形



状の変更をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) 機械的伸長、他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理（焼き入れ等）および材質の変更をしてはならない。
- (2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強等はおこなってもよい。
- (3) 異った機種エンジンの、フレームの組み合わせは公認車輛同士に限りおこなうことができる。ただし、小排気量車のフレームと大排気量車のエンジンを組み合わせることはできない。
- (4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならない。
  - ① クランクウェブのバランス穴の充填は認められる。
  - ② ユニット・コントラクション（単体構造）エンジンの場合のクランクケース本体とは変速機部分を含むものとする。
- (5) 変速機のギヤ段数は6段を限度とする。  
ただし、クランクケースおよびミッションケース外に変速装置をつけ加えてはならない。
- (6) 冷却方式を変更してはならない。
- (7) 弁形式を変更してはならない。
- (8) 燃料吸入方式を変更（フューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。
- (9) 気化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。  
（ダブルベンチュリーの場合は2個とみなす）
- (10) 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。
  - ① 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料をぬいた車輛重量をいう。ただし、分離給油式の場合のエンジン潤滑オイルは燃料とみなす。
  - ② 車輛最低重量は次の通りである。  
125cc=88kg 250cc=98kg
  - ③ 最低重量をみたすためにダミーウェイトを装着してはならない。
- (11) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。
  - ① 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。
  - ② 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)以下でなければならない。  
FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均速度を4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

## 12 構成部品

- ① 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。  
シリンダー、シリンダーヘッド、変速機
- ② 下記部品はMFJに市販届出申請を行ない承認されたものでなければならない。  
フロントクッション、リアクッション
- ③ チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

## 3) Bライセンス部門の車輛改造限度

- (1) 車輛は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。

### (2) 変更してもよい部品。

- ① ハンドルおよびその附属品
- ② コントロール・ケーブルワイヤー類
- ③ タイヤ
- ④ フートレスト
- ⑤ フェンダー
- ⑥ ジート
- ⑦ 消音器の内部
- ⑧ エアクリナー
- ⑨ 点火プラグ
- ⑩ メインスイッチ
- ⑪ ベダル類
- ⑫ スプロケット
- ⑬ チェーンケース

### (3) 取りはずさなければならない部品。

- ① スタンド類
- ② キャリア類
- ③ タンデム・フートレスト
- ④ 車輛番号標板（ブラケットごと）
- ⑤ バックミラー
- ⑥ ライト類およびガラス類（ただし、レンズおよびライト類の飛散防止を施せばよい）

### (4) 取り付けなければならない部品。

- ① レースナンバープレート
- ② ハンドルレバーエンド

### (5) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない

- ① 車輛は、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。
- ② 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)以下でなければならない。

FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置、ピストンの平均速度を4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

- (6) 上記、(2)(3)(4)の各項に記載された部品以外は一切変更改造をおこなってはならない。



## 3. 仕様

## 1) 排気管および消音器

- (1) 車輛は規定の騒音規制値を満足していなければならない。
- (2) 排気消音器の長さは後輪後端を通る垂直線より突出してはならない。

## 2) タイヤ

タイヤチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

## 3) 過給

過給器を取付けたり過給したりしてはならない。

## 4) クラッチとブレーキレバーおよびペダル

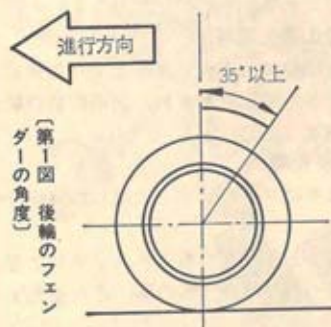
- (1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるものであってはならない。
- (2) ブレーキペダルおよびギヤシフトペダルの位置は自由である。ただしその先端は安全上丸められていなければならない。

## 5) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキをそなえていなければならない。

## 6) フェンダー

前後車輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。特に後輪はその後部上四半分の上側から35°以上覆われていることが望ましい。〔第1図参照〕ただし、前輪フェンダーについては、主催者が認めれば取りはずしてもよい。



〔第1図 後輪のフェンダーの角度〕

- 7) 取りはずさなければならない部品  
ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台およびチェーンケース（プロダクションのみチェーンケースはこの限りではない）は取りはずさなければならない。

## 8) レースナンバープレート

- (1) ナンバープレートの大きさ  
ナンバープレートは、第2図に示す大きさ以上のものでなければならない。



〔第2図 レースナンバープレートの大きさ〕

## (2) 取り付け方法

ナンバープレートは、車輛の前面に1枚を前向きに、車輛の両側面に各1枚を垂直方向に取り付けなければならない。

## (3) ナンバープレートの色分け（12頁参照）

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

Bライセンス部門——白地に黒文字

ノービス部門——白地に黒文字

ジュニア部門——黄地に黒文字

国際B級部門——緑地に白文字

国際A級部門125ccクラス——赤地に白文字

国際A級部門250ccクラス——赤地に黄文字

## (4) ナンバーの字体

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。なお蛍光色の文字の使用は禁止する。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

わるい書体例 陰つきの花文字なども不可

- 9) 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造であってはならない。

## 〔4〕ライダーの装備

## 1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133の2種、USA S. I. STANDARD-Z90-1-1970、米国スネル規格1980によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- 2) MFJの公認したヘルメットには、認証マークが貼付されている。
- 3) 競技会の車輛検査受付時にヘルメットの検査がおこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
- 4) MFJ公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについては、ペナルティ料金（1,000円）を支払い、特別検査を受けなければならない。





## 2. ゴググル

ガラスを用いたゴググルの使用はいっさい禁止される。枠は柔軟なもの、または転倒等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなければならない。

## 3. ライダーの服装

- 1) 服装はレース中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- 2) 下半身は皮製または革と同等以上の耐摩耗性、耐熱性を有する材質のズボンを着用しなければならない。
- 3) 上衣は特に規制しないが、安全で自由な動作をさまたげず、丈夫なものを着用しなければならない。
- 4) 突出部のない革、または革と同等以上の性能をもつ手袋および靴を着用しなければならない。
- 5) ライダーは競技会中、合成繊維（ナイロン、テロン等）製の肌着を着用してはならない。

## [5] 公式予選

### 1. 公式予選の日程

- 1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- 2) 公式予選の日程は特別規則に示される。

### 2. 公式予選の内容

- 1) そのクラスの出場申込み台数が、規定の同時出走最多台数（30台）を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選がおこなわれる。
- 2) 公式予選は、原則として大会公示に示される周回数レースによっておこなわれる。
- 3) 決勝進出台数は特別規則に示される。

## [6] レース

### 1. スタート位置

レースにおけるスタート位置の決定方法は特別規則に示される。

### 2. スタートまでの行動

- 1) ライダーは、特別規則に定められた時間割りを厳守しなければならない。
- 2) ライダーは、レース直前のチェックの後、車輛とともに指定区域内に待機していなければならない。
- 3) エンジンのウォーミングアップは特別規則に定められた時間内でおこなわれなければならない。

### 3. スタート

- 1) スタートの方法については、原則として各部門ともエンジンランニングスタートとし、その際、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。  
ただし、スターティングマシンを使用する場合は上記の待機姿勢をとらなくてもよい。

2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。

3) スターティングマシンが使用される場合は、車輛の位置は原則としてスターティングマシンの後方の区画内とする。

4) スタートの合図は、スタート係が国旗を振ることによっておこなわれる。ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りではない。

5) スタート合図以前にスタート・ラインを出たものがあつた場合、すなわちフライングがあつた場合は、スタート・ライン前方において赤旗が振られ、スタートをやりなおす。ただし同一ライダーが2回以上フライングをした場合はそのライダーは失格とする。

### 4. コースアウト

ライダーは、走行中やむをえず定められたコースを外れ出た場合、再びコースにもどるにははずれ出た地点より走行し直さなければならない。

### 5. レース終了

レースの終了は優勝者の完走後、チェッカーフラッグマーシャルが定位置を離れること、または大会役員車がコースを一巡することによって示される。

## [7] 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

### 1. 優勝者

優勝者は、規定のレース時間および周回数を最短時間で完走したライダーである。

### 2. 入賞者および順位の優先順序

入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールライン通過の順位による。

### 3. その他の順位の優先順序

- 1) レース終了時までにゴールラインに達しない走行中の完走者。
- 2) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイアした者。
- 3) 上記以外の者については周回数の多い者を優先する

### 4. 完走者

各レースにおいて、優勝者の80%以上の周回数を完了してチェッカーを受けたライダーが完走者である。

### 5. 得点

- 1) 得点は総則[8]の2、3。（23頁参照）によって得点が与えられる。
- 2) 選手権シリーズで大会（県、地方、全日本等）の得点は原則として、上記1）によって与えられる。
- 3) レースが2ヒートでおこなわれる場合は、この得点は各ヒート毎に与えられる。



# '83 全日本選手権大会特別規則

# モトクロス



全日本選手権モトクロス大会は、日本モーターサイクル協会(MFJ)公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1983年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。

## 特別規則の内容

[1] 開催競技会の日程, 名称, 主催, 開催場所, 出場申込み期間	60
[2] 運営実行組織	61
[3] 公式通知・タイムスケジュール	61
[4] 開催種目	61
[5] 競技内容	61
[6] 参加定員	61
[7] 参加資格	61
[8] 出場申込み	61
[9] 出場料, 保険料および選手共済費	61
[10] 参加受理	61
[11] 賞および得点	62
[12] 出場車輛	62
[13] 競技者番号(ナンバー)	62
[14] ライダーの装備	62
[15] ガソリンおよびオイル	62
[16] ピットエリア	62
[17] 出場受付	62
[18] 車輛検査	63
[19] ライダーの変更	63
[20] 車輛の変更	63
[21] 部品の変更	63
[22] 自由練習および公式練習	63
[23] 公式予選	63
[24] スタート	63
[25] レース	64
[26] レース中の合図	64
[27] レース終了	64
[28] 優勝者, 入賞者および得点	64
[29] 入賞車輛の検査	64
[30] レースおよび大会の延期, 中止等	64
[31] 抗議	64
[32] レース中の違反行為に対する罰則	64
[33] 本規則の解釈	64
[34] 本規則の施行	64



## [1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

\*83全日本選手権シリーズはグランプリを含め下表の11戦をおこなう。

日 程	大会名称	主 催 (出場申込み先)	開催場所	出場申込み期間
3月5日(土) 6日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 関東モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	関東信越モーターサイクル協会 ☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03(472)6241	埼玉県 川島町 セーフティパーク埼玉	2月3日(木) ) 14日(月) 消印有効
4月2日(土) 3日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 中国モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ西日本スポーツ委員会 ☎730 広島県広島市南区松川町3-3-19 韓広島英油内 ☎ 082(261)8386	島根県 海潮温泉 オートランド山陰	3月3日(木) ) 14日(月) 消印有効
4月16日(土) 17日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 関西モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	関西モーターサイクル協会 ☎673 兵庫県神戸市垂水区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内 ☎ 078(927)7701	大阪府 大東市 オートランド生駒	3月17日(木) ) 28日(月) 消印有効
5月14日(土) 15日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 鈴鹿モトクロス大会 (国際A級2ヒート制)	韓ホンダランド鈴鹿サーキット ☎510-02三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎ 0593(78)1111	三重県 鈴鹿市 鈴鹿サーキット	4月15日(金) ) 25日(月) 消印有効
6月4日(土) 5日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 東北モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ東北スポーツ委員会 ☎980 宮城県仙台市北根1-19-41 ☎ 0222(73)0475	宮城県 村田町 スポーツランドSUGO	5月4日(水) ) 16日(月) 消印有効
6月18日(土) 19日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 四国モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ四国地方本部 ☎760 香川県高松市西宝町3-11-7 岡村秀樹気付 ☎ 0878(34)1634	愛媛県 松山市 オートテック松山	5月19日(木) ) 30日(月) 消印有効
7月9日(土) 10日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 札幌モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	北海道モーターサイクル協会 ☎065 北海道札幌市東区東雁来町52 ☎ 011(782)1492	北海道 留寿都村 大和ルスツスキー場特設コース	6月9日(木) ) 20日(月) 消印有効
9月3日(土) 4日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 東北モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ東北スポーツ委員会 ☎980 宮城県仙台市北根1-19-41 ☎ 0222(73)0475	福島県 安達郡 えびす高原牧場	8月4日(木) ) 15日(月) 消印有効
9月17日(土) 18日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 九州モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ九州地方本部 ☎812 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16 福岡県軽自動車協会 ☎ 092(641)0431	福岡県八女郡 星野 トレールランド星野	8月18日(木) ) 29日(月) 消印有効
10月1日(土) 2日(日)	全日本選手権シリーズ第10戦 北陸モトクロス大会 (国際A級2ヒート制)	MFJ中部モーターサイクル協会 ☎514 三重県津市港町19-12 三重県軽自動車協会内 ☎0592(24)1111 MFJ北陸スポーツ委員会 ☎930 富山県富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内 ☎0764(24)6420	富山県 山田村 牛岳スキー場	9月1日(木) ) 9月12日(月) 消印有効
10月15日(土) 16日(日)	全日本選手権シリーズ第11戦 第20回モトクロス 日本グランプリ大会 (国際A級2ヒート制)	日本モーターサイクル協会 ☎104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	宮城県 村田町 スポーツランドSUGO	8月26日(金) ) 9月5日(月) 消印有効



〔2〕 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

〔3〕 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

〔4〕 開催種目

- 1) 全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記のとおりである。

部 門	ジュニア	国際 B 級	国際 A 級
クラス	125cc	125cc	125cc
	250cc	250cc	250cc

- 2) 大会によりノービス部門の競技が併催されるが、ノービス部門は全日本選手権の対象とはならない。  
 3) 日本GP大会には、ノービス選抜レース(125cc)がおこなわれる。

〔5〕 競技内容

ノービス	10分+2周
ジュニア	15分+2周
国際B級	30分+2周
国際A級	40分+2周

注：上記競技内容は天候等の都合により、大会審査委員会の決定によって変更される場合がある。

〔6〕 参加定員

定員は定めない。

〔7〕 参加資格

1. 参加者およびライダー

- 1) 参加者およびライダーは、MFJ国内競技規則、総則〔4〕(15頁参照)に合致していなければならない。  
 2) 国際A級部門のライダーは、昭和58年1月10日までにMFJに登録したクラスにのみ出場することが認められる。

2. 日本GP大会の参加資格

- 1) ノービス部門。ノービス選抜レース(125cc)出場者は、各地方スポーツ委員会により次に示す人数  
北海道=4名、東北=10名、関東=6名、  
中部=4名、関西=4名、中国=1名、四国=1名  
九州=2名

- 2) ジュニア部門。8月15日までの全日本選手権シリーズ大会及び地方選手権シリーズ大会の得点合計で125cc、250cc各クラス上位の者に次に示す人数  
北海道=3名、東北=15名、関東=18名、中部=10名  
関西=6名、中国=2名、四国=2名、九州=4名  
 なお主催地方に2名を加える。

- 3) 国際B級部門。7月9、10日の全日本選手権第7戦札幌大会までの全日本選手権シリーズ大会において各クラスともランキング上位30名+2名のライダー、30名に満たない場合は主催地方及び隣接地方の選手権シリーズでの上位者。

〔8〕 出場申込み

- 1) 申込み場所 申込み場所は各主催者住所とする。  
 2) 出場申込み  
 (1) 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料およびMFJ選手共済(通称MFJ保険)費を添えて提出しなければならない。  
 (2) 2クラス以上に出場を申込み場合でも、申込み書は1枚でよい。ただし2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。  
 (3) 郵送の場合は現金書留とし、締切当日の消印のあるものまでが有効となる。  
 (4) 締切日以降の申込みおよび電話による申込みはいっさい受けつけない。

〔9〕 出場料およびMFJ選手共済費

国際A・B級、ジュニア	出場料(保険料込み) (2クラス目より)	6,000円 4,000円
併催ノービス地方大会	出場料(保険料込み) (2クラス目より)	5,000円 4,000円
日本グランプリ大会	出場料(保険料込み) (2クラス目より)	6,000円 5,000円

(MFJ選手共済費=通称MFJ保険料1,000円を含む)

〔10〕 参加受理

- 1) 必要事項のすべてが明記された出場申込み書、必要金額が大会事務局に受理されたのちに、参加受理書が発送される。  
 2) いったん受理された出場料、共済費はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。  
 3) 大会が中止された場合、参加が拒否された場合(申



込み者が必要な手続を怠った場合はこれにはあてはまらない)にのみ出場料, 共済費が返還される。

## [11] 賞および得点

### 1. 賞および得点

- 1) 高松宮杯  
日本GP大会における最優秀ブロックに与えられる
- 2) その他の賞の詳細は公式通知に示される。
- 3) 全日本選手権ランキングの得点
  - (1) 得点は総則[8]2., 3. (23頁参照)によって与えられる。
  - (2) モトクロスGP大会については, 上記の得点にさらに3点が加算される。
  - (3) レースが2ヒートでおこなわれた場合は, それぞれのヒート毎に上記の得点が与えられる。
  - (4) 全日本選手権ランキングの順位は, 上記によって与えられた得点のすべてが加算され, その合計得点によって決定される。
  - (5) その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。
- 4) 賞および得点の制限  
賞および得点の制限は, 総則[8]3. (23頁参照)による。尚, 国際A級の出走台数は各ヒートのレースのスタートラインに並んだ台数とする。

### 2. 日本GP大会における賞の規定

- 1) 最優秀クラブ賞は, MFJ公認クラブで, そのクラブの全入賞者の得点を合計し, 最多得点を獲得したクラブに授与される。
- 2) 最優秀ブロック賞, 最優秀クラブ賞は, レースごとのライダーの最高得点を集計して与える。

## [12] 出場車輛

車輛は付則2[3] (55頁参照)を遵守しなければならない。

## [13] 競技者番号(ナンバー)

- 1) 国際A級および国際B級の一部(20番まで)のライダーには, 年間指定ナンバーが割当てられる。
- 2) 他のライダーには, 主催者によってナンバーが割当てられ, 参加受理書に記入して通知される。
- 3) ナンバーは, 車輛検査までに, 規定の書体および色で記入しなければならない。
- 4) 年間指定ナンバーを与えられているライダーは, ヘルメットの両側にナンバーを記入しなければならない
- 5) ナンバーの状態は, 車輛検査時に車検員によって点検され, 判読しにくいと判断された場合には修正が要



ヘルメットの側面に貼られたナンバー

求される。

- 6) レース中, ナンバープレート, 配布されたゼッケンおよびヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合, また, 間違ったナンバーを装着して走行した場合はその周回は記録されない。
- 7) 雨天の場合, すべてのライダーはヘルメットの両側にナンバーを記さなければならない。

## [14] ライダーの装備

- 1) ライダーの服装等は, 付則2[4]3. (58頁参照)による。
- 2) MFJ認証マークが貼付されていない公認ヘルメットを使用しているものについては, ペナルティ料金(1,000円)を支払わなければならない。

## [15] ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは, 総則[12] (25頁参照)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された時は, 当該ガソリンを使用しなければならない。

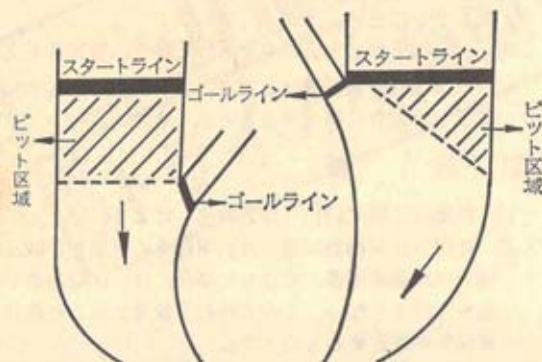
## [16] ピットエリア

ピットエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアはスタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえないコース上である。(第1図参照)

## [17] 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に, 必ずライダー本人が出頭し運転免許証(または自動車安全運転センター発行の運転記録証明書, 高等学校発行の免許証保管書), MFJライセンス, 健康保険証, 参加受理書を提示して, 出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) 運転免許証(又は自動車安全運転センター発行の運





【第1図 ピットエリア(区域)】

転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書)を所持していない者は、原則として出場を認められない。

- 4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金を(3,000円)を支払い、さらにその場でMFJ登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。なお、後日MFJ事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

## 【18】 車輛検査

- 1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- 2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) 車輛検査持込み台数は1クラスにつきノービス(地方大会)、ジュニアおよび国際B級部門は1台に限定、国際A級部門のライダーは制限を設けない。
- 4) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車輛は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時検査をおこなうことができる。

## 【19】 ライダーの変更

ライダーの変更は総則【14】(25頁参照)による。

## 【20】 車輛の変更

- 1) 車輛の変更は総則【14】(25頁参照)による。
- 2) ただし車輛変更申請は、同部門、同クラスの車輛に

- 限定され、手数料5,000円を添付しなければならない。
- 3) 車輛の変更は、公式予選終了後は如何なる理由があっても認められない。
  - 4) 2ヒート・システムの場合、第1ヒート目と第2ヒート目の車輛の変更は認められない。

## 【21】 部品の変更

- 1) エンジン・アッセンブリーの変更は認められない。
- 2) 2ヒートの場合、第1ヒート終了後すべての出走車輛は封印される。なお、封印された部品以外のものの交換は許される。封印する場所はクランクケースの接合部分。

## 【22】 自由練習および公式練習

- 1) 競技前日の走行練習は禁止される。
- 2) ライダーは安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加し、走行しなければならない。

## 【23】 公式予選

- 1) 公式予選の内容は付則2【5】(58頁参照)による。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは公式練習終了以前に発表される。

## 【24】 スタート

### 1. スタートの方法

- 1) 原則として各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
- 2) ただしスターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

### 2. スタート台数

原則として30台とする。

### 3. 予選レースのスタート位置の決定方法

スタート順位は抽選により決められ、スタート位置は自由選択とする。

### 4. 決勝レースのスタート位置の決定方法

スタート順位は、下記の要領にて決められ、スタート位置は自由選択とする。

- 1) タイムトライアルによるタイム順
- 2) タイムトライアルがない場合は抽選による。
- 3) 2ヒート制の場合、第1ヒートのスタート位置は上記による。
- 4) 2ヒート制の場合、第2ヒートのスタート位置は第1ヒートの結果による。



5. エンジンのウォーミングアップは主催者の指示する時間内に限られる。

6. ウォーミングアップ以後、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても、スタート係はこれを考慮しない。

## [25] レース

- 1) レース中の遵守事項は総則[15](25頁参照)による。
- 2) ピットエリア内で車輛の整備などをおこなえるメカニックは2名に限られる。
- 3) レース中、消音器またはエキスパンションチャンパーがはずれた場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗が示され、ピットインし、修理の後、審判長の許可を得た上で再出走が認められる。

## [26] レース中の合図

- 1) レース中の合図は総則[16]3. (26頁参照)による。
- 2) 競技内容に示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴール地点に現われた時点から、残り周回数を示す合図が出される。

## [27] レース終了

レースの終了は付則2[6]5. (58頁参照)による。

## [28] 優勝者、入賞者および得点

1. 各レースにおける優勝者、入賞者、完走者および順位は、付則2[7] (58頁)による。
2. 2ヒートシステムの総合順位決定方法。
  - 1) 各ヒートごとに次の得点が与えられる。1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点。
  - 2) 総合順位決定は、①合計得点の多いもの、②合計周回数の多いもの、③着順上位のあるもの、④2ヒート目の成績にしたがっておこなわれる。

## [29] 入賞車輛の検査

- 1) レース終了後、入賞となった車輛は、直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車輛は車輛重量および騒音が測定され、規定をみたしていない車輛は失格となる。

## [30] レースおよび大会の延期、中止等

- 1) 大会は、本規則に発表した日程を変更または延期さ

れることはない。

- 2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、共済費は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## [31] 抗議

- 1) 抗議は、総則[21] (27頁参照)による。
- 2) 車輛の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 車輛の分解検査に立合う者は、車検長および抗議を受けた当事者のみとする。

## [32] レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、その軽重によって競技総監督ならびに大会審査委員会の権限において、下記の罰則を課せられることがある。

- 1) 故意に走路を妨害した場合、失格とする。
- 2) レース中に他の援助を受けた場合、失格とする。
- 3) コース上で逆走した場合、失格とする。
- 4) コース審判により示された信号旗にしたがわなかった場合失格とする。
- 5) 1度コース外に出て他の所より再びレースに復帰した場合、1周減算または失格とする。
- 6) ウォーミングアップ中止後、役員長の許可なくエンジンを始動させた場合、1周減算とする。
- 7) フライングスタートが確認された場合、黒旗をもってその旨ライダー本人に通告される。黒旗で合図されたライダーは、その場で1分間停止し、競技役員長の指示によって再スタートする。
- 8) 同一ライダーがフライングを2度繰返した場合はそのライダーは失格とする。

## [33] 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申立てができる。なお、この解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## [34] 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。

なお、本規則に示されていない事項は、MFJ国内競技規則による。

昭和58年1月1日

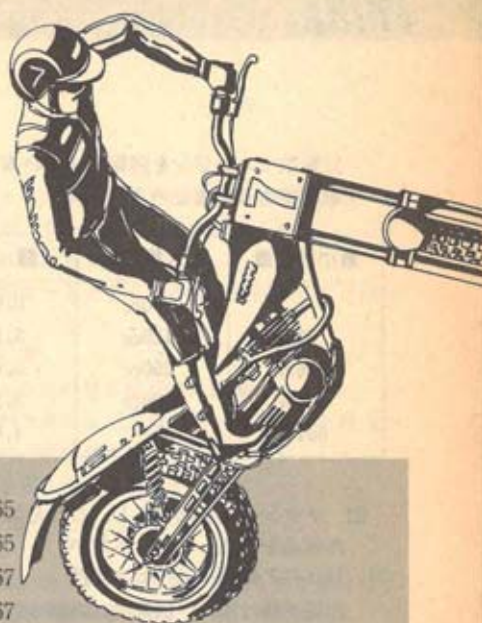
大会事務局長



# Trial

## トライアル規則

付録3



[1] トライアル.....65	[2] 適用の範囲.....65
[3] 賞.....65	[4] 出場車輛.....65
[5] ライダーの装備.....67	[6] コース.....67
[7] セクション.....67	[8] タイムキーピング.....67
[9] 競技の進行.....68	[10] ペナルティ.....68
[11] ペナルティの定義.....69	[12] 競技結果.....69
[13] 同点者の判定.....68	★トライアルタイヤ公認規格...69

### [1] トライアル

(オブザベーション・トライアル)

オブザベーション・トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな条件を設定し、きめられた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたっておこなわれ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表わされる。

### [2] 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべての国内トライアル競技会に適用される。

### [3] 賞

原則として次の通り賞を定める。

- 1) 優勝=ベストパフォーマンス (BP)  
出場者中最も減点の少ない者
  - 2) 2位=ランナーアップ (RU)  
二番目に減点の少ない者
  - 3) ファーストクラス 優勝, 2位を含む上位20%の者
  - 4) セCONDクラス 次の上位10%の者
- 注: セCONDクラスとは全出場者の上位のうち, 1), 2), 3)を除いた者。

### [4] 出場車輛

出場車輛(以下車輛という)は下記の改造の限度と仕様

をみたし、安全上完全に整備されているものでなければならない。なお、改造されて型式(モデル)が判明できないような車輛は出場することができない。

#### 1. 競技が一般公道を使用する場合の車輛の改造限度

出場車輛は、運輸省認定車で、車輛保安基準に合致し、一般公道を走れる状態のもので、次の保安部品を装着していなければならない。

登録番号プレート、ライト、スピードメーター、クラクション、フラッシャーランプ、バックミラー、ブレーキランプ、消音器等。なおガラス類には飛散防止策を施さなければならない。

#### 2. 競技が一般公道を使用しない場合の車輛の改造限度

出場車輛の銘柄、型式は規定しない。

##### 1) 国際A級部門, 国際B級部門

改造の仕上げ、調整をする場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 車輛の騒音はMFJ方式による測定方法で、80db(A)以下でなければならない。

MFJ方式とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の



回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

最小排気量	最大排気量	回転数
—	80cc	6,000 rpm
81cc	125cc	5,500 rpm
126cc	250cc	5,000 rpm
251cc	500cc	4,500 rpm
501cc	—	4,000 rpm

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

## 2) ジュニア部門、ノービス部門

出場車輛は国内、国際的に市販されているモーターサイクルで、MF Jが公認したものでなければならない。なお、輸入車輛にあつてはMF Jに申請しなければならない。その銘柄、型式の詳細は公示に示される。改造の仕上げ、調整をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 騒音はMF J方式による測定方法で80db(A)以下でなければならない。

MF J方式とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

最小排気量	最大排気量	回転数
—	80cc	6,000 rpm
81cc	125cc	5,500 rpm
126cc	250cc	5,000 rpm
251cc	500cc	4,500 rpm
501cc	—	4,000 rpm

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

## 3. 仕様

### 1) 排気管および消音器

排気管および消音器は規定の騒音規制値を満足していなければならない。

### 2) タイヤ

(1) タイヤはMF Jに公認申請をおこない、承認されたものでなければならない。

ただし、国際A級および国際B級部門は、MF J公認規格に合致していれば、この限りではない。

(2) タイヤに改造を加えてはならない。

(3) タイヤにチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

### 3) クラッチおよびブレーキレバー、ペダル

(1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるものであつてはならない。

(2) ブレーキペダルおよびギアシフトレバーの位置は自由である。ただし、その先端は安全上丸められていなければならない。

### 4) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていなければならない。

### 5) フェンダー

前後輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

## 4. 競技用ナンバープレート

競技が一般公道を使用しない場合、競技用ナンバープレートを装着しなければならない。

### 1) ナンバープレートの寸法

ナンバープレートは第1図に示す大きさのものでなければならない。

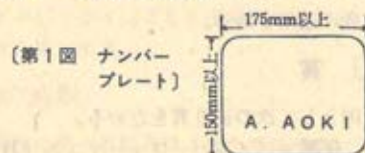
### 2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚を車輛の前面に見えやすいように前向きに取り付けなければならない。

### 3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次のとおりである。

- ノービス部門——白地に黒文字
- ジュニア部門——黄地に黒文字
- 国際B級部門——緑地に白文字
- 国際A級部門——赤地に白文字



### 4) ナンバープレートの字体

ナンバープレートの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であつてはならない。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

なお、国際A級および国際B級部門については第1図に示すようにプレート下部に記名しなければならない。



- 5) 他のライダーに迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

## 〔5〕 ライダーの装備

### 1. ヘルメット

- ヘルメットは、日本工業規格 JIS T8133-1982 の A種、および同 JIS T8133 の 1種 (JIS T8133 の 1982年 8月までの規格) 以上のもので MFJ が公認したものでなければならない。
- MFJ の公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。
- 競技会の車輛検査受付時にヘルメットの検査がおこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJ の公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
- MFJ 公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについては、ペナルティ料金(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

### 2. ライダーの服装

- 下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- 手袋および足首以上を保護する突出部のない皮靴またはゴム長靴を着用しなければならない。

## 〔6〕 コース

コースには次のコースマークが設定される。

- 右折 (ターンライト) 赤いカードに "R" の黒字
- 左折 (ターンレフト) 青いカードに "L" の黒字
- 直進 (ストレート・オン)

白いカードに "S O" の黒字

- 一般公道を使用する場合は、上記カードの他に、交差点の手前 50m に進行方向を予告するカードが設定される。

## 〔7〕 セクション

### 1) セクションの表示

セクションは次のセクションカードおよびテープで表示される。

- 入口
 

右側	赤地にセクションナンバー
左側	青地に "Section Begins" または "IN"
- 途中
 

右側	赤いカード
左側	青いカード
- 出口
 

右側	赤地にセクションナンバー
左側	青地に "Section Ends" または "OUT"

### 2) セクションの幅

- セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、カードによって制限する場合は 1.2m 以上なければならない。
- 同じ側のカードとカードの間を迂回することはできない。
- 採点区間

セクションにおける採点は、前輪のスピンデル (車軸) がセクション入口のカードを過ぎた時点から開始され、前輪のスピンデルがセクション出口のカードを過ぎた時点で終了する。

## 〔8〕 タイムキーピング

- ライダーは、あらかじめ抽選で決められた順序により、1分間隔でスタートする。
- 決められたスタート時刻に遅れたライダーは失格となりスタートすることができなくなる。
- コース走行時の平均速度は原則として 20km/h 以下とする。
- ライダーには全コースを走破するための時間が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 全コースを走り終えたライダーはゴール地点でチェッカーを受け、タイムチェックを受けなければならない。



技は冴えても持ち時間をオーバーすると失格となる



※ セクション設定について

各ライダーのスタートおよびセクション・トライのあり方をスムーズに行なうために、83年よりスタート、ゴールの遅れは失格とすることになりましたが、各セクションの所要時間が現行の約7分の見込時間を約10分として各ヒート（従来はラップ）毎の持ち時間を設定する様充分配慮することになりました。

## 〔9〕 競技の進行

- 1) スタートの合図を受け、初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、オブザーバーによって指示された場合はこれにしたがわなければならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークにしたがっておこなわなければならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げてオブザーバーに合図しなければならない。
- 5) オブザーバーの指示により、速かにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速かにセクション外へ車輛を移動させなければならない。

7) ライダーはセクション内で一切の援助を受けてはならない。ただし、フルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。

8) 競技中、車輛の整備はライダー自身でおこなわなければならない。これに違反した場合は失格となる。

競技中、事故を起した場合や車輛の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速かに役員に申し出なければならない。

## 〔10〕 ペナルティ

1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。

- |             |       |
|-------------|-------|
| (1) クリーン    | 0点    |
| (2) 足つき1回   | 1点減点  |
| (3) 足つき2回   | 2点減点  |
| (4) 足つき3回以上 | 3点減点  |
| (5) 失敗      | 5点減点  |
| (6) 放棄      | 10点減点 |

2) タイムキーピングによるペナルティは次のとおり課せられる。

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| (1) 予定されたスタート時間に遅れた場合 | 失格 |
| (2) ゴールタイムチェックの遅れ     | 失格 |

## ☆トライアルタイヤ公認規格

トライアル競技に使用するタイヤは下記各項をみだし、MFJに公認申請を行ない、承認されたものでなければならない。

A:トレッドの深さ

トレッド面に直角に測って13mm以内であること。同一円周のすべてのスタッドの深さは同一であること。

B:トレッドの幅

タイヤの幅方向では9.5mm以内であること。

C:トレッドの幅

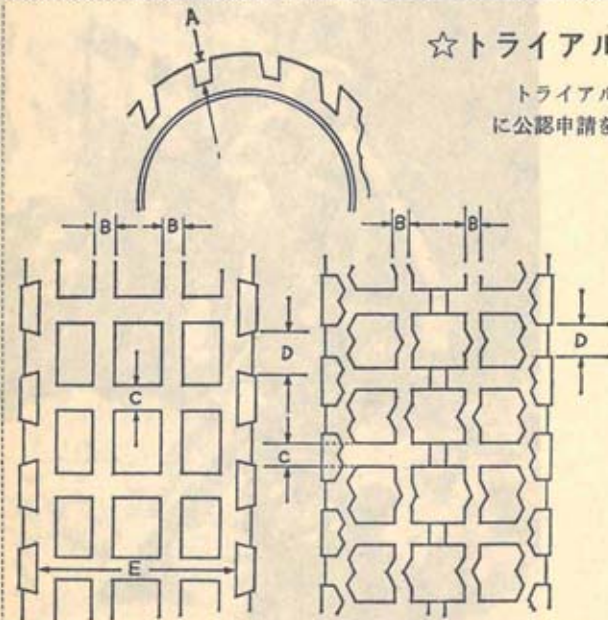
タイヤの円筒方向では13mm以内であること。

D:肩部スタッドのスペース

22mm以内であること。

E:トレッドのさしわたし寸法

タイヤウォールに直角に測った場合、タイヤの全幅に及んでいてはならないが、スタッドによって中断されている場合はこの限りではない。





3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは次のとおり課せられる。

- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| (1) 役員に対する不適当な態度            | 100点減点 |
| (2) セクションにおいて役員の指示に従わなかった場合 | 10点減点  |
| (3) 定められたコースを不適当にカットした場合    | 50点減点  |

注：上記に関してはさらにセクション放棄の減点が加算される。

### [11] ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は次のとおりとする。

#### 1) 足つき

- ライダーの身体のどの部分でも地面に着地した場合。
- 車輻およびライダーのどの部分でも、立木、岩または土の壁面等の障害物にもたれかかった場合。

#### 2) 失敗

- 停止＝前輪が前進を止めた場合。（足をつかなかった場合は停止としない。ただし、ライダーが支えなくても、それ以上車輻が姿勢を変えない状態になった場合は停止とする。）
- 降車＝ライダーが車輻から離れる状態になった場合。
- クロス＝ライダー自身の車輻のわだちに再び触れたり、これを踏みついたり、越えたりした場合。
- マーカー移動＝セクションを表示するものを車輻で破損または移動させた場合。
- セクション・アウト＝車輻の前輪・後輪のいずれか一方でもセクションを表示するものの外側を通過した場合。および迂回した場合。
- 援助＝第三者の援助を受けた場合。

#### 3) 放棄

- セクションを走行しなかった場合。

### [12] 競技結果

- 総減点数の少ないものから順位を定める。
- ワンデイトライアルの場合は、原則として当日の競技結果の発表を公式とする。
- 2日以上にわたって競技が行なわれる場合は、競技終了日より一週間以内に公式結果が発表される。

### [13] 同点者の判定

- 同点者の判定は、次の判定順序に従っておこなう。
  - クリーン数の多い者を上位とする。
  - 1点減点の多い者を上位とする。
  - 2点減点の多い者を上位とする。
  - 3点減点の多い者を上位とする。
  - 以上によって決定できない場合は同位とする。
- 主催者の権限によりスペシャルステージ等で判定する場合もある。

### ●トライアルの減点は

0-1-2-3-5-10

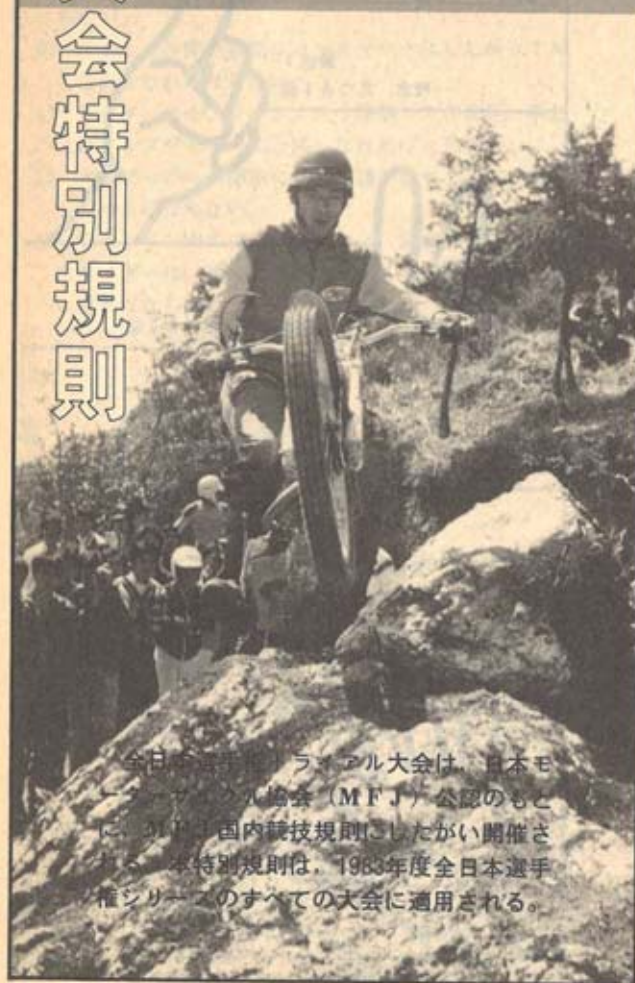
トライを放棄すれば減点10/ それ、ゴー





# '83全日本選手権大会特別規則

## トライアル



全日本選手権トライアル大会は、日本モーターサイクル協会(MFJ)公認のもとに、国内競技規則に基づいて開催される。本特別規則は、1983年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。

### 特別規則の内容

- [1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間……………71
- [2] 公式通知、タイムスケジュール……………70
- [3] 開催種目……………70
- [4] 運営実行組織……………70
- [5] 参加者およびライダー……………71
- [6] 出場申込み……………72
- [7] 出場料およびMFJ選手共済費……………72
- [8] 賞および得点……………72
- [9] 出場車輛……………72
- [10] 競技者番号(ナンバー)……………72
- [11] ライダーの装備……………72
- [12] ガソリンおよびオイル……………72
- [13] 出場受付……………72
- [14] 車輛検査……………72
- [15] ライダー……………73
- [16] 練習……………73
- [17] スタート……………73
- [18] ゴール……………73
- [19] 車輛保管……………73
- [20] 競技会の延期、中止およびうち切り……………73
- [21] 抗議……………73
- [22] 参加者の遵守事項……………73
- [23] 本規則の違反、裁定……………73
- [24] 本規則の解釈……………73
- [25] 本規則の施行……………73

#### [1] 83年度の開催競技会(次頁参照)

#### [2] 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

#### [3] 開催種目

##### 1. オブザベーション・トライアル

付則3[1](65頁)参照。

- 1) 全日本選手権の対象部門は、国際A級部門および国際B級部門とする。ただし、大会当日ジュニア部門の地方大会が開催されることもある。
- 2) セクション数およびタイムキーピングの方法については、公式通知に示される。
- 3) 日本グランプリ大会はジュニア部門選抜競技がおこなわれる。

#### [4] 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。



## 〔1〕 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

\*'83全日本選手権シリーズはグランプリを含め下表の7戦でおこなう。

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開 催 場 所	出場申込み期間
2月13日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 関西トライアル大会	MFJ 関西トライアル委員会 〒675 兵庫県加古川市野口町良野 261-3 ☎0794(23)2335	奈良県 生駒バイアルス パーク (旧生駒テック)	1月14日(金) 1 24日(月) 消印有効
3月6日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 中部トライアル大会	MFJ 中部トライアル委員会 〒470-01 愛知県愛知郡東郷町諸 輪字東脇59-99 鈴木唯一気付 ☎05613(8)0736	岐阜県 土岐トライアル場	2月4日(土) 1 15日(月) 消印有効
4月10日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 四国トライアル大会	MFJ 四国トライアル委員会 〒770 徳島県徳島市本町3-8 ホンダ二輪徳島内 ☎0886(54)2233	徳島県 美馬郡美馬町 吉野川	3月11日(金) 1 22日(火) 消印有効
5月22日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 関東トライアル大会	MFJ 関東信越トライアル委員会 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(472)6241	栃木県 鶏頂山スキー場	4月22日(金) 1 5月2日(月) 消印有効
7月3日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 北陸トライアル大会	MFJ 北陸トライアル スポーツ委員会 〒930 富山県富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内 ☎0764(24)6420	富山県 極楽坂スキー場	6月3日(金) 1 6月13日(月) 消印有効
9月25日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 東北トライアル大会	MFJ 東北トライアル委員会 〒982 宮城県仙台市長町3-3-9 ホンダ宮城販売社内大友克人気付 ☎0222(47)0123	秋田県 荒川鉾山跡地	8月26日(金) 1 9月5日(月) 消印有効
11月6日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 第11回日本グランプリ トライアル大会	日本モーターサイクル協会 (MFJ) 〒104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル ☎03(561)8566	山形県 栗子 国際スキー場	9月27日(火) 1 10月7日(金) 消印有効

## 〔5〕 参加者およびライダー

## 1. 参加資格

- 1983年版MFJ国内競技規則、総則〔4〕(22頁)に合致していなければならない。
- 日本GP大会以外の大会では、国際A級部門および国際B級部門のみとする。ただし地方大会として併催されるジュニア部門はこの限りではない。
- 日本グランプリ大会の参加資格
  - ジュニア部門 9月25日までの各地方選手権ランキング上位の者で次に示す人数。

北海道=4名 東北=8名 関東=15名  
中部=10名 北陸=3名 関西=10名  
中国=3名 四・国=5名 九州=10名

- 国際B級部門。9月25日までの各地方選手権ランキング上位の者で次に示す人数。

北海道=4名 東北=10名 関東=15名  
中部=10名 北陸=3名 関西=15名  
中国=5名 四国=10名 九州=10名

注：地方選手権シリーズには、大会ごとに総則〔8〕(23頁参照)に示された得点が与えられ「全日本選手権ランキングの決定の方法」(86頁参照)に準じて地方選手権ランキングが決定される。(他ブロックに所属する者にも得点は与えられ参加した地方選手権ランキング成績として認められる。)

例：関東に所属するライダーが中部選手権シリーズ戦に得点を取り、中部選手権ランキング上位10名に入れば、参加資格が得られる。



## [6] 出場申込み

1. 全日本選手権シリーズ大会出場申込み書（ジュニア部門の地方大会併催、日本GP各地方選抜者用も含む）に必要な事項を記入の上、出場料およびMFJ選手共済費を添えて提出しなければならない。

### 2. 参加定員

- 1) 特に定めがないが、併催ジュニア部門については主催者の判定により制限される場合がある。
- 2) 日本グランプリ大会については参加資格に示された選抜規定による。

## [7] 出場料およびMFJ選手共済費

出場料：国際A級部門	7,000円
国際B級部門	6,000円
ジュニア部門(地方大会併催時)	6,000円
(MFJ選手共済費 200円を含む)	

## [8] 賞および得点

### 1. 賞

- 1) 付則3. トライアル規則[3] (65頁参照) にもとづいて授与される。  
その他の賞の詳細は公式通知に示される。
- 2) 国際A級、及び国際B級部門全日本ランキングの得点。  
(1) 得点は総則[8]の1., 2. (23頁参照) によって与えられる。  
(2) 日本グランプリトライアル大会については、上記の得点にさらに3点が加算される。  
(3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。  
(4) その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法 (86頁参照) に示される。

## [9] 出場車輛

車輛は、付則3[4]2. および3. (65, 66頁参照) を遵守しなければならない。

## [10] 競技者番号 (ナンバー)

- 1) 国際A級、国際B級部門のライダーには年間指定ナンバーが割当てられる。(ライディング83年2月号=No.152号参照)
- 2) 併催する他部門のライダーには主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。

3) 主催者から特に指示がない場合は、車輛検査までに規定の書体および色分けでナンバーを記入しなければならない。

4) ナンバーの状態は、車輛検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

5) 競技中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せず、また間違ったゼッケンを装着して走行した場合は、そのトライは記録されない。

## [11] ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメットは、付則3[5] (67頁参照) による。

## [12] ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは総則[12] (25頁参照) による
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された場合は、当該ガソリンを使用しなければならない。

## [13] 出場受付

1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。  
2) 出場受付は、定められた時間内に、かならずライダー本人が出頭し、運転免許証 (または、自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可)、MFJライセンス、健康保険証、参加受理書を提示して、当日の出場資格を確認しなければならない。

3) 運転免許証 (または、自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可) を所持していない者は原則として出場が認められない。

4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金 (3,000円) を支払い、更にその場でMFJ登録料、ライセンス料を支払い、仮登録しなければならない。

なお、後日MFJ事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

## [14] 車輛検査

1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、競技開始前にパドック内の車輛検査区域においておこなわれる。

2) ライダーはタイムスケジュールに示された時間内に、必ずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査



委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。

- 3) 車輛検査への持込み台数は1台に制限される。
- 4) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車輛は、一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輛の検査をおこなうことがある。

## 〔15〕 ライダー

- 1) ライダーおよび出場車輛の変更は原則として認められない。ただし総則〔14〕(25頁参照)に該当する場合は出場受付終了以前に手数料5,000円を添えて申請し、チーフオブザーバーの許可を受けなければならない。

## 〔16〕 練習

大会当日コースおよびセクションのいかなる場所においても練習は禁止される。これに違反したライダーは失格とする。

## 〔17〕 スタート

- 1) 原則としてスタート順位は抽選によって決められる。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは失格となりスタートすることができなくなる。

## 〔18〕 ゴール

1ヒート毎に持時間が決められ、ヒート毎のゴール時間に遅れたライダーは失格とする。

## 〔19〕 車輛保管

- 1) 車輛検査後スタートまで、またゴール後主催者から保管解除の通知があるまで、指定された区域に保管される。
- 2) 入賞車は、暫定結果発表後原則として30分以上保管され、必要に応じて検査される。

## 〔20〕 競技会の延期、中止およびうち切り

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) 大会は、大会審査委員会が、特別な理由によって競技の延期または放棄しなければならないと判断したときに限り競技を延期または中止される。
- 3) 大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、保険料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## 〔21〕 抗議

- 1) 抗議は、総則〔21〕(27頁参照)による。
- 2) 車輛の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。

## 〔22〕 参加者の遵守事項

ライダー、エントラントなど参加者は次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会は、MFJ国内競技規則にのっとりおこなわれる。参加者はすべての行動に対して責任をとらなければならない。
- 2) 参加者はすべて本競技会特別規則にのっとり行動すること。従って、違反者には5,000円の罰金か、または失格、さらには退場に至る罰則が課せられる。
- 3) 国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員の指示にしたがい、かつ公道上では交通法規を守らなければならない。
- 4) 参加者は常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 5) 参加者は競技期間中、飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 6) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、MFJトライアルライセンスを必ず携帯しなければならない。

## 〔23〕 本規則の違反、裁定

本規則に対する違反の認定は大会審査委員会によって判断され、違反者には罰則が適用される。裁定後はいかなる理由といえどもこれにしたがわなければならない。

## 〔24〕 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑申立てができる。なお、質疑申立てに対する解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## 〔25〕 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。  
なお、本規則に示されていない事項は、MFJ国内競技規定による。

昭和58年1月1日

大会事務局長



# Mini

## ミニバイク競技会 指導要綱〔総則〕

日本モーターサイクル協会(MFJ)は、本競技会の国内管理体制と、モータースポーツ管理の必要に鑑み本指導要綱を定める。すなわち、健全な競技会を育成して、各競技の適切な規則を作成し、公平な競技プログラムと、競技に際しての安全性を促進することである。

この規則は、すべての人が安全性に関心を持つようにするため制定するものであるが、この規則にしたがうのは主催者の義務である。さらに、競技への参加者は、規則および安全性を適切に評価したうえで競技に参加しなければならない。

### 〔1〕 適用の範囲

本ミニバイク競技規則は、ミニバイク競技会に適用されるが、この規則に関連する全般の解釈は、MFJ国内競技規則にもとづき競技会主催者の判定および解釈を最終のものとする。

### 〔2〕 ミニバイク競技の規則

#### 1. ミニバイク競技車輛

ミニバイクとは、17インチ以下のホイール(リム)を装着した、エンジン排気量80cc以下の車輛をいう。このミニバイクには一般市販の通常型とスポーツ専用型がある。

#### 2. クラスの区分

クラス区分は50ccと80ccの2クラスとする。

クラス	最小排気量	最大排気量
50cc	—	50ccまで
80cc	51cc	80ccまで

#### 3. 参加資格

ミニバイク競技会に参加し、出場するライダーの資格は16歳以上のMFJ会員Bライセンスを所持している者とする。ただし、20歳未満の者については親権者、もしくは保護者の同意承諾書を提出しなければならない。

#### 4. 参加受理

参加申込み書および参加料(保険料を含む)の受領をもって参加を受理する。また、いったん受領した参加料はい

かなる理由があっても返却しない。

#### 5. 男女の同一性

ミニバイク競技、または行事の参加について“性による差別”はつけられない。すべての参加者は、同一のルールのもとに、規則に定められた適切なクラスで競技しなければならない。

### 〔3〕 出場者の区分およびレース区分

出場者の区分は初心者のビギナー、中級技量をもったノービス、上級技量を備えるエキスパートの3段階に分け、ビギナーおよびノービスはBライセンス所持者とする。ただし、ビギナー部門の参加は優勝経験者を除く。またエキスパート部門はノービス、ジュニア、国際Aまたは国際Bのライセンスを所持するものに限られる。(次ページの表参照)

### 〔4〕 改造の限度

車輛は、すべてMFJ公認のものでなければならない。

#### 1. ビギナーおよびノービス

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ17インチ以下の一般市販モデル(スポーツ専用型も含む)車で、改造はいっさい認められない。

#### 2. エキスパート

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ17インチ以下の市販されている車輛であること。

- 1) エンジン公認されたものでなければならないが、改造は、冷却方式の変更を含んですべて自由とする。
- 2) 車体の改造については、ミニバイクの限度を超えてはならない。



## 〔5〕騒音規制

騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

- 1) 車輛には、有効かつ外見ですぐにマフラーと分かる消音器が装着されていなければならない。
- 2) ビギナーおよびノービス部門については、マフラーの改造はいっさい認められず、騒音も車輛の公認された状態のままでなければならない。

- 3) 騒音はFIM（国際モーターサイクリスト連盟）方式による測定方式で、110db(A)以下でなければならない。
- 4) FIM方式とは、排気出口の後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークエンジンで11m/s、2ストロークエンジン13m/sでに達するエンジン回転のときの騒音測定方法である。

資格	クラス	条件	ライセンス
ビギナー (初心者)	50cc 80cc	16歳以上の初心者を対象とする（優勝経験者は参加出来ない）	Bライセンス所持者
ノービス (中級者)	50cc 80cc	上記よりの移行者、及び主催者が出場を認めた者を対象とする	Bライセンス所持者
エキスパート (上級者)	50cc 80cc	上記よりの移行者、及びノービス以上のライセンス所持者	ノービス ジュニア 国際A、B } ライセンス所持者

## ●これがミニバイクの規定だ

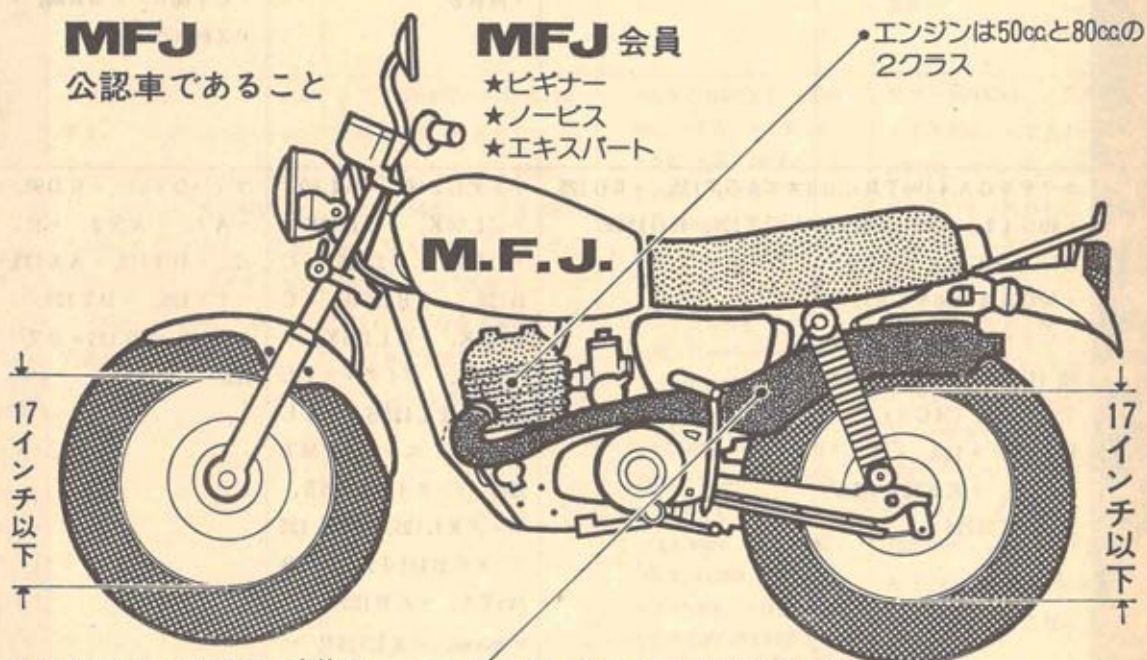
MFJ

公認車であること

MFJ 会員

- ★ビギナー
- ★ノービス
- ★エキスパート

エンジンは50ccと80ccの  
2クラス



リム径17インチ以下で、車体の改造は、いわゆるミニバイクの限度を越えてはならない

- 一見してマフラーとわかるもの
- ★ビギナーおよびノービス部門はマフラーの改造は不可



# M F J 公認車輛

## ●一般市販車

C.C	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
50 cc		スズキRG50E	ベンリイSS50, *CB50 JX-1(CB50J), ダック スホンダST50, ホンダX E50, *XE50-II, バイ アルSTL50, ホンダモン キー, ホンダゴリラ, ホン ダMB50, *MT50, *X L50S, MBX50	ヤマハMR50, *FX50, *RD50, *TY50, ミニ G50, *GR50, ミニトレ GT50H, ヤマハMR50II, *RD50S, *RD50SP, *RX50スペシャル, *Q B50, *QA50, *RZ50 *DT50
80 cc		スズキRG80E	ホンダCL65, ダックスホ ンダST70, ホンダXE75, *XE75-II, *XL80S, *MB8	メイトV70S, (D, ES, ED), ヤマハTY80, ヤマ ハミニGT80, *GR80, *GT80II, *MR80, * RX80スペシャル
125 cc	カワサキGA4(90TR), *90G1L, *90GA1(90 S), *90GA2(90SS) *90GA3(90SSS), *G8S, *G6, *KE 90(G6), *KC90(G8 T), *KM(MC1), * B1-T, *120, *B1, KC125, *KE125(KS 125), KH125	スズキGT125, *RG125, *GT125, RG125E	ホンダCS90, *SL90, *CL90K, *SL90K, *CB90, *CL125, *C B125, *CB125S, *C D125K, *CL125K, * CB125, バイアルSTL 125, *TL125S, *TL 125K2, エルシノアMT 125, ベンリイSL125S, ホンダXL125, *XL125 S, *CB125JX, *CB 125T1, *CB125JX, *ihatovo, *XL125R *CB125T	ヤマハDT90, *RD90, *A7, *AS2, *RD 125, *DT125, *AX125, *TY125, *DT125, * SR125, XT125 *RZ 125



## ●一般市販車

CC	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
250 cc	カワサキ175B11L, * B 11TL, * 250SS, * K H250, * KL250A, * Z 250FT	スズキGT250, * GT185, * RG185, * RG250, R G250E, GSX250-E, * GSX250T	ホンダCB175, * CL250, * CB250, * エルシノア MT250, ホンダTL250, * XL250, * CB250T, * XL250S, * CB250R S, スーパーホーク, CB 250RS-Z, SILK RO ADCT250S, XL250R 250T MASTER, 250T LA CUSTOM, * VT 250F	ヤマハRD250, * トライ ルTY250J, * TY175, * GX250, * GX250SP, SR250, * XS250スペシ ヤル, * RZ250, * XT250 * XS250
350 cc	カワサキ350SS, * F5 (350-TR), * S2T*		ホンダCL350, * SL350, * CB350	ヤマハRX350, * RX350 PRO, * RD350, * RZ 350
750 cc	カワサキ500SS, * 650 W1, * 650スペシャル, * 750SS, * Z2, * H 1, * S3, * KZ400, * Z400, * KH400, * Z750 TWIN, * 750FOUR, * Z650, Z400LTD, * Z400FX, * KZ750R	スズキGS400, * GS750, * GS550, * SP370, * GL400, * GSX400E, GSX750E, * GN400E * GSX400L, * GSX 400F, * GS650G, GS 750GL, GSX400T * GSX750S * インパルスGSX400FS	ホンダCB450K1, * CB 500, * FII, * CB750, * F2, * CJ360T, * C B400F, * FI, * FII, * CB500T, * CB500F, * K3, * C750K7, * FII, ホークCB400T, ホンダGL400, ホークII, * III, スーパーホークIII, ホンダCB750K, * 750F, * CB650, * CM400T, * XL500S, * WING GL 400, * WING CUSTOM GL400, CBX400F * XL400R, * FT400 * CX-EURO, * FT500 * SABRE, * MAGNA, * CB750F INTEGRA * CBX500F, INTEGRA VF400F VF750F NV750CUSTOM	ヤマハ650XS1, * TX500, * TX650, * TX750, * DT400, エンデューロXT 500, ヤマハRD400, * G X500, * GX750, * GX 400, * GX400SP, * S R400, * SR500, * XS 650スペシャル, * XS750 スペシャル, * XJ400, * XS400スペシャル, * XJ 650スペシャル, XV750ス ペシャル, XJ400D, XJ 400スペシャル, XJ750E, XJ750A, XV750E, XV750A, XZ400, XT400



●ロードレーサー

C.C.	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
125 cc			ホンダMT125R (325) ホンダMT125R-II ホンダMT125R-III ホンダ・アール・エス・シー RS125R-W, RS125R	ヤマハTA125 ヤマハTZ125
250 cc			ホンダRS250R	ヤマハTZ250 (430) ヤマハTZ250-II (430) ヤマハTZ250-III ヤマハTZ250W
350 cc ↓ 500 cc		スズキRG500 スズキRGB500		ヤマハTZ350 (430) ヤマハTZ350-II ヤマハTZ350-III ヤマハTZ350W ヤマハTZ500

●モトクロス(※=トライアラー)

50 ↓ 80 cc	カワサキKX80, KX80D カワサキKX80F	スズキRM50 スズキRM80	ホンダXR80 ホンダCR80R	ヤマハYZ50 ヤマハYZ80
100 ↓ 125 cc	カワサキKX125 カワサキKX125A カワサキKX125B	スズキRM125	エルシノアCR125M エルシノアCR125M1 ホンダCR125M2 ホンダCR125M3 ホンダCR125R	ヤマハYZ125III, IV ヤマハYZ125(2Y5, 3N8) ヤマハYZ125
175 ↓ 250 cc	カワサキF21M カワサキKX250 カワサキKX250A カワサキKX250B カワサキKX250C	スズキRM250	エルシノアCR250M エルシノアCR250M1 ホンダCR250R ホンダXR200R ※ ホンダRSC RS200TS	ヤマハYZ250 -II (509) ヤマハYZ250III ヤマハYZ250IV ヤマハYZ250
350 ↓ 500 cc		スズキTM400		

●トライアラー ( )内は一般市販車

カワサキKT250	スズキRL250L (スズキトライアルRL250)	(バイアルSTL125) (バイアルSTL125K2) (バイアルSTL125S) ホンダTL250 (バイアルSTL50) ホンダTL200R ホンダTL200R-II ホンダTL220R-II ホンダRS200T	(ヤマハTY50) (ヤマハTY80) (ヤマハTY125) (ヤマハTY250J) (ヤマハTY250-II) (ヤマハTY175) (ヤマハTY50-II)
-----------	------------------------------	--	--



## MFJ公認輸入車輛

C.C.	スウェーデン	チェコ	イタリア
125 cc	ハスクバーナ125CR		モリビデリMBA145 (前モリワキエンジニアリング) マランカ125E2C (日新通商株)
250 cc	ハスクバーナ250CR	ヤワCZ250 (仮公認)	ベネリ250QUATTRO (株成川商会)

## FIM公認車輛

カテゴリー	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
Formula 1	KZ650 KZ750 KZ750(Z2) KZ1000J	GS1000S GS1000E GSX750EX PE400 GS650GZ GS650EZ GSX750SZ GSX1000SZ	CB650(RCO3) CB750FZ(RCO4) CB900C(SCO4) CB650(RCO3) CB900F, CB750K CB900C(SDO4) CB750F2, VF750S CB750F Z(RCO4)	XS850, RD400E XV1000, XV920 XJ750, XJ650 IT425, XS650SP XV750
Formula 2	KZ500 KZ550	DR500SZ, GS500E GS550M, GS550E	CB550F2, CX500 XR500R, XL500R FT500, CBX550F II	XJ550, SR500 XT500, RD350 XT550, XZ550
Formula 3	KZ400	GSX250EX, GSX400E GSX400F, DR400S GN400L	CB400N CB400F1 CBX400F	RD250, SR250 XT250, XJ400 XS400

## ●(フォーミュラ750レース用)

銘柄	年式	車名	排気量cc	銘柄	年式	車名	排気量cc
B.M.W.	61	R69S	590	Moto-Guzzi	70	Ambassador mba	750
	70	R75/5	745		M.V. Agusta	70	M.V4C7
	73	R75/6	745	Norton		62	Atlas
B.S.A.	62	A65 Royal Star	650		64	Scrambler	750
	64	A65-1T Thunderbolt	650		67	P-11	750
	64	A65-2L Lightning	650		71	Commando *S*	745
	64	A65-2SPH Hornet	650		76	Challenge	747.58
	69	A75 Rocket3	749		Suzuki Norton		Export
	71	A75V	740			Commando	750
71	A70L	750		Command Racer		750	
Ducati				Triumph	63	TR6C/TR6R	650
Dunstall Goegebeur & Vigoni	74	GILA/Kawasaki	750		69	Trident T150	750
					70	T120/RT	750
					71	T150V	740
H・D	52	KR	750		Bonneville	650	
	52	KRTT	750	Konig	76	VDM	680
	70	XR	748				
	71	XR750	749	Laverda		SF	750



## M F J 公 認 部 品

● 川崎重工業(株)

G A キットパーツ  
 K A 1 レーシングパーツ (ブレーキ)  
 K A 2 レーシングパーツ  
 H 2 レーシングパーツ  
 Z 2 用オイルクーラーアッセンブリー  
 Z 2 用前輪右ディスクブレーキ

● 鈴木自動車工業(株)

R G 500 スペシャル R C U

● (株)ホンダHRC

C B 90, C B 250, C B 350, C B 750, キットパーツ  
 C B 125 S 用 6 速ミッション  
 C B 125 用フロントおよびリヤブレーキ  
 C B 350 用 6 速ミッション  
 M T 125 R 水冷エンジンキットパーツ

● (有)モリワキエンジニアリング

水冷シリンダーキット, ホンダJX125用MRE,  
 ホンダMT125用水冷キットパーツ(NeW100-01)

● 野口モータース(株)

YZ125用水冷シリンダーキットMX用NSW-1, RR  
 用NSW-2

● (株)ヨシモト

T Z 125 ミッションキット

● (株)無限

CR125R用エンジンパワーアップキットME125RZ  
 CR125R用エンジンパワーキット (シリンダー)  
 ムゲンME125A 1 スーパープロキット  
 ムゲンME250A 1 スーパープロキット  
 ムゲンワークスME125W水冷キット  
 ムゲンワークス水冷BANZAIキット  
 ME250WIムゲンワークス水冷スーパープロキット

● テクニコムミスターヒロ

カワサキK H 125用水冷キットパーツ  
 カワサキK H 125用トランスミッションセット

● 岩道モータース

カワサキKX125用水冷キットパーツKX125AW

## M F J 承 認 部 品

● 萱場工業(株)

リヤクッションユニット TSシリーズ(オイル複筒調整式)  
 " TS-Sシリーズ(オイル複筒調整式)  
 " MGSシリーズ(ガス封入単筒調整式)  
 " MGS-Sシリーズ(ガス封入単筒調整式)  
 " MGシリーズ(ガス封入単筒式)  
 " MSシリーズ(オイル複筒式)  
 " SSシリーズ(オイル複筒式)  
 " SGSシリーズ(一体形別タンク付ガス  
 封入複筒調整式)

● ライダースポットタイチ

フォクスエアショックス (MX用)  
 オーリングスショックス (MX用)

● (株)極東

コニー・リヤクッションアブソーバ (油圧式KONIス  
 ペシャルD)

● (有)極東精機製作所

クリーニングキャップ(160×60, 125×60, 115×60)

● (株)無限

ムゲンSHOWAワークスフロントフォークキット



## MFJ公認トライアルタイヤ

## ●(株)日本ダンロップ

TRIALS UNIVERSAL

2.75-21, 3.00-21, 3.50-18, 4.00-18

## ●横浜ゴム(株)

トレールスポーツ

2.50-18, 2.75-18, 2.75-19, 2.75-21, 3.00-18,  
3.00-19, 3.00-21, 3.25-18, 3.25-19, 3.50-18,  
4.00-18各4 PRY620

## ●日本ミシュランタイヤ(株)

MICHELIN TRIAL COMPETITION

2.75-21, 4.00-18

## ●井上タイヤ(株)

井上トライアルタイヤ

2.75-19, 2.75-21, 3.00-18, 3.00-21, 3.25-18,  
3.50-18, 4.00-18

## ●輸入タイヤ

ビレリ・モト・トライアル2.75-21, 4.00-18

(仰モータースポーツクシタニ)

メッツラー・トライアル3.00-21, 4.00-18

(株)アオイトレーディングカンパニー)

メッツラー・トライアルC2.75-21, 4.00-18 (株)岡田商店)

## MFJ公認ヘルメット

(株)新井広武	マルシン工業(株)	昭栄化工(株)		クノー工業(株)	(株)コミネ オートセンター
R-7G	M-38, 52, 450	H-1	VR-5	PS-R32	KH-25, 56
CLCRX-7	DX-6	PS-J31	PS-L32	PS-R36	KH-100, 808
RS-Z	インディ-500	PS-L33	GX-R	PS-R37	UVEX
S-70	ゼネラル	PS-L34	GX-Rcustom	PS-R38	Racing Jet
X-1	MV-1, 1DX	SR-X7	GR-X	PS-R39	UVEX
X-75	MV-75	SR-Z	ES, ES-2	WAYNEGA	Monte Carlo
S-75	MG-MOTO	SR-G	PS-J32	RDNERV-II	UVEX
M-X	DAYTONA	SR-T	PS-J33	Z-100	Champion
F-X	MG-STAR	SR-X	PS-J34	PS-LO2	
チャレンジャース	MV-ZDX	newSR-X7	PS-L35	ER-7	
アバンティ	FALOM, MZ-80	RC-1, 2	HF-7, 8, 9	INTEROER	
ASTRO	MG-80, IMPERIUM	PS-R31	MR	ARMET	(株)植東
クーリーレブリカ	BEETLE, MZ-F	ZR, ZV	newGV	ER-II	ノランスベスライダ ノランN31, 32, 19
シングルトレブリカ	MZ-GX, IBEX	ZX, ZE	KATAYAMA	GP	ノランN31, 32, 19
スペンサーレブリカ	ALTUS	GR-Z	SR-6	RG-8	BELL MAGNUM
CLCR-7	(株)ジャパントレー ドアソシエーション	EX-2, 5	RS-L31		BELL MAGNUM III
本田技研工業(株)パーツセンター	AGVX-3000	ユニコ(有)	ワールド通商(株)		BELL MOT03
BELL STAR-II		GPA-G1, 2	KIWI-K-7,		BELL R-T
BELL MAGNUM-II		GPA-G4	8, 10		BELL TOURSTAR
ライダーズスポットタイチ		(株)岡田商店			立花自動車用品
NAVA II		SIMPSONモデル52, 62			GTX-1
					GTX-2
					YF2000
					YC1500



# MFJ公認普及型ヘルメット

(株)新井広武	クノー工業(株)	(株)ジャパントレードアソシエーション	マルシン工業(株)
TL-1, TL-3	UVEX-TRIAL	AGVX-70, AGVX110	M-130, M-230, M-250, M-37, M-800
TL-8, R-2, R-10, RS-10, TX-7	昭栄化工(株)	(株)コミネオート・センター	日栄プラスチック(株)
	SV, L5, TR-1	FUJI-100, FUJI-300	FS-100, CS-500, CS-600
日新通商(株)	(株)リード工業	Z-5000, NT-1	(株) 極 東
JEB'SJET	RX-200, RT-10	メット工業(株)	ノラン ジェット, ノランNo2
(株)立花自動車部品		F-1, F-2, K-3, K-70, K-110, K150	ノラン インテグラレー
GT-200, カスタムGTI, カスタムF500		KX-1, KX-1NASA, F-1NASA	ノラン ジェットミニ

## '82国際A級ランキング

### ロードレース

125ccクラス					250ccクラス				
順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名	順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名
1	99	一瀬 憲明	中部	チームH.R.C.	1	144	福田 照男	関西	プレストMRC
2	127	富田 英志	中部	鈴鹿レーシングチーム	2	97	石出 和之	関東	トガシ・エンジニアリング
3	124	山本 陽一	中部	鈴鹿レーシングチーム	3	122	斉藤 光雄	関西	チーム・カナヤ
4	38	江崎 正	関西	チーム・カナヤ	4	102	橋渡 治	中部	スターズRC
5	132	奥村 裕	中部	ブレイメイトレーシングチーム	5	110	竹村 浩生	関東	ブルーヘルメットMSC
6	143	五百部徳雄	関東	テクニカルスポーツ関東	6	154	藤田 謙一	関東	ヤング・ハニービー
7	125	欽本 久	関東	テクニカルスポーツ関東	7	130	石川 昌彦	関東	チーム・クリモト
8	55	鯉沼慶次郎	関東	ブルーヘルメットMSC	8	26	若菜 博	関東	トガシ・エンジニアリング
9	145	斉藤 克己	関東	野田ジュニアRC	9	147	寺田 光良	関東	レーシングチーム・スウィング
10	53	横井 猛	中部	鈴鹿レーシングチーム	10	64	須田 明	関東	埼玉イナレーシング
11	59	渡辺 請夫	関東	PGレーシング	11	134	古屋喜一郎	関西	フライング・ドルフィン
12	140	岩岡 忠夫	関東	野田ジュニアRC	12	5	毛利 良一	関西	チーム・カナヤ
13	104	岩瀬 孝明	関東	個人	13	141	長谷川嘉久	関西	フライング・ドルフィン
14	153	越山 英利	東北	チーム・バルチ	14	131	竹内 敏也	中部	磐田レーシングファミリー
15	126	小沼賢代子	関東	レーシングチームスウィング	15	96	七尾 道雄	関東	ジン・プライズ・タタレーシングチーム
16	51	築地三千盛	中部	鈴鹿レーシングチーム	16	113	田中 光雄	関東	オート・ルーキー・レーシングチーム
17	128	七五三掛文則	関東	テクニカルスポーツ関東	17	138	池田 直	関東	プレストMRC
18	156	喜多 祥介		チーム・38	18	65	阿部 三吉	中部	チーム・モトスポーツ
					19	119	平塚 庄治	東北	個人
					20	158	西川原 尚	中部	スターズ・RC
					21	142	大越 道雄	中部	名城レーシング
					22	150	今西 雅	関東	ノガロ・レーシング
					23	157	菊地 豊	関東	個人
					24	67	南口 俊彦	関東	チーム・ヤングース
					25	139	酒田 克	関西	チーム・ウエストパワー
					26	31	高橋 良夫	関東	レーシング・ライダーズ



500ccクラス					順位	ゼッケン #	ライダー名	所属	クラブ名
順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名					
					9	89	和歌山利宏	中部	チーム・モトスポーツ
					10	1	木下 恵司	中部	プレイメイト・レーシングチーム
1	8	水谷 勝	中部	SRPJ	11	5	毛利 良一	関西	チーム・カナヤ
2	20	上野 真一	関西	チーム・レーシングスポーツ	12	141	長谷川嘉久	関西	フライング・ドルフィン
3	86	酒井 清孝	関西	チーム・SRSクボ	13	71	山川 守	中部	ウカワR&Mコメット
4	62	平 忠彦	中部	スポーツ・ライダー	14	75	張間 利治	関西	
5	133	島田 進	関東	埼玉イナレーシング	15	79	新井 亮一	関東	ノガロ・レーシング
6	88	伊藤 巧	中部	南海レーシングチーム	16	15	杉本五十洋	関西	マック・ウェスタン
7	11	鈴木 修仁	中部	プレイメイト・レーシングチーム	17	27	權野 雅治	関西	フライング・ドルフィン
8	123	齊藤 仁	東京	ジブライ・タクミレーシングチーム					

## モトクロス

125ccクラス					250ccクラス				
順位	ゼッケン #	ライダー名	所属	クラブ名	順位	ゼッケン #	ライダー名	所属	クラブ名
1	2	大関 昌典	中部	福岡ブルーエンゼルス	1	19	東福寺保雄	関東	東福寺レーシングチーム
2	21	藤 秀信	中部	福岡プレイメイト福	2	5	光安 鉄美	中部	福岡プレイメイト
3	5	山本 勝司	中部	中部SSC	3	1	福本 敏夫	関東	関東うず潮レーシング
4	3	佐藤 健二	関西	千里スポーツクラブ	4	6	唐沢栄三郎	関東	唐沢モーターサイクルC
5	22	立脇三樹夫	中国	米子レーシング	5	10	庄司 覚	中部	レーシングメイトオブ仙白
6	7	伊田井佐夫	関東	東希和レーシングチーム	6	7	野宮 修一	中部	クラブ大関
7	8	竹沢 正治	関東	タケザワバイククラブ	7	8	原口 衛	関東	チェッカーズ
8	27	岡部 篤史	中部	中部SSC	8	2	小田桐昭藏	中部	チーム・ミスターバイク
9	23	月岡 尚人	個人		9	20	吉原 朋正	中部	エルムーンレーシング
10	6	鈴木 秀明	関東	秀明道場	10	3	鈴木都良夫	中部	秀明道場
11	20	杉尾 良文	関西	杉尾レーシングチーム	11	9	市川 哲也	関東	ブルーヘルメットMSC
12	12	谷川龍太郎	関西	杉尾レーシングチーム	12	22	川崎 利広	中部	浜松スクランブル
13	14	谷地 晃実	中部	チーム・スガヤ	13	11	佐藤 浩一	中部	
14	10	瀬戸 康一	中部	クラズ太閤	14	16	秋元 春夫	中部	浜松ランモアレーシング
15	17	金徳 春夫	中部	浜松ランモアレーシング	15	26	中村 義朗	関東	習志野レーシング
16	11	的場 平	関西	チーム・マトパウィングス	16	12	橋田 利明	中部	個人
17	24	小野 明	関東	スピードファイブ・群馬	17	29	大泉 浩一	東北	チーム・スピリッツ
18	29	小野沢良一	中部	テラ・レーシング	18	23	高田 寛	関東	城北ライダーズクラブ
19	16	大塚 保	関東	イシイレーシング	19	30	星野 春男	関東	北関東レーシング
20	28	浅野 政幸	関東	ブルーインパルスRC	20	27	青木 一雄	中国	FFMC岡山
21	31	宮森 正夫	関西	千里スポーツクラブ	21	14	山本 秀人	中国	秀明道場
					22	17	未永 初弘	九州	未永レーシングチーム

## トライアル

順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名	順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名
1	5	山本 昌也	関西	チームHRC	12	01	服部 聖輝	中部	モトスポーツメイト
2	3	小谷 重夫	関西	アキ・レーシング	13	山口 山	山口 山	関東	ダウントウンライダーズ
3	6	加藤 文博	関西	チーム・カトウ	14	149	山本 弘之	中国	サンドヒル・トライアルクラブ
4	1	黒山 一郎	関西	チーム・ナグラレーシング	15	8	近藤 博志	関西	チーム・コンドウ
5	13	工藤 靖幸	関東	エルムーン・レーシング	16	64	児玉 博	関西	京都トライアルメイツ
6	4	伊藤 敦志	中部	チーム・ナグラレーシング	17	25	宮下 誠	関西	九州トライアルクラブ
7	11	山田 和雄	中部	浜松エスカルゴRT	18	38	宇治 章	関西	個人
8	7	井上 一彦	中部	チーム・コンドウ	19	16	飯田 修	関西	個人
9	2	丸山 嵐保	関東	チーム・カントリーライダーズ	20	10	鈴木 章平	中国	岡山トライアルメイツ
10	9	畑山 和裕	関東	エルムーン・レーシング	21	12	木村 治男	中部	トライアルライダーズ
11	17	土本 立春	中部	CTY					



'68~'82 歴代チャンピオン

●ロードレース

年	部 門	ク ラ ス	氏 名											
'68	アマチュア	90cc	角谷 新二	72	ジュニア	250cc	上野 真一	77	ノービス	125cc	佐藤 裕文			
		125cc	鈴木 聖弘			251cc以上	高江 昭孝			250cc	藤本 泰東			
		250cc	大脇 俊夫			90cc	毛利 良一			125cc	川上 浩			
		251cc以上	中山 仁			125cc	大本 十生			250cc	山名 久			
	ジュニア	90cc	酒井 奮吾	エキスポー ジュニア	250cc	片山 敬済	78	ジュニア	125cc	徳外 仁久	79	ノービス	125cc	飯田 謙之
		125cc	森井 一夫		251cc以上	渡辺 富士夫			350cc	鈴木 修				
		250cc	谷口 茂夫		125cc	隔部 孝夫			350cc	毛利 良一				
		251cc以上	菱木 哲哉		250cc	内田 隆			750cc	平野 芳男				
	セニア	90cc	神谷 良明	セニア	125cc	小田 豊	79	ノービス	125cc	上田 幸也	80	ジュニア	250cc	長谷川 嘉久
		125cc	馬場 忠雄		251cc以上	小田 豊			125cc	伊藤 裕之				
		250cc	和田 正宏		90cc	杉野 順三			250cc	伊藤 巧				
		251cc以上	松水 喬		250cc	松山 守			350cc	藤本 泰東				
'69	アマチュア	90cc	野田 正彦	73	ジュニア	250cc	橋本 久仁啓	78	ジュニア	250cc	藤本 公次			
		125cc	斉藤 茂憲			90cc	新田 茂			125cc	上田 公次			
		250cc	中尾 康夫			125cc	坂 公平			250cc	上田 公次			
		251cc以上	数井 隆			250cc	山崎 達衛			350cc	石川 岩夫			
	ジュニア	90cc	角谷 新二	エキスポー ジュニア	350cc	佐藤 順造	79	ノービス	750cc	上野 真一	80	ジュニア	125cc	富田 英志
		125cc	高井 幾次郎		125cc	毛利 良一			250cc	斉藤 光雄				
		250cc	尾崎 俊彦		750cc	片山 敬済			125cc	吉村 俊宏				
		251cc以上	里村 祥二		125cc	角谷 新二			250cc	阿部 三吉				
	セニア	90cc	小田 豊	セニア	750cc	根本 健	79	ジュニア	250cc	平 忠彦	80	国際 A 級	350cc	斉藤 三夫
		125cc	隅谷 守男		90cc	岡崎 隆史			125cc	木下 恵司				
		250cc	金谷 秀夫		125cc	佐藤 健正			350cc	水谷 勝				
		251cc以上	隅谷 守男		250cc	酒井 克			750cc	五百部 徳雄				
'70	ノービス	90cc	岩道 博	74	ジュニア	125cc	柴谷 正昭	80	ノービス	125cc	窪田 正二			
		125cc	柴谷 正昭			125cc	石井 康夫			250cc	山本 陽一			
		250cc	小塚 法経			250cc	橋本 久仁啓			125cc	垣内 清孝			
		251cc以上	鍋田 正明			350cc	鈴木 修			360cc	田中 光男			
	ジュニア	90cc	江崎 正	エキスポー ジュニア	125cc	岩道 博	79	国際 A 級	125cc	一瀬 恵明	81	ノービス	350cc	平 忠彦
		125cc	青山 英二		750cc	阪本 裕介			750cc	鈴木 修				
		250cc	糟野 雅治		125cc	青木 辰己			125cc	荒木 利春				
		251cc以上	只野 光男		750cc	高井 幾次郎			250cc	中山 博文				
	セニア	90cc	近藤 英二	ノービス	90cc	片橋 英治	75	ジュニア	125cc	竹村 浩生	81	国際 B 級	250cc	七尾 道夫
		125cc	小田 豊		125cc	東金 育男			350cc	新井 亮一				
		250cc	大脇 俊夫		250cc	橋谷 俊彦			125cc	一瀬 恵明				
		251cc以上	河崎 裕之		350cc	田口 勝雄			350cc	藤本 泰東				
'71	ノービス	90cc	平井 裕	75	ジュニア	125cc	山梨 保克	81	国際 A 級	500cc	木下 恵司			
		125cc	上田 公次			250cc	酒井 孝治			125cc	藤本 泰東			
		250cc	大橋 富夫			350cc	大鳥 孝治			250cc	藤本 泰東			
		251cc以上	松谷 光明			125cc	相沢 清			500cc	木下 恵司			
	ジュニア	90cc	渡辺 富士夫	エキスポー ジュニア	125cc	石井 康男	76	ノービス	125cc	鎌田 雅樹	82	国際 B 級	250cc	窪田 正二
		125cc	青木 辰己		750cc	江崎 正			125cc	荒木 利春				
		250cc	内田 隆		125cc	浅見 貞男			250cc	小林 大				
		251cc以上	加藤 昇平		750cc	江崎 正			125cc	一瀬 恵明				
	エキスポー ジュニア	90cc	江崎 正	ノービス	90cc	牧野 栄	76	国際 B 級	250cc	窪田 正二	82	国際 A 級	250cc	窪田 正二
		125cc	遠藤 恒雄		125cc	川上 浩			250cc	窪田 正二				
		250cc	中尾 康夫		250cc	木下 恵司			250cc	窪田 正二				
		251cc以上	浅見 貞男		125cc	東金 育男			250cc	窪田 正二				
セニア	90cc	金谷 秀夫	ジュニア	350cc	太田 一博	77	ノービス	250cc	窪田 正二	82	国際 A 級	250cc	窪田 正二	
	125cc	杉本 泉		125cc	飯田 浩之			250cc	窪田 正二					
	250cc	大脇 俊夫		250cc	毛利 良一			250cc	窪田 正二					
	251cc以上	金谷 秀夫		350cc	佐藤 順造			500cc	窪田 正二					
'72	ノービス	90cc	菅原 伸夫	77	ノービス	90cc	鈴木 利彦	82	国際 A 級	500cc	窪田 正二			
		125cc	坂 公平			90cc	鈴木 利彦			500cc	窪田 正二			



## '68~'82 歴代チャンピオン

## ●モトクロス

年	部門	クラス	氏名		250cc	矢島金次郎		250cc	竹沢 正治					
'68	アマチュア	50cc	堀 勇	72	セニア	上野 広一	77	ジュニア	渡辺 義己					
		90cc	堀 勇		ノービス	藤 秀信		125cc	小沢 孝					
		125cc	堀 勇		エキスパート	藤 秀信		250cc	福田 正敏					
		250cc	山下 和男		ジュニア	藤 秀信		125cc	佐藤 健二					
		251cc	山下 和男		ジュニア	小田切信雄		250cc	大泉 浩一					
		50cc	鮫名 博昭		セニア	池田 勝		125cc	瀬尾 勝彦					
	ジュニア	90cc	鮫名 博昭	73	ジュニア	唐沢栄三郎	78	ジュニア	瀬尾 勝彦					
		125cc	西 信之		セニア	唐沢栄三郎		90cc	原本 松市					
		250cc	西 信之		ノービス	唐沢栄三郎		125cc	庄司 覚					
		251cc以上	ロバートE.エーモ		ジュニア	鈴木 秀明		250cc	ジュンパレット					
		90cc	星野 一義		セニア	鈴木都良夫		125cc	佐々木 隆					
		125cc	星野 一義		ノービス	菅家 恵		250cc	佐々木 隆					
'69	アマチュア	50cc	田中 敏夫	74	74	79	80	81	82					
		90cc	多田 茂次							セニア	村上 光則	90cc	斎藤 武男	
		125cc	中里 道夫							ジュニア	菅家 恵	125cc	大久保和親	
		250cc	岩尾 一敏							エキスパート	古田 哲郎	250cc	堀口 雅史	
		50cc	堀 勇							ジュニア	古田 哲郎	125cc	秋元 春夫	
		90cc	佐野 孝司							セニア	古田 哲郎	250cc	原口 衛	
	ジュニア	125cc	鈴木 秀明	75	76	80	81	82	83	84				
		250cc	鈴木 秀明								セニア	岸川 清秀	125cc	光安 鉄美
		90cc	山本 隆								ジュニア	藤 秀信	250cc	光安 鉄美
		125cc	矢島金次郎								セニア	鈴木郎良夫	125cc	光安 鉄美
		250cc	鈴木 忠男								ジュニア	鈴木 秀明	250cc	光安 鉄美
		50cc	一色 薫								セニア	鈴木 秀明	90cc	谷川 徹二
ノービス	90cc	小田切信雄	76	77	80	81	82	83	84					
	125cc	平野 芳男								ジュニア	光安 鉄美	125cc	小野沢良一	
	250cc	青木 雅和								セニア	大賀 広美	250cc	小野沢良一	
	90cc	鈴木都良夫								ジュニア	渡辺 明	125cc	谷川龍太郎	
	125cc	岩尾 一敏								セニア	渡辺 明	250cc	庄司 覚	
	250cc	岩尾 一敏								ジュニア	鈴木 秀明	125cc	東福寺保雄	
ジュニア	90cc	鈴木都良夫	77	78	80	81	82	83	84					
	125cc	吉村 太一								セニア	鈴木 秀明	250cc	杉尾 良文	
	250cc	吉村 太一								ジュニア	鈴木 秀明	125cc	平山 勝一	
	90cc	栗原 和年								セニア	鈴木 秀明	250cc	茶谷 学	
	125cc	栗原 和年								ジュニア	北村 隆資	125cc	岡部 篤史	
	250cc	斎藤 英夫								セニア	青山 金助	250cc	岡部 篤史	
ノービス	90cc	中村 忠	78	79	80	81	82	83	84					
	125cc	種保 竹治								セニア	青山 金助	125cc	東福寺保雄	
	250cc	種保 竹治								ジュニア	東福寺保雄	250cc	福本 敏夫	
	90cc	竹沢 正治								セニア	杉尾 良文	125cc	ロン・キンダー	
	125cc	瀬尾 勝彦								ジュニア	増田 耕次	250cc	馬場 善人	
	250cc	瀬尾 勝彦								セニア	月岡 尚人	125cc	小橋 勝年	
ジュニア	90cc	瀬尾 勝彦	79	80	81	82	83	84	85					
	125cc	瀬尾 勝彦								セニア	月岡 尚人	250cc	小橋 勝年	
	250cc	瀬尾 勝彦								ジュニア	横山 隆夫	125cc	大関 昌典	
	90cc	瀬尾 勝彦								セニア	光安 鉄美	250cc	東福寺保雄	
	125cc	瀬尾 勝彦								ジュニア	青山 金助	125cc	東福寺保雄	
	250cc	瀬尾 勝彦								セニア	鈴木都良夫	250cc	東福寺保雄	

## ●トライアル

年	部門	氏名	年	部門	氏名	年	部門	氏名
'74	ノービス	伊吹 健次	'77	ジュニア	山本 冒也	'80	ジュニア	広木 一美
	ジュニア	近藤 博志		エキスパート	近藤 博志		国際 A 級	丸山 胤保
'75	ジュニア	峰 崇秀	'78	ジュニア	山田 民雄	'81	ジュニア	石原 正美
	エキスパート	加藤 文博		エキスパート	近藤 博志		国際 A 級	黒山 一郎
'76	ジュニア	町田 晴男	'79	ジュニア	佐藤 雄一	'82	国際 B 級	高田 雅孝
	エキスパート	黒山 一郎		国際 A 級	近藤 博志		国際 A 級	山本 昌也



# License

## 全日本選手権ランキング基準 MFJライセンス昇・降格規定

### 全日本選手権ランキング 順位づけ決定の方法

全日本選手権ランキングの順位づけは、次の方法により決定される。

- 1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大なるものから順位を決定する。  
ただし、30点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
- 2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多いものが上位となる。
- 3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- 4) 上記3)で決定できない場合、MFJ資格審査委員会において最終決定する。

### ☆ライセンス昇格規定

MFJライセンス資格は、MFJ公認のもとで開催されるモーターサイクル競技の公正を期するために、前年度の成績により次のような昇格基準にもとづいて決定される。

なお成績対象の期間は前々年度の11月から前年度の10月末日までの12ヵ月間とする。

### ●ロードレース

1. ノービス部門から国際B級部門
  - 1) 全日本選手権シリーズ大会において得点10点以上の成績を得た者。
  - 2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
  - 3) そのほか資格審査委員会が認めた者。
2. 国際B級部門から国際A級部門
  - 1) 全日本選手権シリーズ大会において得点30点以上の成績を得た者。
  - 2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

### ●モトクロス

1. ノービス部門からジュニア部門
  - 1) 地方選手権大会以上のレースにおいて各地方で下記に示す得点以上の成績を得たもの。

北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州
20	20	15	15	20	20	20	20

- 2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
- 3) そのほか資格審査委員会が認めた者。
2. ジュニア部門から国際B級部門
  - 1) 全日本選手権シリーズ大会において得点20点以上の成績を得た者。

- 2) 地方選手権大会以上のレースにおいて各地方で下記に示す得点以上の成績を得たもの。

北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州
50	50	30	30	50	50	50	50

- 3) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～6位までにランクされた者。
- 4) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
3. 国際B級部門から国際A級部門
  - 1) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～5位までにランクされた者。
  - 2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

### ●トライアル

1. ノービス部門からジュニア部門
  - 1) 競技会におけるノービス部門での優勝者（ベストパフォーマンス）及び2位（ランナーアップ）2名の者。（次の大会よりジュニア部門で出場すること）
  - 2) 上記の競技会におけるノービス部門は少なくとも10名



以上の参加によって構成されたものとする。

## 2. ジュニア部門から国際B級部門

- 1) 地方選手権シリーズにおけるジュニア部門の成績により、各地方別に昇格人数を定めるものとする。
- 2) '83年度は次の通り。北海道=4名・東北=8名・関東=15名・中部=10名・北陸=3名・関西=10名・中国=3名・四国=5名・九州=10名。

## 3. 国際B級部門から国際A級部門

- 1) 前年度全日本選手権ランキングで、1位~5位までにランクされた者。

### 特別昇格申請手続き

#### 1. 特別昇格基準

- 1) すでに述べた昇格基準と同等とみなされるにふさわしい成績を得た者で、昇格を希望する者のみ特別昇格申請の手続きが受けられる。

#### 2. 申請期間

- 1) 前年度の11月からその年の2月末日までを申請期間とする。
- 2) この期間以外の昇格申請はいっさい受けられない。

#### 3. 申請方法および申請料

- 1) 所定の申請書に必要事項を記入し、所属する地方スポーツ委員会の承認を得てMFJ事務局に申請する。
- 2) 所定の申請書はMFJ事務局に用意されており、請求に応じて配布される。
- 3) 申請にあたっては申請料1,000円(切手でも可)を添えて提出すること。なお最終的な決定はMFJ資格審査委員会の審査結果による。

## ☆ライセンス降格規定

MFJライセンス資格の降格を希望する者は、以下の手続きによって申請し、MFJ資格審査委員会の審査を経て降格できる。

### ライセンスの降格手続き

#### 1. 申請手続き

- 1) 所定の申請書に必要事項を明記のうえ、所属する地方スポーツ委員会の承認を得て、MFJ事務局に提出する。
- 2) 申請書用紙はMFJ事務局に用意されており、請求に応じて配布される。
- 3) 降格承認後は、MFJ資格審査委員会が定めた日よりそのシーズンの終了まで、再昇格規定が適用される。

#### 2. 申請期間

- 1) 前年度の11月からその年の2月末日までを申請期間

とする。

- 2) この期間以外の降格申請はいっさい受けられない。

## ☆ライセンス再昇格規定

ライセンスの降格があっても次の規定で再昇格がある。

### ●ロードレース

- 1) 全日本選手権シリーズ大会において、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 2) 公式記録によるラップタイム等により再昇格する。

### ●モトクロス

- 1) 国際B級からジュニア部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズ大会で、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 2) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、原則として1回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 3) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。

### ●トライアル

- 1) 国際B級部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズにおいて、原則として1回優勝(ベストパフォーマンス)した時点で再昇格する。
- 2) ジュニア部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて、原則として1回優勝(ベストパフォーマンス)した時点で再昇格する。
- 3) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において出場者の上位10%以内に入賞した時点で再昇格する。
- 4) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。



ライダーにとって必携のライセンス(競技者認定証)



## MFJ選手共済・保険制度

種目	ライダー掛金 (1名1大会)	ビットクルー掛金 (1名1年間)	支 払 条 件			共済及び 保険適用	
			最高限度額 (死亡, 不具痲疾)	傷害保険支払い額	支払い適用期間		
ロードレース	3,500円 (1口目) (但し10口まで 掛けられる 2口目より 1口 1,350円)	1,000円 (支払い条件は モトクロスと 同じ)	550万円 (1口目) (但し2口以上 10口まで 1口につき 50万円)	①1日1,500円×全 治日数(1口目) 但し2口以上10口ま で1口につき500円 ②診断書作成補助金 5,000円	6ヵ月(180日) 大会当日のレー ス中 (公式練習含む) (公式予選)	MFJ指 定保険及 びMFJ選 手共済併 用	
	保険金請求に ついての 必要書類事項	①傷害保険金請求書(指定) ②全治したときの医師の治療証明書(指定) ③サーキットの事故証明書					
B ラ イ セ ン ス 対 象 種 目	サーキットにお けるプロダクシ ョン, ミニバイ クレース	2,000円	1,000円	500万円	①1日1,000円×全治 日数 ②診断書作成補助金 5,000円	6ヵ月(180日) 大会当日のレー ス中 (公式練習含む) (公式予選)	MFJ役 員・選手 共済
	ミニモトクロス, 雪上車, エンデ ューロその他オ ンロード車によ る競技会	500円		500万円			
	モトクロス	1,000円	1,000円	500万円			
	トライアル	200円		500万円			
Bライセンス, モトクロス トライアル, ビットクルー		傷害保険金請求につ いての必要書類		①全治したときの医師の診断書 ②主催者の事故証明書			

- 注: 1. ロードレースライダー以外は保険料は1口に限られます。  
2. 同一大会で2種目以上出場する場合は保険料の高い種目が適用されます。  
3. 上記保険は治療費が支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けてください。

保険請求の手続きは……

### 1 まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より二日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、保険金が支払われませんのでご注意ください。

### 2 診断書が必要

ただし負傷が完治してからです。ケガが治りましたら、治療先から診断書をもらってください。なお、ロードレースで負傷した場合は、MFJ所定の保険会社の診断書が必要になりました。この所定の診断書用紙はMFJ事務局に用意してありますので請求してください。

### 3 大会主催者から事故証明書をもらう

ケガをした大会の主催者から、本人の氏名および住所、生年月日、大会名と開催年月日、出場クラス、ケガの内容を記した大会主催者の認印のある事故証明書をもらってください。

### 4 請求先はMFJ事務局です

医師の診断書(ロードレースの場合はMFJ所定の保険会社の診断書)と、大会主催者の事故証明書を入手しましたら、この両方の書面を添えてMFJ事務局へ保険請求してください。宛先は〒104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル 日本モーターサイクル協会 保険係 です。



# MFJ公認ヘルメット



昭栄化工株式会社 〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル  
☎ 03-502-0301

## Z-100

¥39,000



- カラー/パールホワイト・ファイヤーレッド・ディープシルバー・ブラック
- サイズ/S・M・L・XL ●JIS規格2種
- ケブラー&ファイバーグラス複合積層構造
- スネル規格1980・300G ●MFJ公認

## Armet ER II

¥38,000



- カラー/シルバー・ブラック・ファイヤーレッド ●サイズ/S・M・L・XL
- KEVLAR & ERP複合積層構造
- スネル規格1980・300G
- JIS規格2種 ●MFJ公認

## INTERO-ER

¥25,000



- カラー/ホワイト・シルバーブラック・ファイヤーレッド
- サイズ/S・M・L・ML
- FRP製
- JIS規格2種 ●MFJ公認

## GR-Z

¥45,000



- カラー/ホワイト・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL(4幅体4サイズ)
- カーボンファイバー製 ●MFJ公認
- J.I.S規格2種、スネル規格1980・300G

## EX-2

¥29,000



- カラー/ホワイト・イエロー・ファイヤーレッド
- サイズ/S・M・L
- FRP製
- JIS規格2種 ●MFJ公認

## TR-1

¥13,000



- カラー/ホワイト・イエロー・ファイヤーレッド
- サイズ/S・M・L
- FRP製
- J.I.S規格1種 ●MFJ公認

## GR-X

¥32,000



- カラー/ホワイト・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL(4幅体4サイズ)
- カーボンファイバー製 ●MFJ公認
- J.I.S規格2種、スネル1980・300G

## SR-G

¥18,000



- カラー/ホワイト・シルバーブラック
- サイズ/S・M・L・XL
- APF製
- スネル規格1980・300G
- JIS規格2種 ●MFJ公認

## NEW SR-X7

¥12,500



- カラー/ホワイト・シルバーブラック・ファイヤーレッド
- サイズ/S・M・L・XL
- FRP製
- JIS規格2種 ●MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

株式会社新井広武

〒330 埼玉県大宮市東町2-12

☎ 0486-41-3825

## CLC RX-7

¥43,000



- カラー/白・シルバー
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- スネル1980 J.I.S C種 ●MFJ公認

## Avanti (アバンティ)

¥37,000



- カラー/白・黒
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- スネル1980 J.I.S C種 ●MFJ公認

## CLC R-7

¥28,000



- カラー/白・スーパーシルバー
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- スネル1980 J.I.S C種 ●MFJ公認

## レーサーレプリカ (ウエス・クーリー) ¥29,000



- カラー/各選手デザイン塗装
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- スネル規格1980 ●JIS規格C種  
●MFJ公認

## Challenger-S ¥17,000



- カラー/白・黒・パール・赤
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- スネル1980 J.I.S C種 ●MFJ公認

## Astro (アストロ) ¥24,000



- カラー/白・黒・赤
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- スネル1980 J.I.S C種 ●MFJ公認

## M-X ¥29,800



- カラー/白・赤・黄・青・黒
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- J.I.S C種 ●MFJ公認

## X-75 (Racing Type) ¥20,000



- カラー/白・黒
- サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm  
59cm~60cm 61cm~62cm
- スネル1980 J.I.S C種 ●MFJ公認



# MFJ公認ヘルメット



マルシン工業株式会社 〒124 東京都葛飾区四ツ木 5-9-6  
☎ 03-693-5791

## IMPERIUM ¥28,000



- カラー/ホワイト・レッド・ブラック
- サイズ/S・M・L・XL
- ケブラー・FRP複合積層構造
- スネル規格1980・300G
- JIS規格C種 ●MFJ公認

## FALCON ¥26,000



- カラー/白
- サイズ/S・M・L・XL
- ケブラー・FRP複合積
- ARシールド装着 ●JIS規格C種
- スネル1980規格 ●MFJ公認

## ALTUS ¥23,800



- カラー/ホワイト・レッド・ブラック・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL
- JIS規格C種 ●MFJ公認

## MG-80 ¥20,000



- カラー/白・黒・赤・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL
- ケブラー・FRP複合積層構造
- ARシールド装着 ●JIS規格C種
- スネル1980規格 ●MFJ公認

## IBEX ¥30,000



- カラー/白・赤・黄
- サイズ/S・M・L・XL
- JIS規格C種 ●MFJ公認

## MZ-GX ¥26,000



- カラー/白・レモンイエロー
- サイズ/S・M・L・XL
- モトクロス専用
- JIS規格C種 ●MFJ公認

## MZ-80 ¥16,500



- カラー/白・黒・赤・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL
- ケブラー・FRP複合構造
- スネル1980規格
- JIS規格C種 ●MFJ公認

## MZ-F ¥12,000



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M・L・XL
- JIS規格C種 ●MFJ公認

## BEETLE ¥14,800



- カラー/黒・シルバー・ツートン
- サイズ/S・M・L・XL
- JIS規格B種 ●MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

株式会社コミネオートセンター 〒111 東京都台東区小島2-18-18  
☎ 03-862-9811(代)



## NH-NE

¥17,800

- カラー/レッド・ホワイト
- サイズ/S・M・L・LL
- S・SGマーク付
- FRP製
- 内装にはフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 1550g



## NH-NE II

¥17,800

- カラー/シルバー・ブラック
- サイズ/S・M・L・LL
- S・SGマーク付
- FRP製
- 内装にはフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 1550g



## NH-NZ

¥15,800

- カラー/白・黒(以上スタンダード)
- サイズ/S・M・L・LL
- S・SGマーク付
- FRP製
- 1550g



## NH-NJ1

¥13,000

- カラー/白・黒
- FRP製
- サイズ/M・L
- S・SGマーク付
- MFJ公認
- 内装はフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 1140g(ツバを除く)



## NH-Z5000

¥13,800

- カラー/白・黒
- FRP製
- サイズ/M(57-58cm) L(59-60cm)
- S・SGマーク付
- MFJ公認
- 内装には吸湿性のあるコットン・メッシュ採用
- ツバは帽体に密着し、雨の侵入を完全カット。
- 1150g(ツバ・バイザー除く)



## NH-NT1

¥11,000

- カラー/赤・青・黄・白
- サイズ/M・L
- 帽体/FRP製
- ピーコックバイザーはボディと同色。
- S・SGマーク付
- MFJ公認
- 内装はフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 700g(バイザーを除く)



## KH-300A

¥7,800

## KH-300B

¥8,100

## KH-300E

¥11,000

## KH-300F

¥13,000

- カラー/白・黒
- サイズ/M・L・LL
- FRP製
- S・SGマーク付



## KH-100

¥8,500

- カラー/白・黒・メタリックブルー・メタリックレッド
- サイズ/M・L
- S・SGマーク付
- MFJ公認



# MFJ公認ヘルメット



クノー工業株式会社 〒141 東京都品川区西五反田 7-22-17  
☎ 03-494-3371-6

**UVEX** ¥18,000  
プロシリーズ **F-1**



- カラー/白・赤・黒・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥18,000  
ウィーリー



- カラー/白・赤・黒
- サイズ/S・M・L・XL
- スーパーバイザー付
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥25,000  
アエロホーク



- カラー/白・赤・黒・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- スーパーバイザー付
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥20,000  
モンテカルロ



- カラー/白・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥19,000  
ギャラクシー



- カラー/白・黒・レッド・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL
- 超硬ラチェットシールド付
- JIS規格C種 ●MFJ公認

**UVEX** ¥15,000  
プロシリーズ **X-1**



- カラー/白・赤・黒・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥16,500  
レーシングジェット



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥21,000  
モナーク



- カラー/白・黒・レッド・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL
- 超硬ラチェットシールド付
- JIS規格C種 ●MFJ公認

**UVEX** ¥23,000  
チャンピオン



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M・L・XL
- くもり止めシールド付
- J.I.S 2種、MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

メット工業株式会社 〒136 東京都江東区北砂 6-12-14  
☎ 03-645-2545

**K-150**

¥12,000



- サイズ/S・M・L
- カラー/ゴールドアンドブルー
- MFJ公認
- ワンタッチホルダー

**K-2**

¥9,500



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/1色

**F-1**

¥12,500



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/1色

**FR-1**

¥14,000



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/1色

**KX-1**

¥9,000



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/1色

**K-110**

¥8,500



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/白黒2トーン
- ワンタッチホルダー付

**K-3 TRIAL**

¥8,000



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/6色

**K-70**

¥8,500



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/6色

**KX-7**

¥12,000



- サイズ/M・L・LL
- カラー/シルバー・レッド・ホワイト  
ブラック
- MFJ公認、JIS2種



# MFJ公認ヘルメット



株式会社 リード工業

〒120 東京都足立区宮城1-17-21  
☎ 03-912-2751(代)

**RX-200**

¥12,500



- カラー/白・黒・シルバー・紺・赤
- サイズ/M・L・LL
- JIS規格1種 ●MFJ公認

**RT-10**

¥9,000



- カラー/白・黒・シルバー
- サイズ/M・L
- JIS規格1種 ●MFJ公認

**agv** 日本総輸入発売元 **ジャパントレードアソシエーション** 〒143 東京都大田区山王2-1-8  
☎ 03-775-0621(代)

**agv X-70**

ル・マン

¥20,000



- カラー/白・赤・青・黒・シルバー
- サイズ/M・L・XL
- FRP製
- MFJ公認

**agv X-101** エアークロス

¥22,000



- カラー/白・赤・青・黄
- サイズ/M・L・XL
- ポリカボリネート製
- MFJ公認

**agv X-300** パーソナル

¥37,000



- カラー/白・赤・白・青・黒・シルバー
- サイズ/M・L・XL
- FRP製
- MFJ公認

株式会社 **岡田商店** 〒140 東京都品川区北品川3-7-28  
☎ 03-472-1716~8

**日新通商(株)**

〒104 東京都中央区京橋3-6-15  
第2吉井ビル3F ☎ 03-567-1770

**SIMPSON M-62**

¥48,000



- カラー/シルバー・ミストブラック
- サイズ/56mm-61mm(5サイズ)
- ディボン社登録商標ケブラー使用
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**SIMPSON M-52**

¥40,000



- カラー/レッド・イエロー・ホワイト
- サイズ/56mm-61mm(5サイズ)
- 角型バイザー付
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**JEB'S** ジェットタイプ

¥17,000



- カラー/白・黒・赤
- サイズ/S・M・L
- バイザー付
- S・SG/MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

株式会社 立花自動車用品 〒133 東京都江戸川区本一色557-3  
☎ 03-653-6277

**GT-X1** (ライン入り)  
¥24,000



- カラー/ホワイト・ブラック・ブラウン
- サイズ/M・L
- J.I.S 2種 ●MFJ公認

**GT-X2**  
¥16,000



**GT-1** ¥8,800



- カラー/ホワイト・ブラック・グリーン  
レッド・ブルー・オレンジ・シルバー
- サイズ/M・L
- J.I.S 1種 ●MFJ公認

**F-500DX**

I: ¥9,200 II: ¥9,200 III: ¥8,000



- カラー/ I ブルー・ホワイトツートン  
II ブルー・ゴールドツートン  
III 白黒ツートン
- サイズ/M・L
- J.I.S 1種 ●MFJ公認

**GT-200**

¥8,500



- カラー/ホワイト・レッド・ブルー  
グリーン・ブラック
- サイズ/M・L
- J.I.S 1種 ●MFJ公認

ワールド通商(株)

〒107 東京都港区赤坂1-1-17 細川ビル  
☎ 03-853-1502(代)

**KIWI-K7** ¥23,000



- カラー/白・赤・黒・青・黄
- サイズ/M・L・XL
- J.I.S 1・2種
- MFJ公認

**KIWI-K8** ¥39,800



- カラー/白地・赤青ストライプ  
白地・青青ストライプ  
黒地・シルバーストライプ
- サイズ/M・L・XL
- J.I.S 1・2種 ●MFJ公認

**KIWI K-10** ¥26,000



- カラー/白・赤・黒・青
- サイズ/M・L・XL
- バイザーくもり止エアーステム付
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認



# MFJ公認ヘルメット



GPA日本総輸入発売元 **ユニコ株式会社** 〒106 東京都港区六本木7-3-17  
☎ 03-478-2707(代)

**GPA-G4**

¥25,000



- J.I.S 2種 ●MFJ公認
- 1000g
- カラー/5色
- サイズ/55-60

**GPA-G1**

¥35,000



- J.I.S 2種 ●MFJ公認
- 1100g
- カラー/5色
- サイズ/55-60

**GPA-G2**

¥43,000



- J.I.S 2種 ●MFJ公認
- 1100g
- カラー/6色
- サイズ/55-60

## ヤマハ発動機株式会社

〒438 静岡県磐田市新貝2500  
☎ 05383-2-1111(大代)

**YC-1500**

¥17,000



- カラー/ホワイト・チャビーレッド・メタリックシルバー  
オレンジイエロー・ヤマハブラック
- サイズ/S・M・L・LL
- MFJ公認

**YF-2000**

¥20,000



- カラー/ホワイト・カーディナルレッド・メタリックシルバー  
パウンテフブルー・ヤマハブラック
- サイズ/S・M・L・LL
- MFJ公認

## 製造元 日栄プラスチック株式会社

〒143 東京都大田区大森西1丁目8番3号 ☎ 03-762-2421  
販売 ヤマハ発動機(株)部品部

**FS-100**

¥9,600



- カラー/白・グレイ・イエロー・オレンジ
- サイズ/S・M・L
- J.I.S 1種
- MFJ公認

**CS-500**

¥6,900



- カラー/白・グレイ・イエロー・オレンジ
- サイズ/S・M・L
- J.I.S 1種
- MFJ公認





中型車用

大型車用



闇に一闪、  
伝統のレンズカットが映える  
ランプの名門。マーシャル

- 2輪用ヘッドランプユニット
- クワンライト付●専用リムを使用

MFJ承認部品

MADE IN HOLLAND

**KONI**

F-1の実績が生きたる  
ショック・アブソーバーの代名詞。コニー  
●各車種適応あり

MADE IN FINLAND

**rukka**

雨の日のライディングに  
特殊縫製のレインスーツ。ルッカ  
●カラー：シングルカラー、フートンカラー

MADE IN GERMANY

**reusch**

ドイツのクラフトマンシップが  
息づく確かな品質。ロイッシュ  
●春、夏、秋、冬用

MADE IN ITALY  
**NOIAN**

空気力学の結晶。ノラン  
●各種サイズ、カラーあり

MADE IN FINLAND

**SINISALO**

世界のトップライダーが  
愛用するモトクロスグッズ。  
シニサロ  
●グローブ/バンブ/各種プロテクター

MADE IN ITALY

**AXO**

天才モトクロスライダー  
Mr.アンドレ・マラーベ 愛用、  
プロ仕様オフロードブーツ。  
アクソー  
●各種サイズ、カラーあり

MADE IN ITALY

**RG**

抜群のフィット感。  
選ばれたライダーの為の  
トップブーツ。RG

- ロード/モトクロス/エンデューロ
- 各種サイズ、カラーあり

●この広告に関するお問い合わせは下記へ

日本総代理店

**FET** 極東

(株)極東 甲157東京都世田谷区千歳台4-30-11 ☎03(484)3179 営業所：札幌・仙台・小山・新潟・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

いま、ヒーローの予感。  
極東からモーターサイクリストに  
世界のトップブランドラインアップ。

テクニックが駆けるマシンが追従する。  
人車一体の緊張感は、  
そこに自分のスキもゆるしません。  
ライダーよ、優れた選択眼を持って  
極東からお届けするのは、世界のトップブランドばかり。  
モータースポーツのすべてをフォローします。



モト3

MADE IN U.S.A.

**BELL**  
HELMETS

アメリカの  
NO.1ヘルメット。ベル  
●各種サイズ、カラーあり



ツアースター



MADE IN U.S.A.

**SCOTT**  
モトクロスの覇者。  
スコット

- ゴーグル/フェイスガード
- カラー各種あり



N32



N19





# SUPER RIDER SERIES



●ミツシ  
カラー 黒/赤 サイズ22.5-24.0  
¥18,500



●リハティ(バック式・サイド式)  
カラー 黒 サイズ24.0-27.5  
¥20,000



●ロードマン(ギャル)  
カラー 黒/黒/黒/黒/黒/黒  
サイズ24.0-27.5(22.5-24.0)  
¥25,500



●ストリーム  
カラー 黒/黒 サイズ24.0-27.5  
¥29,500

ニューハングオン、  
更に充実したそのフォルムと  
各部のメカニズムはよりシビアな極面への  
対応を可能にしたスーパーライダーから、  
モータースポーツに挑む君に贈る  
実戦即応型と呼ぶにふさわしい  
新しい一足です。

●ニューハングオン  
カラー 黒/青/赤 サイズ24.0-27.5  
¥23,000



# NEW HANGON

DAITO CO., LTD.

1-7-1 KITAUENO TAITOKU TOKYO JAPAN  
TELEPHONE: 844-8270



世界のブランド



# IRC



新発売  
ウェットスペシャル  
M1A

M0B

M0C

トラクション自在。  
バランスのZ  
「マークII」登場。

バランスのZ

## MARK II

- M1A 100/90-21
- M0B 2.50-10・3.00-12・4.10-14・4.10-18  
5.10-18
- M0C 3.00-12・4.10-14・5.60-17・4.10-18  
110/90-18・5.10-18・140/90-18

**INOAC GROUP**  
**井上ゴム工業株式会社**

■タイヤ事業部 / 名古屋市 中川区 八家町三丁目28番地  
〒454 ☎(052)361-8661  
■東京支店 / 東京都品川区 大崎2丁目9番12号  
〒141 ☎(03)491-6041



# 勝つために、 ライダーは 選ぶ部品ひとつひとつの ブランドにもこだわる。 デリケートになる。

勝つか、敗者になりさがるか  
結果はひとつしか与えてくれない。だから、  
マシンの調整には神経をすりへらす。  
小さな部品の1つであれ、  
徹頭徹尾、ブランド志向に走る……。  
過去、幾多のドラマを演じてきた  
ライダー・メカニック達も、そうしてきた。

レーシングプラグに初めて銅芯を用い、  
ムリのない、ワイドレンジの「走りのポッシビリティ」  
を加速させてきたNGKスパークプラグ。  
数々のライダーの名を立て  
月桂樹を冠せる栄光の日々は脈々と続く。  
勝利へ邁進する勇者たちよ  
ブランドにもっと凝れ、NGKスパークプラグ。



高純度のアルミナ磁器を採用。  
プラグに求められる信頼性を  
さらにレベルアップ!



高熱に耐える銅芯構造。  
超ワイドレンジの走りを、いち早く  
可動にした中心電極です。



日本特殊陶業



## 勝利へのリーダー、NGK。



誰よりも、大地と語りあうために。



**M21**  
フロント専用

**M23**  
フロント専用

**M27**  
フロント専用

**M31**  
フロント専用

**M18**  
リヤ専用

**M20**  
リヤ専用

**M22**  
リヤ専用

**M24**  
リヤ専用



	発売サイズ	通 用	備 考
フ ロ ント	M21 3.00-21	125cc, 250cc用	硬質路面に威力を発揮
	M23 3.00-21	125cc, 250cc用	硬質路面に威力を発揮
	M27 3.00-21	125cc, 250cc用	オールラウンドタイプ
	M31 3.00-21	125cc, 250cc用	軟質路面に威力を発揮
リ ャ	M18 4.00-18	125cc用	硬質路面に威力を発揮
	M18 5.10-18	250cc用	硬質路面に威力を発揮
	M20 5.10-18	250cc用	オールラウンドタイプ
	M20 4.00-18	125cc用	硬質路面に威力を発揮
	M22 4.10-18	125cc用	硬質路面に威力を発揮
	M22 5.10-18	250cc用	硬質路面に威力を発揮
M24	4.00-18	125cc用	軟質路面に威力を発揮
	5.10-18	250cc用	軟質路面に威力を発揮

コースを敵にまわしては、ならない。微妙なコースの感触、その表情を、ライダーは2本のタイヤを通して読みとる。大地に爪を立てるより、大地と語りあうことが、勝利への近道だ。ブリヂストンのモトクロス専用タイヤ。勝つための、8つのラインナップが充実。

**MOTOCROSS**  
**BRIDGESTONE**

●モトクロス専用タイヤです。モトクロス場以外の一般道路では使用できません。